EPSON

取扱説明書

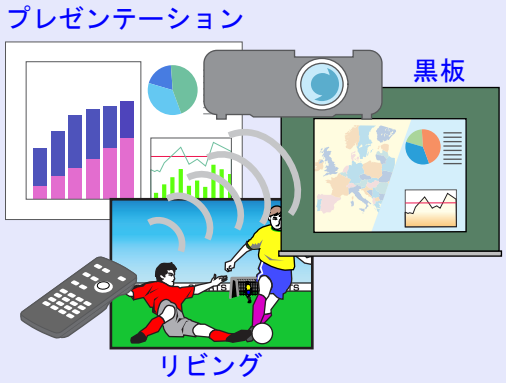
Offirio
オフィリオ プロジェクター

EMP-745
EMP-740
EMP-737
EMP-732

本機の特長

カラーモード機能

あらかじめ登録されている次の6つの設定から、使用シーンに応じて画質の選択をするだけで最適な映像が投写できます。
また、学校などで、スクリーンの代わりに黒板を使って投写する場合には、「黒板」を選択すると、自然な色合いで投写できます。
☛ p.47,56,58



- ダイナミック
- プレゼンテーション
- シアター
- リビング
- sRGB
- 黒板

小型で軽量

B5ファイルサイズ(奥行き19.3 ×幅27.6 ×高さ7cm)、軽量(EMP-745/737:約1.8kg、EMP-740/732:約1.7kg)なコンパクトボディー。同梱のソフトキャリングケースには、ケーブル等を収納できる専用のポケットがあるので、持ち運びも楽々。

美しく鮮明な映像

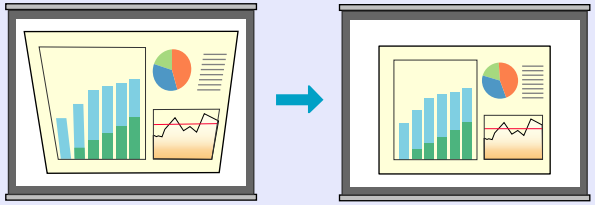
小型ながら、高解像度、高輝度による見やすい画面を実現。
明るい場所でも、美しく鮮やかな映像を写し出せます。

輝度切替

ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。
照明をつけた会議室や学校の教室などの明るい場所でも、美しく鮮やかな映像を映し出します。
暗い部屋で投写したり、小さなスクリーンに映す場合など、映像が明るすぎるときは「低輝度」に設定します。
「低輝度」のメリット
- 消費電力 約20%削減
- ランプ寿命 約1.5倍

☛ p.62

自動台形補正機能



本機の上下方向の傾きを感知し、自動的に投写映像が台形にゆがむのを補正します。
☛ p.41

投写映像を簡単選択

接続している機器の映像信号を自動検出して投写します。押すたびに映像を切り替えることができます。☛ p.37

操作が簡単

同梱のリモコンを使い、投写映像を停止する(静止機能 ☛ p.51)、大切な部分をズームアップする(Eズーム機能 ☛ p.52)、重要な箇所をポインタアイコンで指し示す(ポインタ機能 ☛ p.53)などの操作ができます。投写中のコンピュータ画面上のポインタ操作も、リモコンで行えます(ワイヤレスマウス機能 ☛ p.21)。

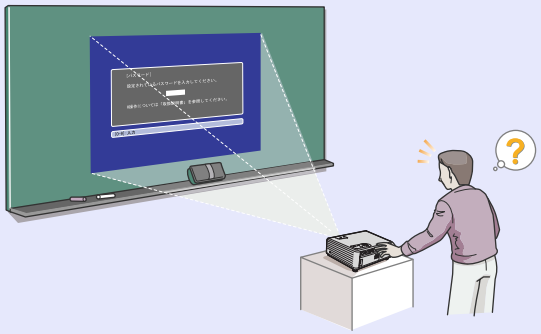
ダイレクトにパワーオン

電源ケーブルを接続するだけで投写開始状態にすることができます。会議室など、電源を集中管理している場所では、管理元の主電源を入れるだけで、まとめて電源を入れられます。
☛ 環境設定メニューの「拡張設定」p.66

操作ボタンをロック

本体操作パネルのボタン操作をロックできます。
イベントやショーなどで、投写のみ行い、操作はまったくできないようにしたり、学校などで、操作できるボタンを制限したいときに便利です。☛ p.54

パスワードプロテクト機能で利用者の管理や盗難防止

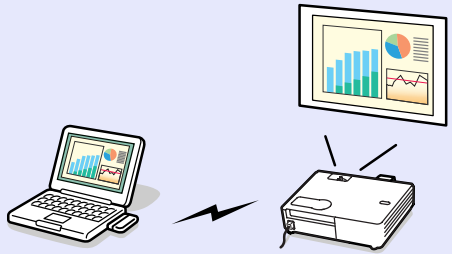


パスワードでプロジェクターの使用や設定変更を制限することができます。その結果、持ち出しても使用できないため、盗難防止に役立ちます。☛ p.30

ネットワークに対応 (EMP-745/737のみ)

投写中のランプ切れなどプロジェクターに異常が発生した場合に、プロジェクターから電子メールで状態を通知させることができます。

さらにEasyMPを使って、
- 無線 LAN を使って簡単にコンピュータと接続できます。
- ネットワークに接続しているコンピュータの映像を投写できます。



☛ EasyMPの使い方『EasyMPネットワーク設定ガイド』『EasyMP活用ガイド』

大容量USBストレージに対応 (EMP-745/737のみ)

USB対応のデジタルカメラはもちろん、USBハードディスク、USBメモリも使用できます。容量の大きなシナリオを使ったプレゼンテーションにも対応できます。☛ p.28 、『EasyMP活用ガイド』「プレゼンテーションの実行 (CardPlayerの使い方)」

目次

本機の特長 1

使い始めるまでの準備

各部の名称と働き 6
- 前面/上面 6
- 本体操作パネル 7
- 背面 8
- 底面 9
- リモコン 10

リモコンをお使いになる前に 11
- 電池のセット 11
- リモコンの使い方と操作範囲 12

本機の設置 14
- 設置方法 14
- スクリーンサイズと投写距離 15

カードのセットと取り出し（EMP-745/737のみ） 16
- セット方法 16
- 取り出し方 17
- アクセスランプの見方 18

コンピュータとの接続 19
- 接続できるコンピュータ 19
- コンピュータの映像を映す 20
- リモコンでマウスポインタを操作する（ワイヤレスマウス機能） 21

ビデオ機器との接続 23
- コンポジットビデオの映像を映す 23
- S-ビデオの映像を映す 23
- コンポーネントビデオの映像を映す 24
- BSデジタルチューナの映像を映す 24
- RGBビデオの映像を映す 25

接続機器の音声を出す 26

外部スピーカから音声を出す（EMP-745/737のみ） 27

USB機器（デジタルカメラ、ハードディスク、メモリ）の接続（EMP-745/737のみ） 28
- USB機器の接続 28
- プロジェクターからUSB機器を取り外す 29

利用者を管理する（パスワードプロテクト） 30
- パスワードプロテクトを有効にしていると 30
- パスワードプロテクトの設定方法 31

基本操作編

電源を入れ投写しよう 35
- 電源ケーブルを接続しよう 35
- 電源オン、投写開始 36

電源を切り終了しよう 38

投写映像を調整しよう 40
- 投写サイズの微調整（ズーム調整） 40
- ピントを合わせる（フォーカス調整） 40
- 投写角度の調整と自動台形補正 41
- 台形にゆがむ場合の手動補正 43

画質の調整をしよう 44
- コンピュータ映像やRGBビデオ映像の調整 44
- 映り具合を選ぶ（カラーモード選択） 47

音量を調整しよう 48

応用編

投写を効果的にする機能 50
A/Vミュート機能 50
静止機能 51
ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を映す（アスペクト比の切り替え） 51
Eズーム機能 52
ポインタ機能 53
操作ボタンロック機能 54
環境設定メニューの機能と操作 55
機能一覧 56
環境設定メニューの操作 70

困ったときに

ヘルプの見方 74
故障かなと思ったら 76
インジケータの見方 76
インジケータを見てもわからないとき 79

付　録

お手入れの方法 100
各部の掃除 100
消耗品の交換 101
ユーザーロゴの登録 106
オプション・消耗品一覧 109
用語解説 110
ESC/VP21コマンド一覧 114
コマンドリスト 114
USB接続 114
USB通信の準備 115
対応解像度一覧 116
仕様一覧 117
外形寸法図 120
お問い合わせ先 122

使い始めるまでの準備

この章では、開梱後、本機を設置し、使い始めるまでの作業について説明しています。

各部の名称と働き 6
- 前面/上面 6
- 本体操作パネル 7
- 背面 8
- 底面 9
- リモコン 10

リモコンをお使いになる前に 11
- 電池のセット 11
- リモコンの使い方と操作範囲 12
  - 使い方 12
  - 操作範囲 13

本機の設置 14
- 設置方法 14
- スクリーンサイズと投写距離 15

カードのセットと取り出し（EMP-745/737のみ） 16
- セット方法 16
- 取り出し方 17
- アクセスランプの見方 18
  - カードスロットアクセスランプの見方 18
  - 無線LANカードのアクセスランプの見方 18

コンピュータとの接続 19
- 接続できるコンピュータ 19
- コンピュータの映像を映す 20
  - モニタ端子がミニD-Sub 15pin端子の場合（例） 20
- リモコンでマウスポインタを操作する（ワイヤレスマウス機能） 21

ビデオ機器との接続 23
- コンポジットビデオの映像を映す 23
- S-ビデオの映像を映す 23
- コンポーネントビデオの映像を映す 24
- BSデジタルチューナの映像を映す 24
- RGBビデオの映像を映す 25

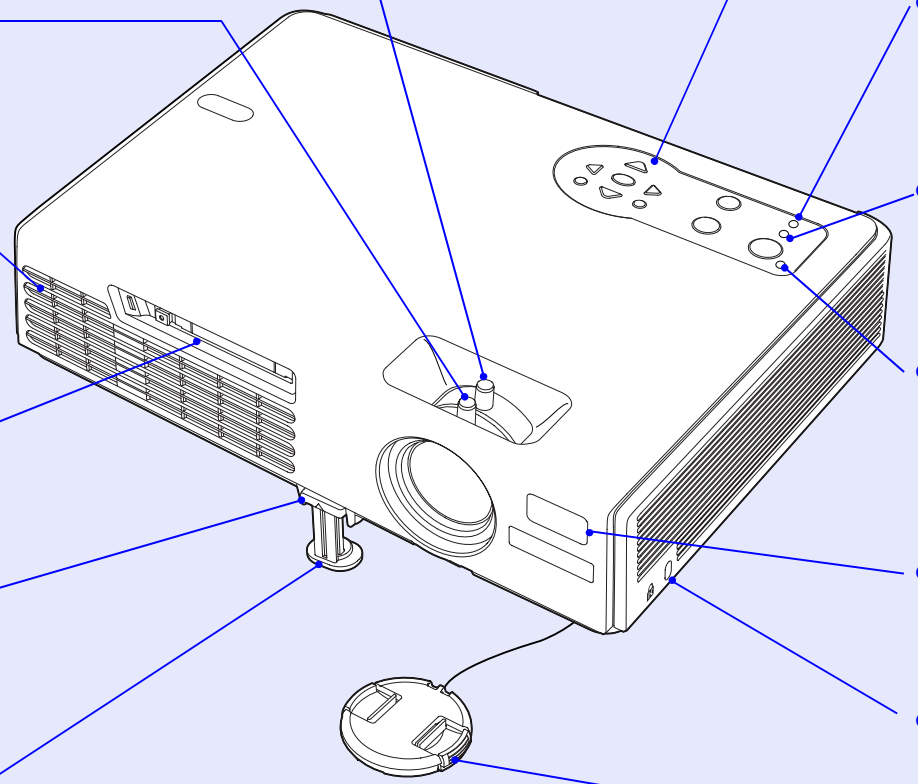
接続機器の音声を出す 26

外部スピーカから音声を出す（EMP-745/737のみ） 27

USB機器（デジタルカメラ、ハードディスク、メモリ）の接続（EMP-745/737のみ） 28
- USB機器の接続 28
- プロジェクターからUSB機器を取り外す 29

利用者を管理する（パスワードプロテクト） 30
- パスワードプロテクトを有効にしていると 30
  - 「電源投入時」を有効（オン）にしている場合 30
  - 「時間設定」で1時間以上に設定した場合 31
  - 「ユーザーロゴ保護」を有効（オン）にしている場合 31
- パスワードプロテクトの設定方法 31

前面/上面



- **ズームリング** ☛ p.40
  投写映像のサイズを調整します。
- **フォーカスリング** ☛ p.40
  投写映像のピントを合わせます。
- **排気口**
  ⓘ投写中、投写直後は高温になっているので触らないでください。
- **カードスロット（EMP-745/737のみ）** ☛ p.16
  EasyMP実行時に、LANカードや、メモリカードをセットして使います。
- **フットレバー** ☛ p.41
  フットレバーを引いて、フロントフットを伸縮させます。
- **フロントフット** ☛ p.41
  机上などに置いて使う場合に、投写角度を調整するときに伸ばします。
- **本体操作パネル** ☛ p.7
- **温度インジケータ** ☛ p.76
  本機内部の温度異常を色や点滅•点灯状態で示します。
- **ランプインジケータ** ☛ p.76
  投写ランプの異常を色や点滅•点灯状態で示します。
- **電源インジケータ** ☛ p.76
  本機の動作状態を色や点滅•点灯状態で示します。
- **リモコン受光部** ☛ p.12
  リモコン信号を受信します。
- **盗難防止用ロック（🔒）** ☛ p.112
- **レンズカバー**
  プロジェクターを使用しないときに装着し、レンズが傷ついたり汚れたりするのを防ぎます。

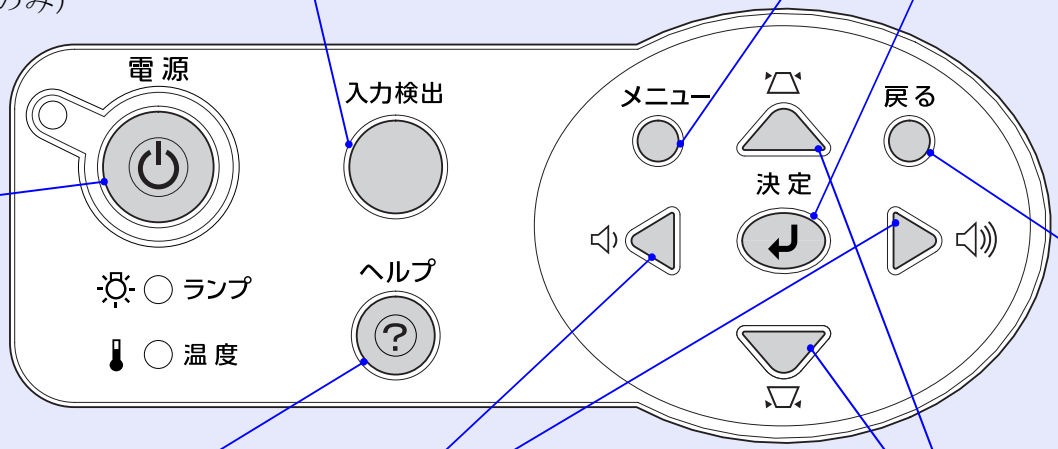
本体操作パネル

- [入力検出]ボタン ☛ p.37
  押すたびに入力ソースを自動的に次の順番で検索し、信号が入力されている機器の映像を投写します。

  [コンピュータ/コンポーネントビデオ]端子
  ↓
  [S-ビデオ]端子
  ↓
  [ビデオ]端子
  ↓
  EasyMP(EMP-745/737のみ)

- [メニュー]ボタン ☛ p.70
  押すたびに環境設定メニューを表示/終了します。

- [決定]ボタン ☛ p.44,70,74
  コンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像を自動調整し、最適化します。
  環境設定メニューやヘルプが表示されているときは、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。



- [電源]ボタン ☛ p.36,38
  電源をオン/オフします。

- [戻る]ボタン ☛ p.22
  実行中の機能を終了します。環境設定メニュー表示時には1つ上の階層に戻ります。

- [ヘルプ]ボタン ☛ p.74
  押すたびに、トラブルが起こった場合の対処方法を示すヘルプを表示/終了します。

- [🔈][🔊]ボタン ☛ p.48,74
  音量を調整するときに押します。
  環境設定メニューやヘルプが表示されているときは、メニュー項目や設定値を選択します。

- [⏢][⏢]ボタン ☛ p.42,70,74
  台形補正するときに押します。
  環境設定メニューやヘルプが表示されているときは、メニュー項目や設定値を選択します。

背面

- [USB TypeB]端子 ☛ p.21,114
  ワイヤレスマウス機能時に、USB▸▸ケーブルでコンピュータと接続します。
  USBケーブルでコンピュータと接続しても、コンピュータの映像を投写することはできません。

- リモコン受光部 ☛ p.12
  リモコン信号を受信します。

- 電源端子 ☛ p.35
  電源ケーブルを接続します。

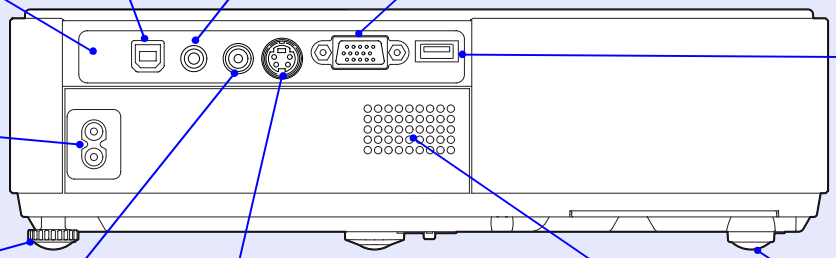
- リアフット☛ p.42

- [ビデオ]端子 ☛ p.23
  ビデオ機器のコンポジットビデオ▸▸信号を入力します。

- [S-ビデオ]端子 ☛ p.23
  ビデオ機器のS-ビデオ▸▸信号を入力します。

- [音声]端子 ☛ p.26
  接続機器の音声信号を入力します。EasyMPのCardPlayer機能で投写しているときは、環境設定メニューの「EasyMP音声出力」の設定により、外部スピーカへ音声を出力します。
  (EMP-745/737のみ) ☛ p.63

- [コンピュータ/コンポーネントビデオ]端子 ☛ p.20,24,25
  コンピュータのアナログRGB映像信号やビデオ機器のRGBビデオ信号、コンポーネントビデオ▸▸信号を入力します。

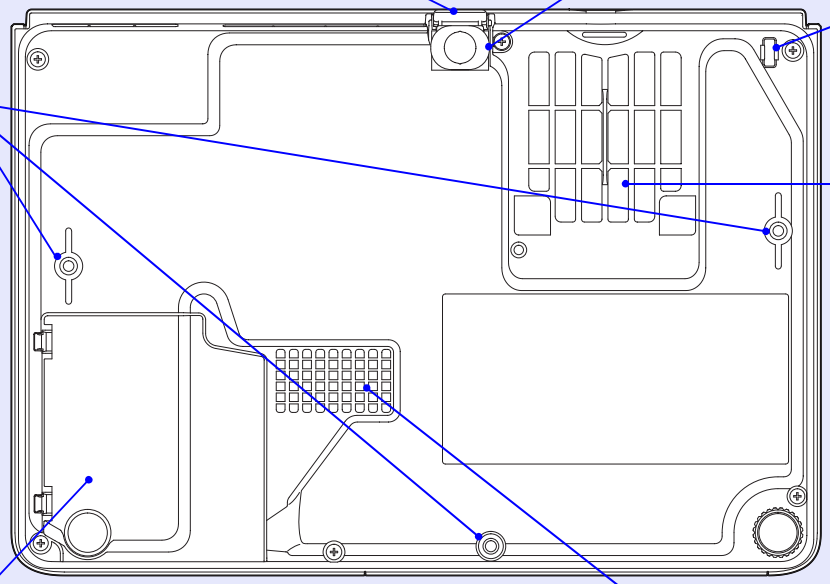


- [USB TypeA]端子 (EMP-745/737のみ) ☛ p.28
  デジタルカメラやUSB対応のハードディスク・メモリを接続し、EasyMPのCardPlayer機能で画像・動画ファイル、シナリオを投写します。

- リアフット

- スピーカ

底面



- フットレバー ☛ p.42
- フロントフット ☛ p.41
- レンズカバーひも固定部
  レンズカバーのひもをロアケースに通して、レンズカバーを固定します。
- 天吊固定部（3箇所） ☛ p.14,109
  天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。
- エアーフィルタ（吸気口）
  ☛ p.100,105
  吸気時に、本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。定期的に掃除、交換してください。
- ランプカバー ☛ p.102
  ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。
- 吸気口 ☛ p.100
  定期的に掃除してください。

リモコン

ボタン名またはボタンアイコンに を重ねるとボタンの説明が表示されます。

- [ページ送り][ページ戻し]ボタン ☛ p.21
- [Eズーム]ボタン(⊕)(⊖) ☛ p.52
- [決定]ボタン ☛ p.22,70,74
- [戻る]ボタン ☛ p.22
- [ポインタ]ボタン ☛ p.53
- [A/Vミュート]ボタン ☛ p.50
- [コンピュータ]ボタン ☛ p.37
- [EasyMP]ボタン ☛ p.37
- [S-ビデオ]ボタン ☛ p.37
- [ビデオ]ボタン ☛ p.37
- [自動調整]ボタン ☛ p.44

- リモコン発光部 ☛ p.12
- [電源]ボタン ☛ p.36,38
- [◎]ボタン ☛ p.22,70,74
- [静止]ボタン ☛ p.51
- [数字]ボタン ☛ p.30
- [カラーモード]ボタン ☛ p.47
- [メニュー]ボタン ☛ p.70
- [リサイズ]ボタン ☛ p.51
- [ヘルプ]ボタン ☛ p.74
- [音量]ボタン ☛ p.48
- [入力検出]ボタン ☛ p.37
- テンキーボタン ☛ p.30

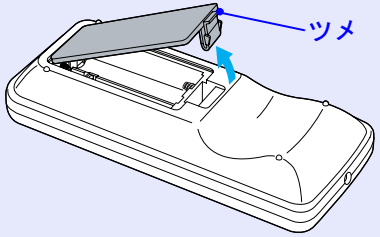
電池のセット

購入直後は、リモコンに電池はセットされていません。まず、同梱の乾電池をセットします。

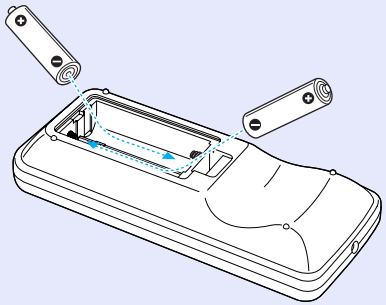
注意 電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

操作

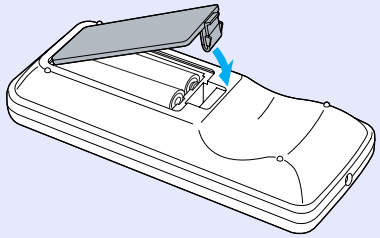
1 電池カバーを外します。
電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



2 電池をセットします。
電池ホルダ内の(＋)(－)の表示を確認し、電池の向きを間違えないようにセットします。



3 電池カバーを取り付けます。
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



ポイント

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単4形アルカリ乾電池2本を用意してください。

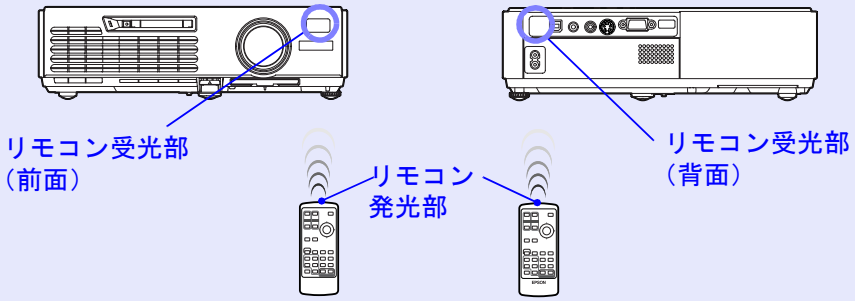
リモコンの使い方と操作範囲

使い方

リモコンの使い方は次のとおりです。

操作

リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作します。



ポイント

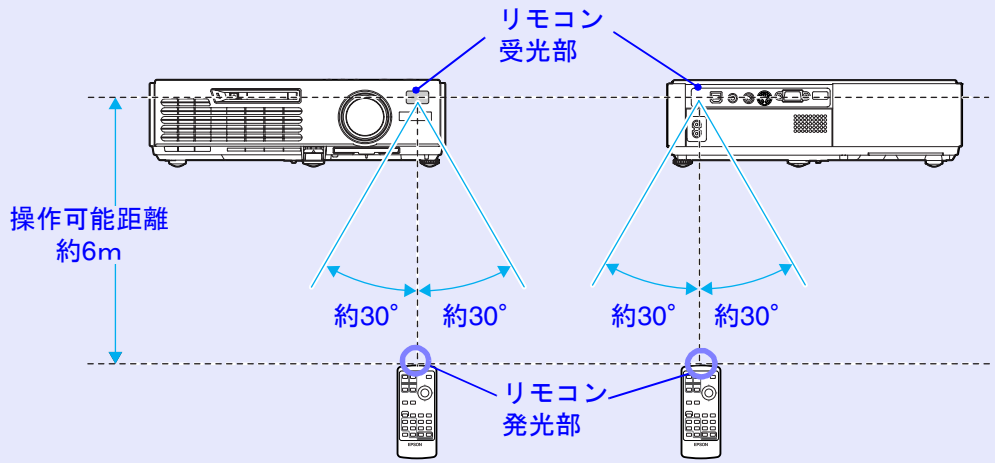
- プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できないことがあります。
- 使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。☛ p.11
- リモコンのボタンが30秒間以上押されたままの状態になっていると、ボタン操作の信号を送信しなくなります（リモコンのスリープモード）。これにより、リモコンが何かの下敷きになっている場合も電池の消耗を減らすことができます。
  いったんボタンを離して再度操作してください。

操作範囲

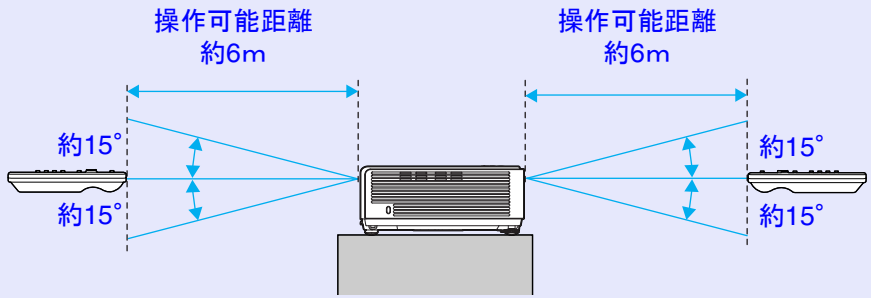
リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。受光部との距離や角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作が働きません。

操作可能距離	操作可能範囲
約6m	左右約30° 上下約15°

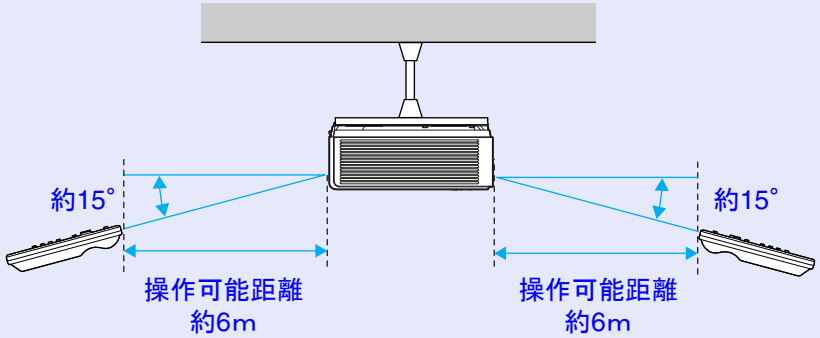
操作範囲（左右）



操作範囲（上下）



天吊りの場合

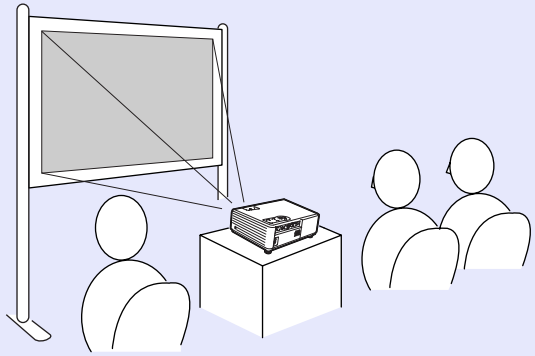


設置方法

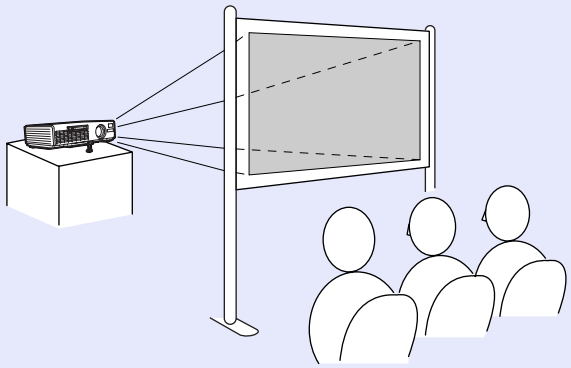
本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

注意
- 設置にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。
- 本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。

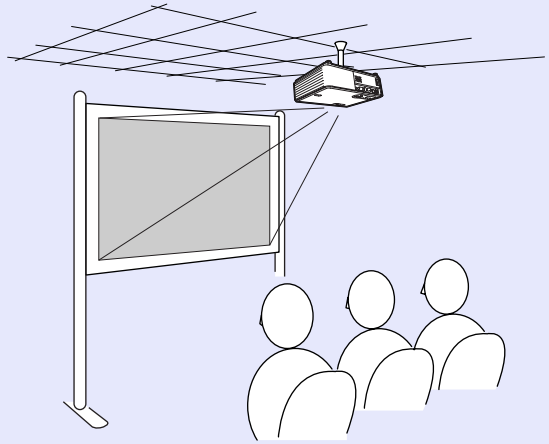
- 正面から投写する（フロント投写）



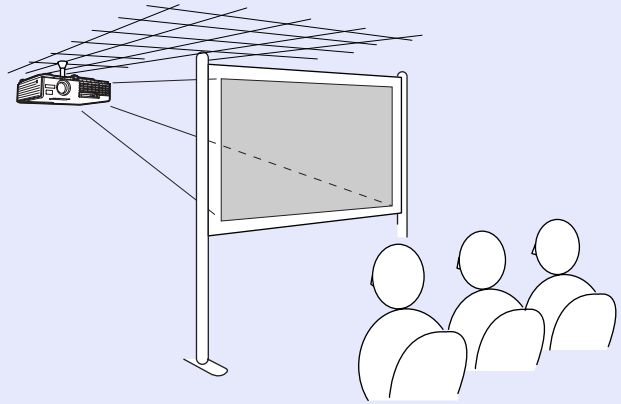
- リアスクリーンへ裏側から投写する（リア投写）



- 天吊りして正面から投写する（フロント・天吊り投写）



- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する（リア・天吊り投写）



※天吊り（天井への取り付け）は特別な技術が必要です。天吊りで使用する場合は販売店にご相談ください。天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。☛ p.109

ポイント

天吊りやスクリーンの裏側から投写するときは、環境設定メニューの「拡張設定」→「設置モード」を設置の状態に合わせて変更します。☛ p.65

スクリーンサイズと投写距離

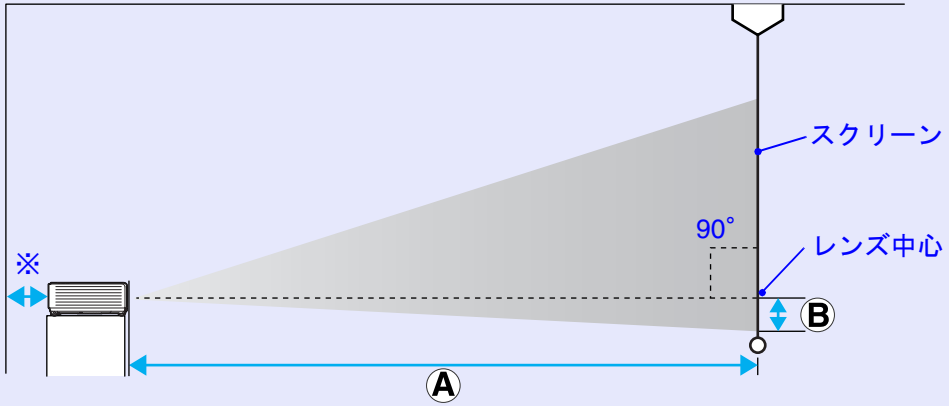
本機のレンズからスクリーンまでの距離により投写映像サイズが異なります。

推奨距離範囲	100cm～1210cm

次表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。
値は、設置の目安にしてください。投写条件やズームの設定により、変わります。

単位：(cm)

4:3スクリーンサイズ		投写距離Ⓐ 最短（ワイド）～最長（テレ）	レンズ中心からスクリーン下端までの高さⒷ
30型	61×46	100～120	6.5
40型	81×61	130～160	8.7
50型	100×76	166～200	10.9
60型	120×90	200～240	13.1
80型	160×120	270～320	17.4
100型	200×150	340～400	21.8
200型	410×300	670～810	43.5
300型	610×460	1010～1210	65.3



※壁際に設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をあけてください。

ポイント

- 本機のレンズは約1.2倍ズームです。最大拡大時は、最小時の約1.2倍のサイズで投写できます。
- 台形補正をすると、画面サイズは小さくなります。

カードのセットと取り出し（EMP-745/737のみ）

EMP-745/737では、無線LANカードやメモリカードなどのPCカードを使うことができます。
ここでは、PCカードのセット方法、取り出し方を、同梱の無線LANカードを例に説明します。その他のカードを使う場合や、コンピュータのPCカードスロットへのセットや取り出し方については、使用するカードに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

ポイント

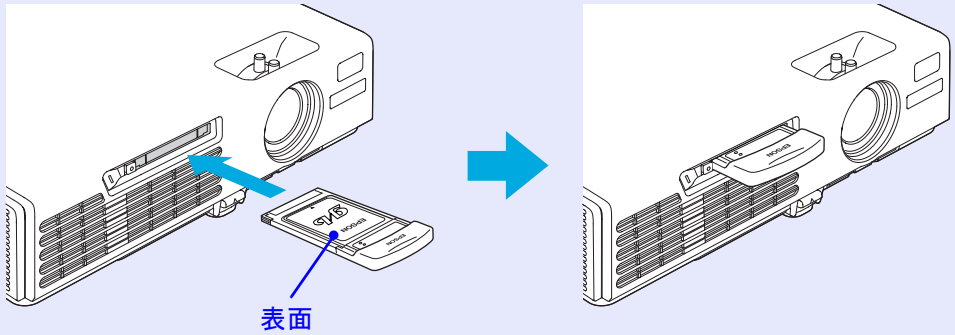
本機のカードスロットには、次のPCカードをセットして使用できます。
- 無線LANカード(本製品同梱品のみ対応)
- 有線LANカード（使用できる有線LANカードの詳細はエプソンのホームページでご確認ください。☛「お問い合わせ先」p.122）
- メモリカード ☛「仕様一覧」p.117

セット方法

注意
- PCカードは、正しい向きでセットしてください。逆向きや裏返しにしてセットすると故障や機器の破損の原因となります。
- 本機を持ち運ぶときは、必ず事前にPCカードを抜いてください。

操作

PCカードの表面を上側に向けて、カードスロットに差し込みます。
止まるところまでしっかり差し込んでください。

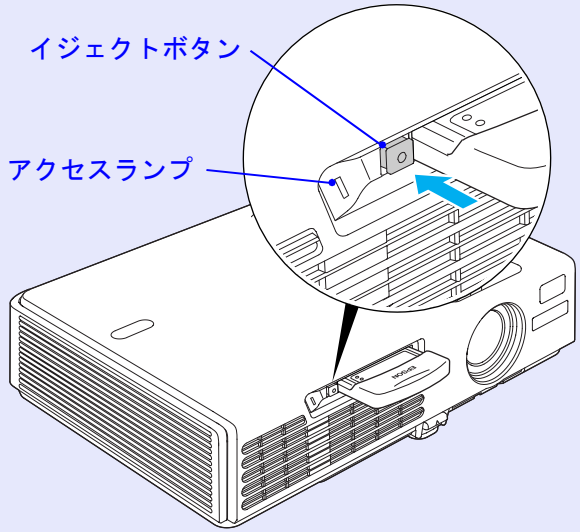


取り出し方

注意
- 無線 LAN カードのアクセスランプが緑色で点滅しているときは、無線LANカードを取り出さないでください。無線LANカードが壊れることがあります。
- 本機のカードスロットアクセスランプが緑色に点灯しているときやシナリオ投写中は、メモリカードを取り出さないでください。メモリカード自体やメモリカードに保存されているデータが壊れることがあります。
- 本機の使用中または使用直後は、PC カードが高温になっています。取り出しの際に不用意に触らないでください。やけどの原因となることがあります。
- CardPlayer 使用時にメモリカードを抜く場合は、必ず CardPlayer の終了操作を実行してから抜いてください。CardPlayer を終了しないでメモリカードを抜くと、CardPlayer が正しく動作しなくなる場合があります。
  ☛『EasyMP 活用ガイド』「CardPlayerの終了方法」

操作

1 カードスロット左側のイジェクトボタンを押します。
イジェクトボタンが飛び出します。



2 イジェクトボタンをもう一度、押し込みます。
PCカードが少し飛び出しますので、そのままPCカードをまっすぐに引き抜きます。

注意 イジェクトボタンが出たままになっていると、折れるなど故障の原因となりますので、必ず押し込んでください。

アクセスランプの見方

カードスロットアクセスランプの見方

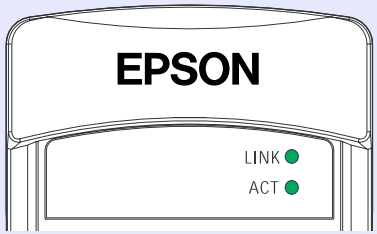
プロジェクターにメモリカードをセットしているときは、カードスロットアクセスランプの点灯状態と色で、次のようにメモリカードのアクセス状態を知らせます。

●：点灯　○：消灯

状態	アクセス状態
緑色●	メモリカードからデータを読み出しています。
消灯○	メモリカードが待機状態です。
赤色●	メモリカードからデータを読み出し中に、異常が発生しました。

無線LANカードのアクセスランプの見方

プロジェクターに無線LANカードをセットしているときは、カードスロットアクセスランプは点灯しません。
ネットワークの通信状態は、次のように無線LANカードのアクセスランプで確認できます。



●：点灯　☼：点滅

ランプ	状態	通信状態
LINK	緑色●	ネットワークに接続し、通信できる状態になっています。
	緑色☼	使用できるネットワークを検索中です。
ACT	緑色☼	データを送信中または受信中です。

注意 コンピュータと接続する際は、次の点を確認してください。
- 接続する前に本機とコンピュータの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。
- 電源ケーブルと接続ケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤作動の原因になります。

接続できるコンピュータ

ここでは、接続ケーブルを使って、本機とコンピュータを接続する方法を説明します。
EMP-745/737をお使いの場合、ネットワークを介してコンピュータと接続する方法は、『EasyMPネットワーク設定ガイド』をご覧ください。コンピュータによっては接続できないものや、接続できても投写できないものがあります。以下の、接続できるコンピュータの条件と照らし合わせて確認してください。

- **条件1：接続するコンピュータに映像信号の出力端子があること**
  コンピュータに「RGB 端子」「モニタ端子」「CRT 端子」などの映像信号を出力させる端子があることを確認してください。
  コンピュータとモニタが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、接続できなかったり外部出力端子を別途購入する必要があるものがあります。詳しくは、コンピュータの取扱説明書の「外付けのモニタを接続する」などの項目をご覧ください。

- **条件2：接続するコンピュータの解像度と周波数が「対応解像度一覧」の範囲内であること** ☛ p.116「付録 対応解像度一覧」
  コンピュータによっては出力解像度を変更できますので、コンピュータの取扱説明書をご覧になり対応解像度一覧の範囲内の設定に変更してください。

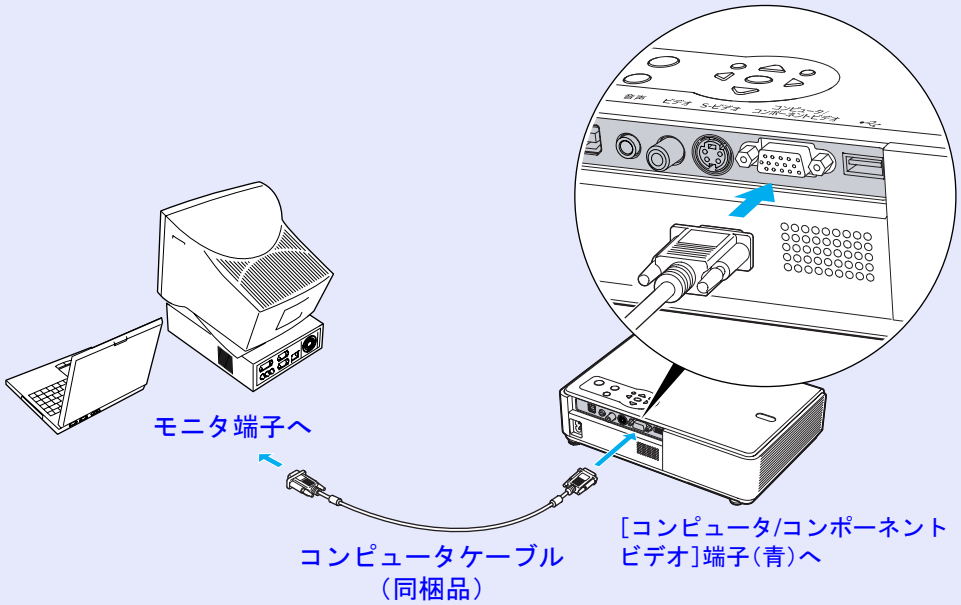
ポイント
- コンピュータの端子形状によっては、接続の際に市販のアダプタ類などが必要になることがあります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- コンピュータと本機が離れて設置されており、同梱のコンピュータケーブルでは届かないときは、オプションのコンピュータケーブルをお使いください。☛「付録 オプション・消耗品一覧」p.109

コンピュータの映像を映す

コンピュータのモニタ端子の形状や規格により、使用するケーブルが異なります。お使いになるコンピュータに合わせて、以降の内容をお読みください。

モニタ端子がミニD-Sub 15pin端子の場合（例）

同梱のコンピュータケーブルを使って接続します。



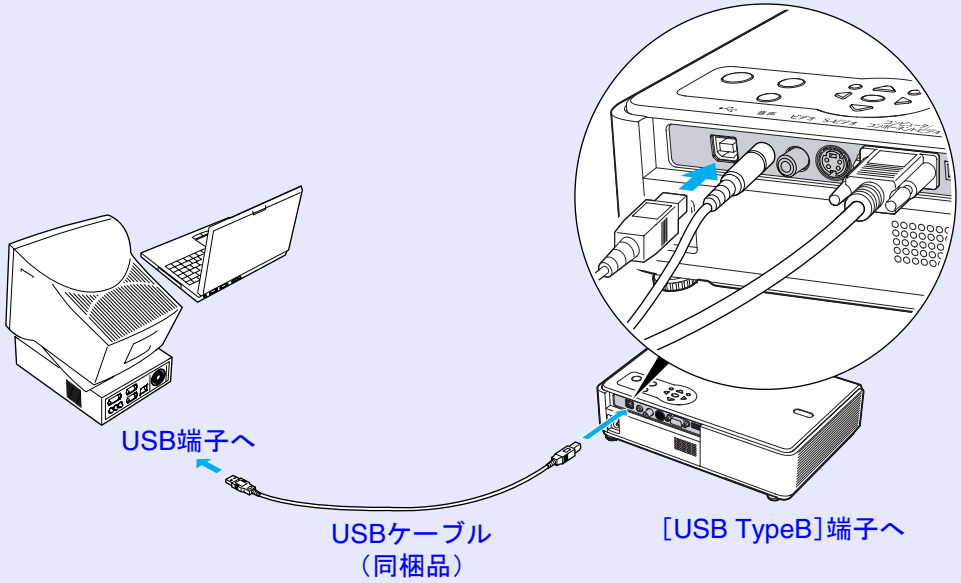
ポイント

- 入力信号に応じて入力ソースを自動判別します。
  コンピュータの出力信号によっては色が不自然になることがあります。この場合は、入力ソースを「コンピュータ」に設定してください。☛ p.60
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、ボタン操作により投写する信号を選択できます。☛ p.37

リモコンでマウスポインタを操作する（ワイヤレスマウス機能）

コンピュータのUSB端子と、本機背面の[USB TypeB]端子を同梱のUSBケーブルで接続すると、ワイヤレスマウスのように、同梱のリモコンでコンピュータのマウスポインタを操作できます。

対応コンピュータ	マウスの種類	使用するケーブル
Windows 98/2000/Me/ XP Home Edition/ XP Professional	USBマウス	USBケーブル （同梱品）
Macintosh （OS 8.6～9.2/10.0～10.3）	USBマウス	USBケーブル （同梱品）



※ワイヤレスマウスとして使用しているときは、リモコンの[ページ送り] [ページ戻し]ボタンで、PowerPointファイルのページ送り/戻しができます。

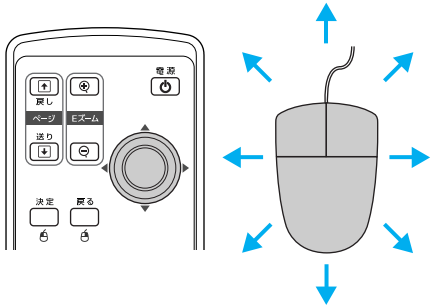
ポイント

- EMP-745/737をお使いの場合、本機背面の[USB TypeA]端子はUSBハブとしては使えません。
- USB ケーブルでの接続は、USB 標準搭載モデルにのみ対応しています。
  Windowsの場合は、Windows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional プリインストールモデルだけに対応しています。アップグレードしたWindows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional環境下では動作を保証いたしません。
- Windows/Macintosh ともに OS のバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

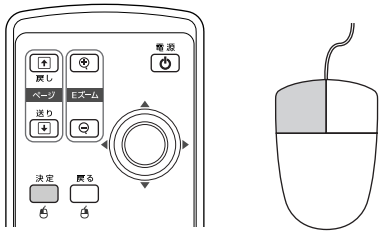
マウスポインタの移動

リモコンの[◎]を傾けると、傾けた方向にマウスポインタが移動します。



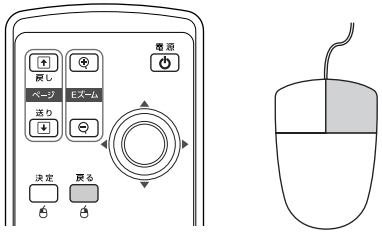
左クリック

[決定]ボタンを押します。
すばやく2回続けて押すと、ダブルクリックになります。



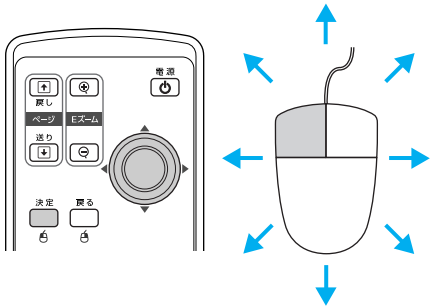
右クリック

[戻る]ボタンを押します。



ドラッグ＆ドロップ

[決定]ボタンを押したまま、[◎]を傾けると、ドラッグの動作になります。任意の場所で[決定]ボタンを離すと、ドロップします。



ポイント

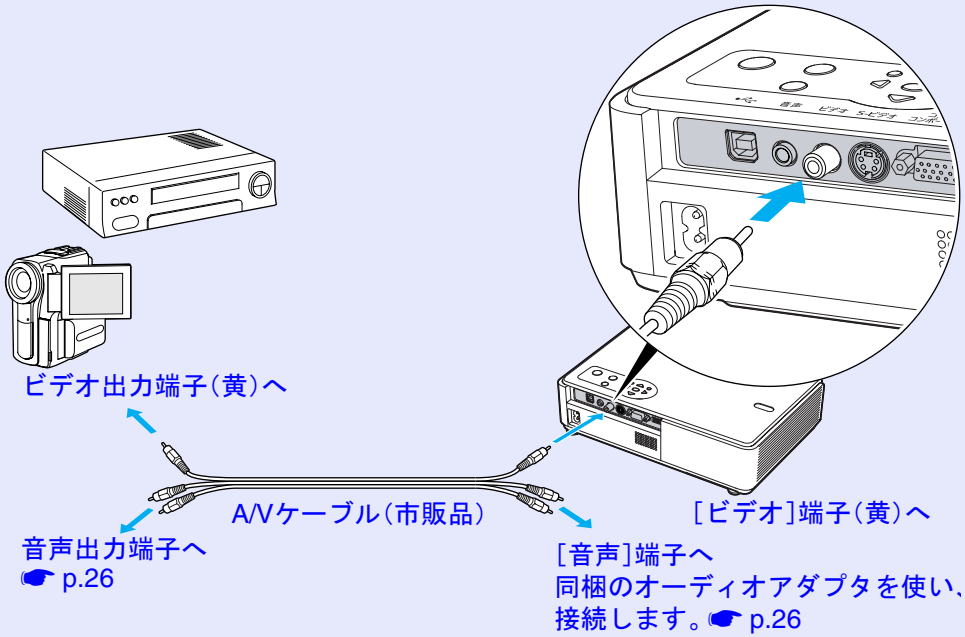
- コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
- 以下の機能を使用しているときは、ワイヤレスマウス機能は行えません。
  - ・環境設定メニューの表示中
  - ・ヘルプ表示中
  - ・Eズーム機能中
  - ・ユーザーロゴのキャプチャ中
  - ・ポインタ機能中
  - ・音量調整中

ビデオ機器との接続

注意 ビデオ機器を接続する際は、次の点に注意してください。
- 接続する前に本機とビデオ機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。
- 電源ケーブルと接続ケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤作動の原因になります。

コンポジットビデオの映像を映す

市販のA/Vケーブルを使って接続します。

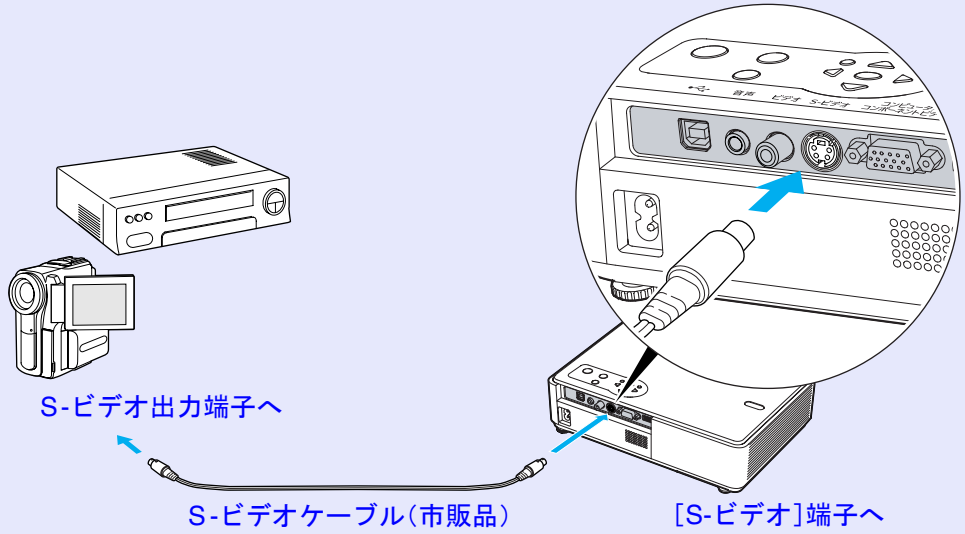


ポイント

本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、ボタン操作により投写する信号を選択できます。☛ p.37

S-ビデオの映像を映す

市販のS-ビデオケーブルを使って接続します。

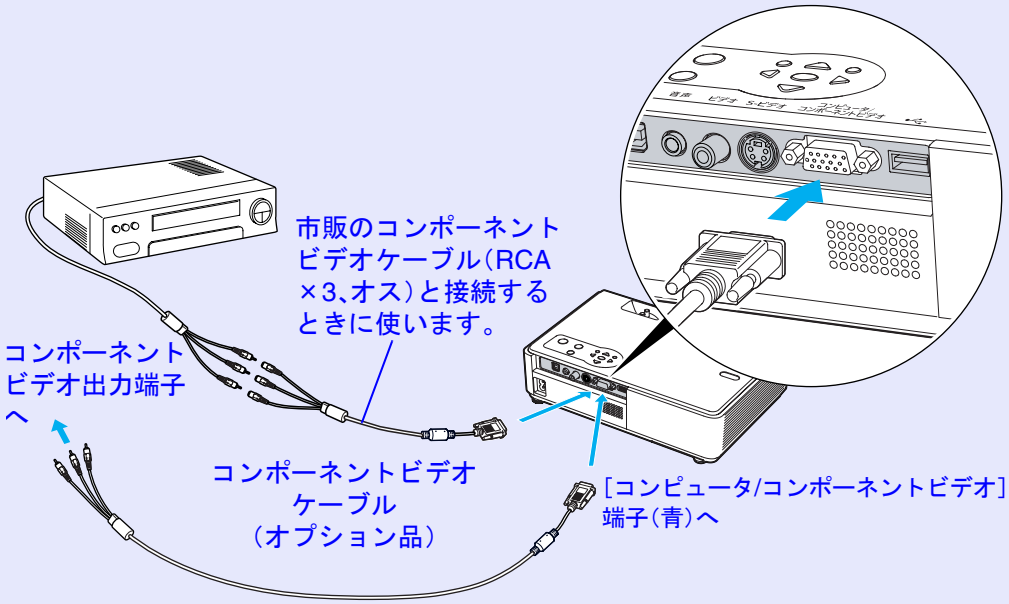


ポイント

本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、ボタン操作により投写する信号を選択できます。☛ p.37

コンポーネントビデオの映像を映す

オプションのコンポーネントビデオケーブルを使って接続します。
☛「付録 オプション・消耗品一覧」p.109

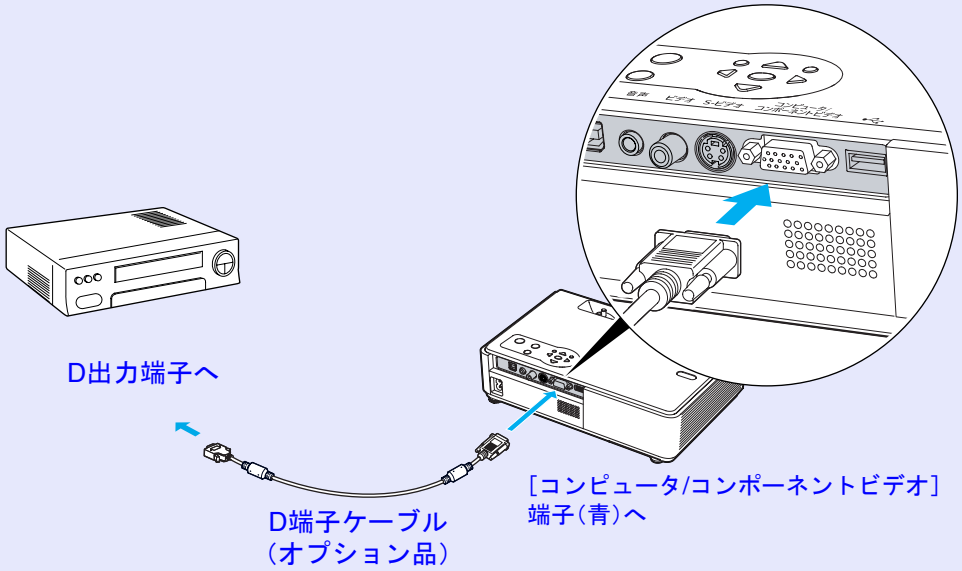


ポイント

- 入力信号に応じて入力ソースを自動判別します。
  ビデオ機器の出力信号によっては色が不自然になることがあります。この場合は、入力ソースを「コンポーネントビデオ」に設定してください。☛ p.61
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、ボタン操作により投写する信号を選択できます。☛ p.37

BSデジタルチューナの映像を映す

オプションのD端子ケーブルを使って接続します。
☛「付録 オプション・消耗品一覧」p.109

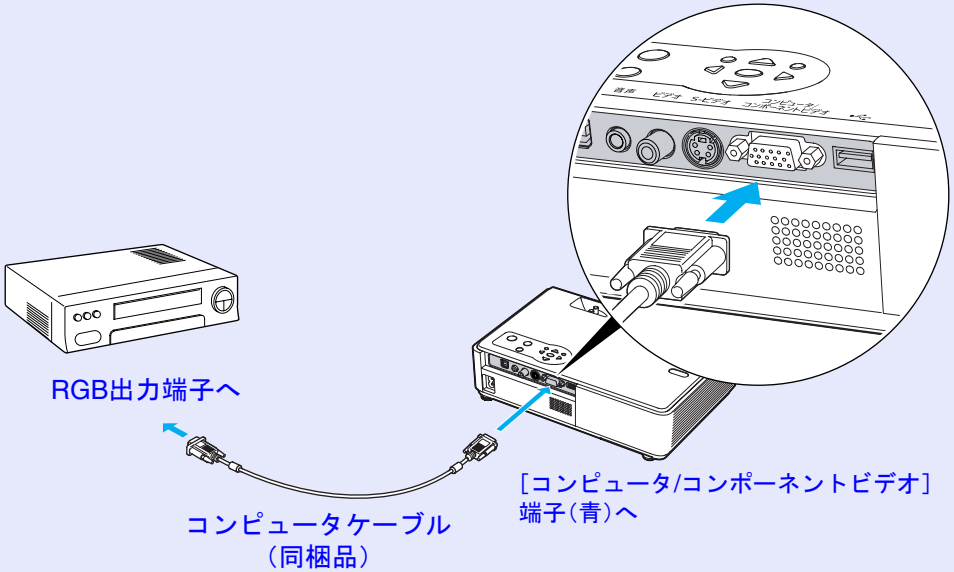


ポイント

- 入力信号に応じて入力ソースを自動判別します。
  ビデオ機器の出力信号によっては色が不自然になることがあります。この場合は、入力ソースを「コンポーネントビデオ」に設定してください。☛ p.61
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、ボタン操作により投写する信号を選択できます。☛ p.37
- BSデジタルチューナへの接続は、日本国内でのみ可能です。
- D4規格までのBSデジタルチューナに対応しています。

RGBビデオの映像を映す

同梱のコンピュータケーブルを使って接続します。



ポイント

- 入力信号に応じて入力ソースを自動判別します。
  ビデオ機器の出力信号によっては色が不自然になることがあります。この場合は、入力ソースを「コンピュータ」に設定してください。☛ p.60
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、ボタン操作により投写する信号を選択できます。☛ p.37

接続機器の音声を出す

本機には、最大1Wのスピーカが1個内蔵されています。音声出力端子を持つ接続機器(コンピュータやビデオ機器)の音声を本機の内蔵スピーカから出力することができます。

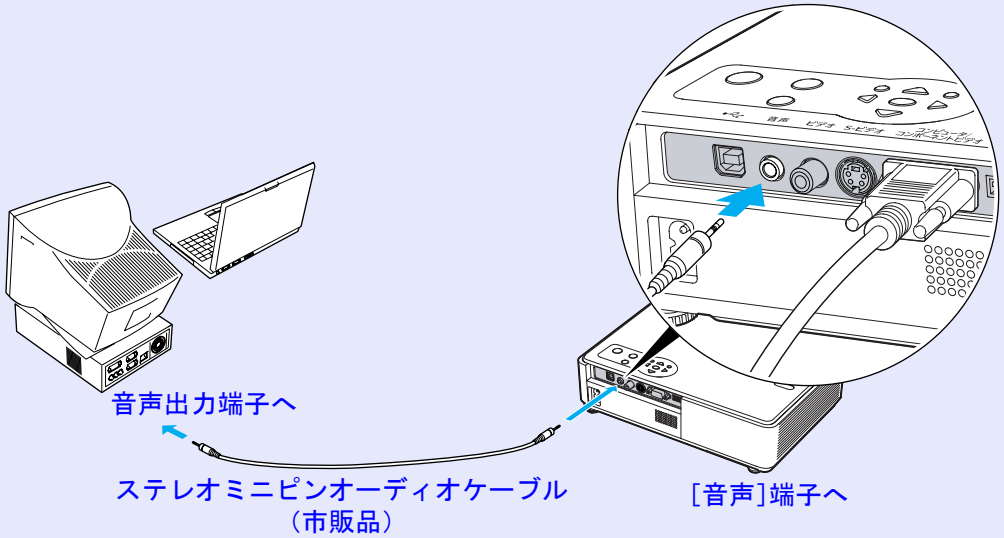
接続に使う音声のケーブルは、接続機器の端子形状に合わせて次のいずれかから選択します。

- ステレオミニジャック(コンピュータなどの音声出力端子)に接続する場合: 市販のステレオミニピンオーディオケーブルを使って接続します。
- RCA ピンジャック×2(赤/白)(ビデオ機器などの音声出力端子)に接続する場合: 同梱のオーディオアダプタと市販のA/Vケーブルを使って接続します。

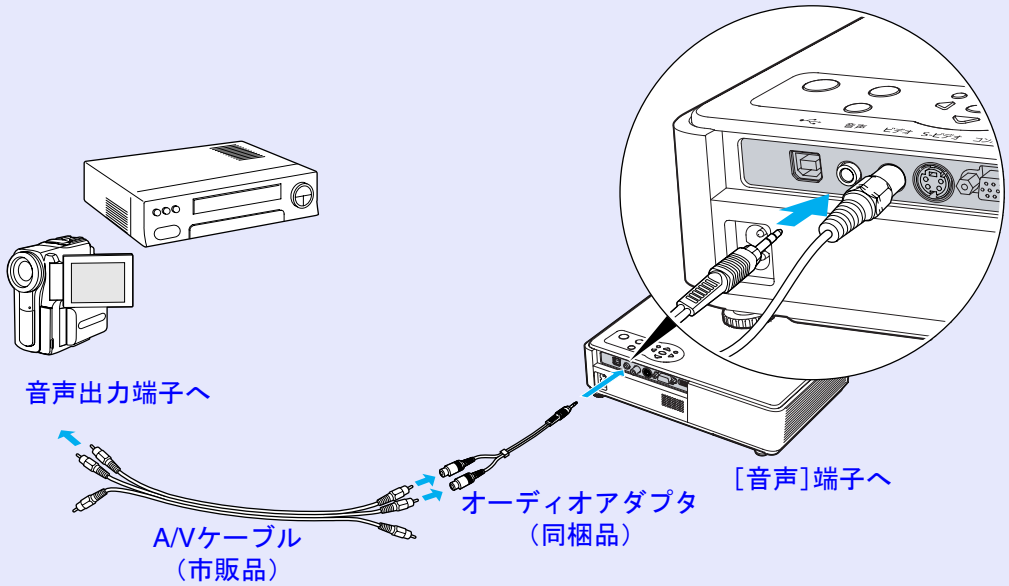
ポイント

- 投写開始後、音量を調整することができます。☛ p.48
- 市販の2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

映像信号を[コンピュータ/コンポーネントビデオ]端子から入力している場合

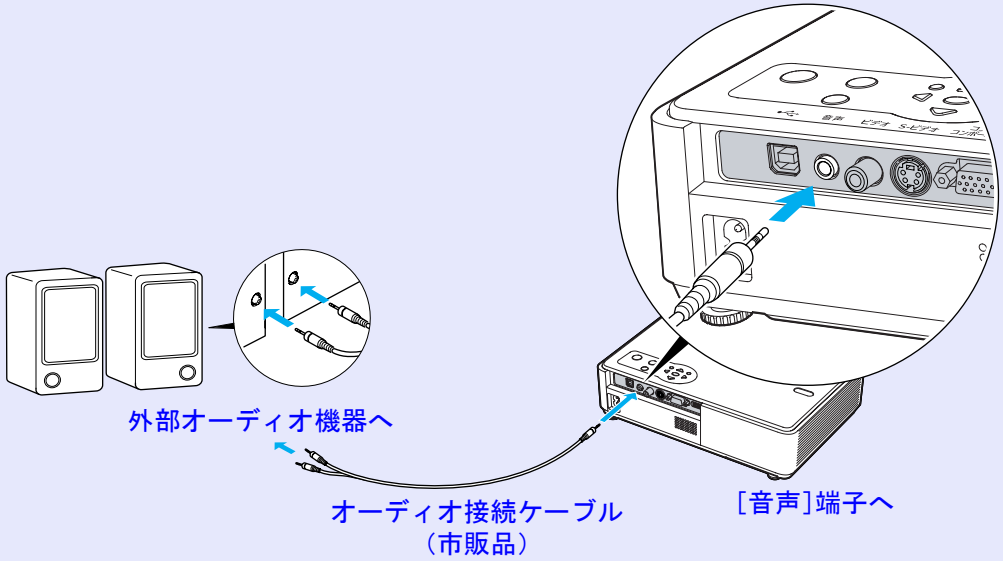


映像信号を[ビデオ]端子から入力している場合



外部スピーカから音声を出す（EMP-745/737のみ）

EasyMPのCardPlayer機能で投写している映像の音声を外部スピーカに出力できます。
環境設定メニューの「EasyMP音声出力」を「外部出力」に設定し、本機の［音声］端子と、外付けのアンプ内蔵スピーカを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。☛ p.63
市販のオーディオ接続ケーブル（ピンプラグ）⇔3.5mm（ステレオミニジャック）などを使用します。オーディオ接続ケーブルは、外部オーディオ機器の接続部の形状に合わせて購入してください。



ポイント

- 外部スピーカから音声を出力している場合は、音量の調整はできません。
- EasyMPのLAN接続で映像を投写している場合は、プロジェクターから音声を出すことはできません。

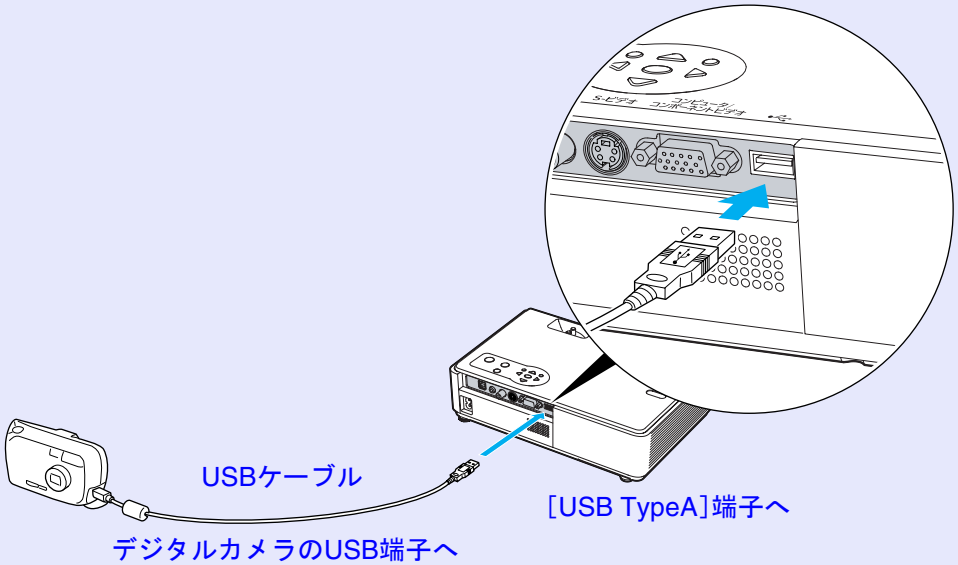
USB1.1に対応したデジタルカメラやハードディスク、USBメモリを接続できます。接続したデジタルカメラ内の画像ファイルやUSBストレージ内のシナリオ・画像・動画ファイルは、EasyMPのCardPlayerで再生します。☛『EasyMP活用ガイド』「プレゼンテーションの実行(CardPlayerの使い方)」

USB機器の接続

ここではデジタルカメラを例に、USB機器の接続方法を説明します。デジタルカメラに同梱、あるいは指定の USB ケーブルを使って、接続します。

ポイント

- 長さが3m以下のUSBケーブルをお使いください。3mを超えると、CardPlayerが正しく動作しなくなる場合があります。
- プロジェクターのカードスロットに、無線LANカードやメモリカードがセットされていないことを確認してから接続します。



注意

- USB ハブを使用すると、正しく動作しないことがあります。デジタルカメラやUSBストレージを直接プロジェクターに接続してください。
- USB対応のハードディスクを使用する場合は、必ずハードディスクに付属のACアダプタを接続してください。

プロジェクターからUSB機器を取り外す

投写終了後は、以下の手順でプロジェクターからUSB機器を取り外します。

操作

1. CardPlayer の画面上で「EJECT」ボタンにカーソルを合わせてリモコンの［Enter］ボタンを押し、CardPlayerを終了します。☛『EasyMP活用ガイド』「プレゼンテーションの実行（CardPlayerの使い方）」

注意 必ずCardPlayerを終了させてから、USBケーブルやUSBメモリをプロジェクターから取り外してください。CardPlayerを終了しないでUSB機器を取り外すと、CardPlayerが正しく動作しなくなる場合があります。

2. プロジェクターの［USB TypeA］端子からUSBケーブルやUSBストレージを取り外します。

注意 USB対応のハードディスクを接続しているときは、ハードディスクを取り外すか、ハードディスクの電源を切ってからプロジェクターの電源を切ってください。
プロジェクターが故障する恐れがあります。

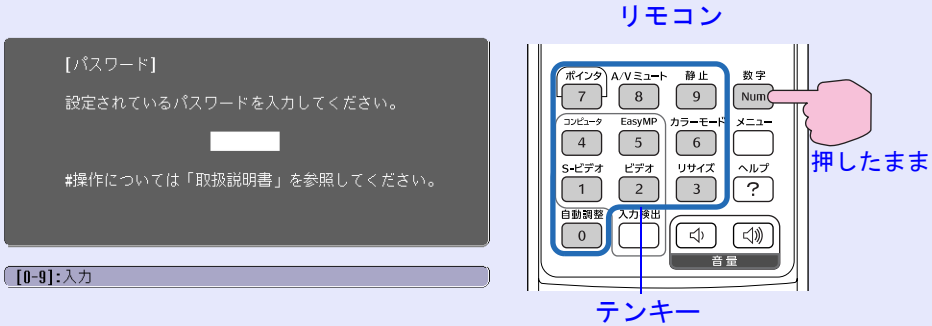
利用者を管理する（パスワードプロテクト）

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使えないため、盗難等の防止につながります。

パスワードプロテクトを有効にしていると

「電源投入時」を有効（オン）にしている場合

本機に接続した電源ケーブルをコンセントに接続後、初めて本機の電源を入れた場合や、ダイレクトパワーオンを行ったとき、次のパスワードを入力する画面が表示されます。



設定しているパスワードを、[数字]ボタンを押したまま[テンキー]ボタンで入力します。パスワードを正しく入力すると、投写を開始します。

電源プラグをつないだままにしていて、本機のスタンバイ状態から電源を入れた場合は、パスワード入力画面を表示せずに投写が開始されます。電源プラグをコンセントに接続後、初めて本機の電源を入れた場合に限りパスワードを入力する画面が表示されます。ダイレクトパワーオンを「オン」にして、ブレーカーなどで電源の一括管理をしている場合は、通電後はじめて本機の電源が入ったときにパスワードを入力する画面が表示されます。

ポイント

- パスワードプロテクトに関してお問い合わせいただいた際は、お客様から返送いただいた『お客様情報＋正式保証書発行カード』に記載されているお客様のお名前や連絡先などをお聞きし、ご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報＋正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
  万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている「問い合わせコード：xxxxx」の番号を控えて、インフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。
  ☛ p.122
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。
  「プロジェクターの動作を停止します。エプソン修理センターにお問い合わせください。」☛ p.122

「時間設定」で1時間以上に設定した場合

設定した時間が経過するまでの間は、電源投入時にパスワード入力画面はまったく表示されません。設定した時間が経過すると、それ以降は本機の電源を入れるたびにパスワード入力画面が表示されます。ここでいう経過時間とは、本メニュー終了時からカウントとしたランプ点灯時間の合計です。
「時間設定」を0時間で設定すると、本機から電源プラグを抜き差しするたびにパスワード入力画面が表示されます。本機のスタンバイ状態から電源を入れた場合は、パスワード入力画面は表示されません。

「ユーザーロゴ保護」を有効(オン)にしている場合

以下のユーザーロゴに関する操作を行おうとすると、メッセージが表示され、変更することができません。変更する場合は、オフにしてから操作してください。☛ p.32

- ユーザーロゴのキャプチャを実行する場合
- 環境設定メニューの「拡張設定」→「表示設定」→「背景色」の設定を「ロゴ」から「黒」、「青」に変更する、または「黒」、「青」から「ロゴ」に変更する場合
- 環境設定メニューの「拡張設定」→「表示設定」→「スタートアップスクリーン」の設定(「オン」、「オフ」)を変更する場合

パスワードプロテクトの設定方法

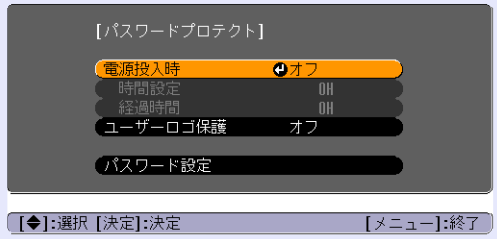
パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

操作

1 [静止]ボタンを約5秒間押し続けます。

パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。
本体操作パネルの[▷]ボタンを押したまま[メニュー]ボタンを約5秒間押し続けても表示できます。

リモコン



ポイント

- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードを入力する画面が表示されます。
  パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。
  ☛「パスワードプロテクトを有効にしていると」p.30
- パスワードプロテクトを「オン」にした場合は、盗難防止の効果を高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。

2 「電源投入時」を有効にします。

① 「電源投入時」を選択し、[決定]ボタンを押します。
② 「オン」を選択し、[決定]ボタンを押します。
③ [戻る]ボタンを押します。

3 「時間設定」で、パスワードを入力しなくてもプロジェクターを使える時間を設定します。

時間設定しない場合→手順4に進んでください。

① 「時間設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。
② [数字]ボタンを押したまま、[テンキー]ボタンで設定時間を0～9999の範囲で入力し、[決定]ボタンを押します。
間違えて入力した場合は、[戻る]ボタンを押して再度入力します。
パスワードプロテクト設定メニューを終了すると、経過時間のカウントを開始します。

4 「ユーザーロゴ保護」を有効にします。

① 「ユーザーロゴ保護」を選択し、[決定]ボタンを押します。
② 「オン」を選択し、[決定]ボタンを押します。
③ [戻る]ボタンを押します。

5 パスワードを設定します。

① パスワードを設定するには、「パスワード設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。
② 「パスワードを変更しますか？」と表示されるので、「はい」を選択し、[決定]ボタンを押します。
初期設定でパスワードは「0000」に設定されていますが、必ず任意のパスワードに変更してください。
「いいえ」を選択すると、手順1の画面にもどります。
③ [数字]ボタンを押したまま、[テンキー]ボタンで 4 桁の数字を入力します。入力したパスワードは「＊＊＊＊」と表示されます。
4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。
④ 入力したパスワードを再度入力します。
「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。
間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

6 設定が終了したら、[メニュー]ボタンを押します。

ポイント

- 設定時間が過ぎてパスワードを入力した場合、投写開始とともに「経過時間」がクリアされ、カウントが開始されます。
- 設定したパスワードは、忘れないように記録して管理してください。
- リモコンをなくすとパスワードの入力ができなくなります。 リモコンは大切に保管してください。

基本操作編

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

電源を入れ投写しよう 35
- 電源ケーブルを接続しよう 35
- 電源オン、投写開始 36

電源を切り終了しよう 38

投写映像を調整しよう 40
- 投写サイズの微調整（ズーム調整） 40
- ピントを合わせる（フォーカス調整） 40
- 投写角度の調整と自動台形補正 41
- 台形にゆがむ場合の手動補正 43

画質の調整をしよう 44
- コンピュータ映像やRGBビデオ映像の調整 44
  - 自動調整機能 44
  - トラッキングの調整 45
  - 同期の調整 46
- 映り具合を選ぶ（カラーモード選択） 47

音量を調整しよう 48

電源を入れ投写しよう

電源を入れ、投写を行います。

注意 投写する前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

電源ケーブルを接続しよう

ポイント

環境設定メニューの「拡張設定」→「動作設定」→「ダイレクトパワーオン」を「オン」に設定していると、電源プラグをコンセントに差し込むと同時に起動音が鳴り、本機の電源がONになって投写を開始します。☛ p.66
あらかじめ、本機に接続されている機器の電源を入れてください。

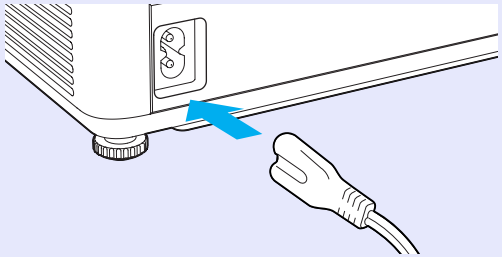
操作

1. 本機と本機に接続するすべての機器の電源が切ってあることを確認します。

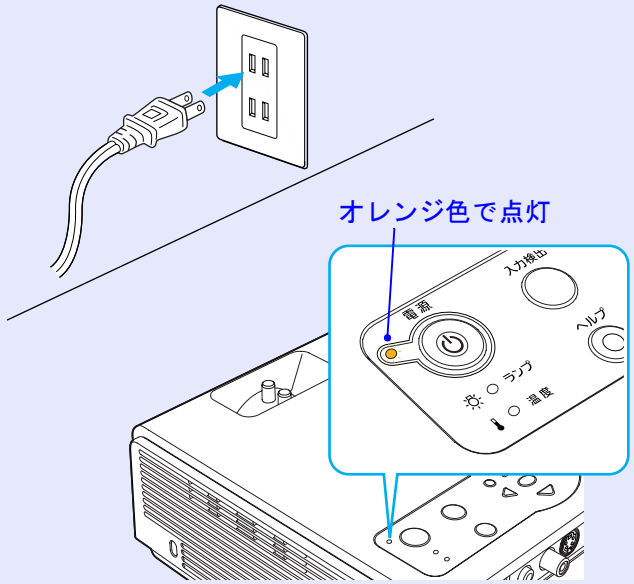
2. 本機とコンピュータあるいはビデオ機器を接続します。
☛ p.19,23

3. レンズカバーを外します。
レンズカバー中央のつまみをはさんで持ち、外します。

4. 本機に、同梱の電源ケーブルを取り付けます。
本機の電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、しっかりと奥まで差し込みます。



5. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
電源インジケータがオレンジ色に点灯します。



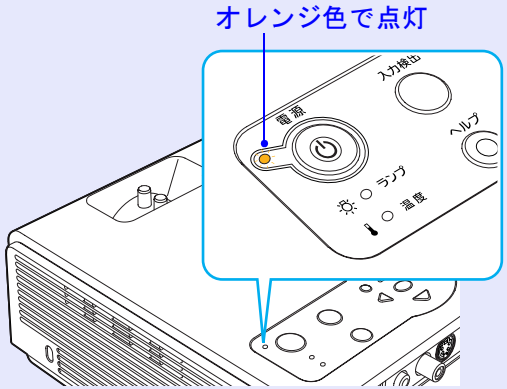
電源オン、投写開始

ポイント

パスワードプロテクトの設定により、電源を入れたときにパスワードを入力する画面が表示されることがあります。
その場合はパスワードを入力してください。☛ p.30

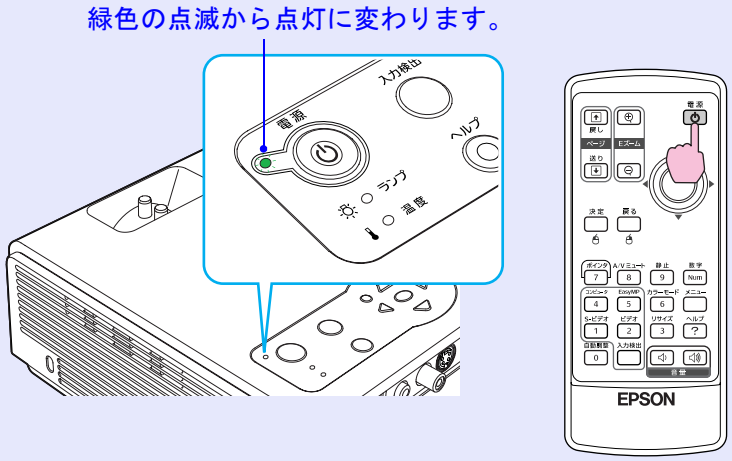
操作

1 電源インジケータがオレンジ色で点灯しているのを確認します。



2 本機に接続されている機器の電源を入れます。
ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の[再生]や[プレイ]ボタンを押します。

3 [電源]ボタンを押して電源を入れます。
「ピッ」と本機の起動音が鳴ります。
電源インジケータが緑色の点滅に変わり、しばらくすると投写が始まります。

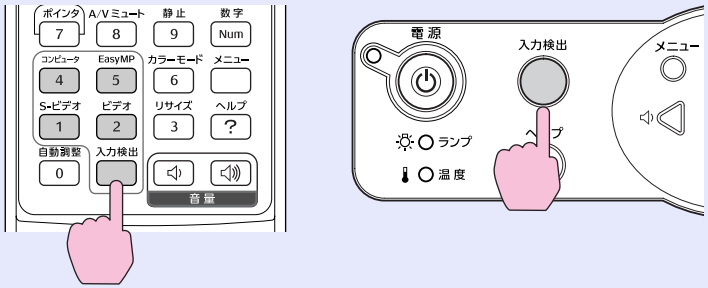


ポイント

電源インジケータが緑色で点滅しているときは、[電源]ボタン操作は無効となります。

4 複数の機器を接続している場合は、次表を参照し、リモコンまたは本体のボタンで投写したい映像ソースに切り替えます。
[入力検出]ボタンを押すたびに自動的に入力ソースを検索し、信号が入力されている機器の映像を順番に投写することもできます。

リモコン　本体



入力ソース	リモコンで選択するボタン	画面上の表示
コンピュータ/ コンポーネントビデオ	コンピュータ	コンピュータ（オート）※1 コンピュータ ※1 コンポーネントビデオ ※1
S-ビデオ	S-ビデオ	S-ビデオ
ビデオ	ビデオ	ビデオ
EasyMP※2	EasyMP	EasyMP

※1 環境設定メニューの「映像」→「コンピュータ入力」で設定されているものが表示されます。
※2 EMP-745/737をお使いの場合のみ切り替わります。
EasyMPについて ☛『EasyMPネットワーク設定ガイド』および『EasyMP活用ガイド』

ポイント

- 接続機器が1台だけの場合は、リモコンまたは本体のボタンを押さなくても投写されます。
- EMP-745/737をお使いの場合、[入力検出]ボタンを押したときEasyMPが検出されるのは、メモリカードがセットされているかUSB機器が接続されていてCardPlayerが動作中のとき、またはLANカードがセットされているときです。[入力検出]ボタンを押してもEasyMPの画面が表示されない場合は、リモコンの[EasyMP]ボタンを押して、EasyMPに切り替えてください。
- 「映像信号が入力されていません。」と表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときには、映像が投写されないことがあります。投写開始後にコンピュータの信号を外部に出力させる設定をコンピュータ側で行ってください。
次表は、出力切り替えの一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」や「外部モニタへの出力」などの項をご覧ください。

エプソン		NEC製	Panasonic製	東芝製
[Fn]+[F8]		[Fn]+[F3]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F5]
IBM製	SONY製	富士通製	Macintosh	
[Fn]+[F7]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F10]	ミラーリングの設定、または ディスプレイの検出を行う。	

- 同一の静止映像を長時間投写していると、投写映像に残像が残ることがあります。静止映像は長時間投写しないでください。

電源を切り終了しよう

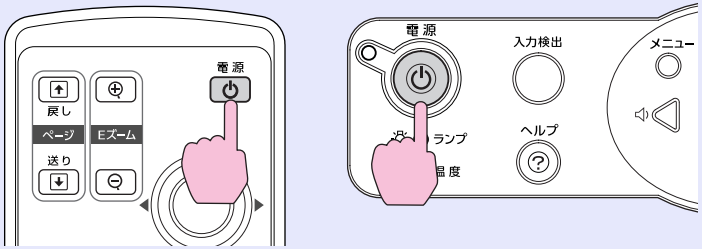
投写を終了するには、次の手順で行います。

操作

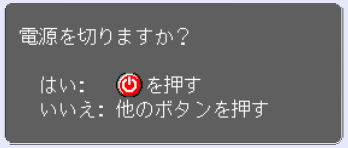
1 **本機に接続している機器の電源をオフにします。**
すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。

2 **[電源]ボタンを押します。**

リモコン　本体



次の確認のメッセージが表示されます。

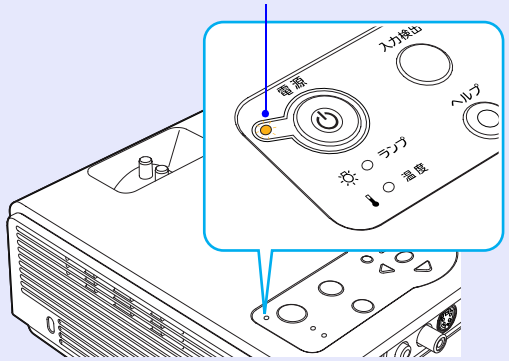


電源を切りたくないときは、[電源]、[ページ送り]、[ページ戻し]、[数字]ボタン以外のボタンを押します。
何も操作しないと、7秒後に自動的にメッセージが消えます(電源は切れません)。

注意 「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアーフィルタの掃除や交換を行ってください。」とメッセージが表示されたときは、リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して、電源をオフにしたあと、エアーフィルタの掃除を行ってください。☛ p.100

3 **もう一度[電源]ボタンを押します。**
ランプが消灯します。電源インジケータがオレンジ色に点滅し、クールダウン▶▶が始まります。
クールダウンの時間は約20秒です。
クールダウンが終了すると、「ピッピッ」と終了確認音が鳴り、電源インジケータがオレンジ色の点灯に変わります。

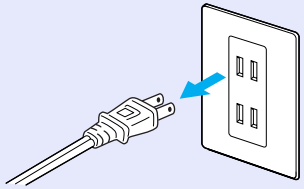
オレンジ色で点滅した後、点灯に変わります。



ポイント

- 電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコンまたは本体のボタン操作は無効になります。点灯に変わるまでお待ちください。
- 環境設定メニューで「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定している場合は、ファンが回り続けます。故障ではありませんのでご了承ください。（EMP-745/737のみ）

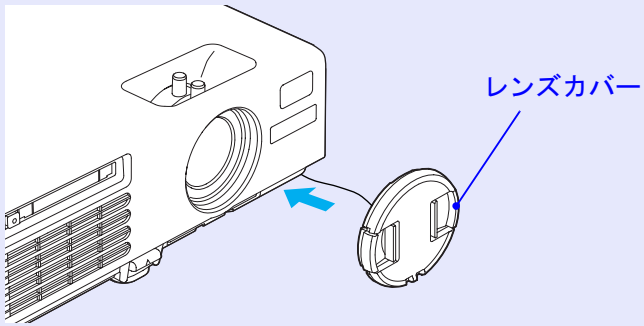
4 使用しない場合は、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜くことをお奨めします。



注意 電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。

5 レンズカバーを取り付けます。

レンズにホコリや汚れが付着するのを防ぐために、使用しないときはレンズカバーを取り付けます。



投写映像を調整しよう

投写映像の補正や各種調整を行い、最適な投写状態にします。

投写サイズの微調整（ズーム調整）

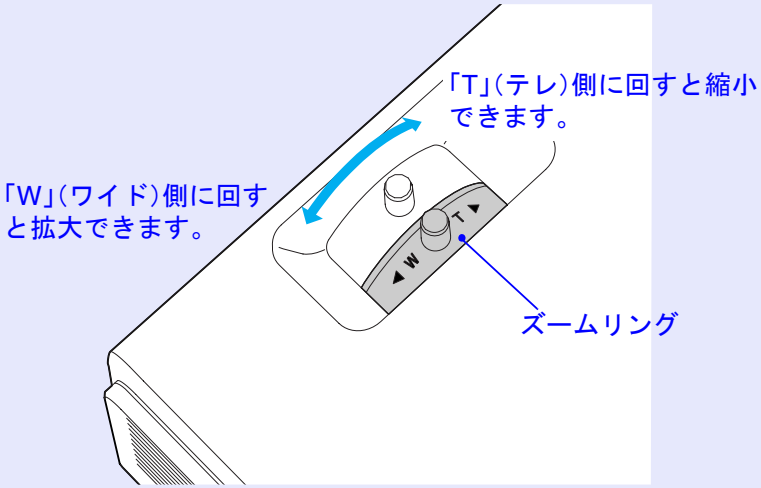
基本的に投写サイズは、スクリーンから本機の設置位置までの距離で合わせます。☛ p.15
ここでは、その後に行う調整の方法を説明します。

ポイント

一部分を拡大するEズーム機能もあります。☛ p.52

操作

ズームリングを回して調整します。
1.2倍まで拡大できます。

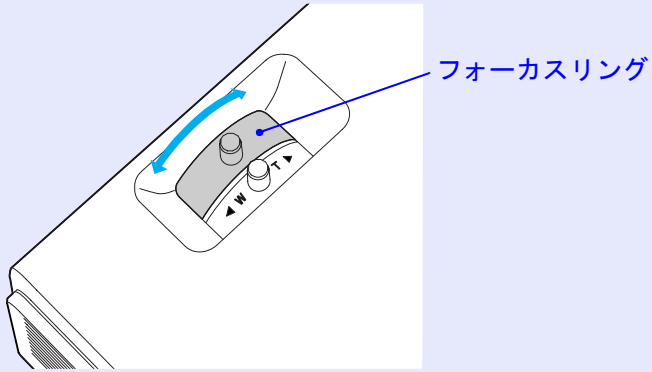


さらに拡大したいときは、投写距離で調整します。☛ p.15

ピントを合わせる（フォーカス調整）

操作

フォーカスリングを回してピントを合わせます。
台形補正やシャープネス設定を行っているとピントが合わないことがあります。



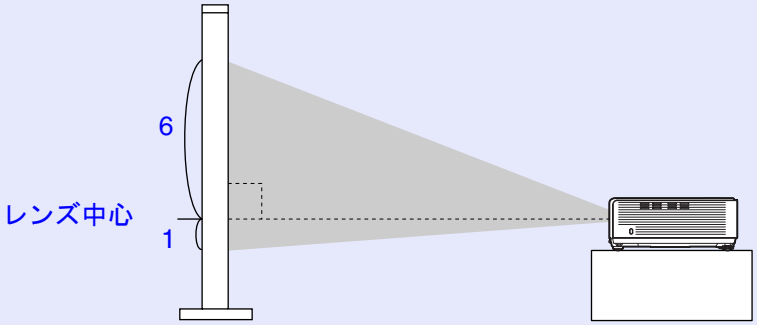
ポイント

- レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。☛ p.83,100
- 設置距離が 100 ～ 1210cm からはずれると、ピントが合いません。設置距離を確認してください。

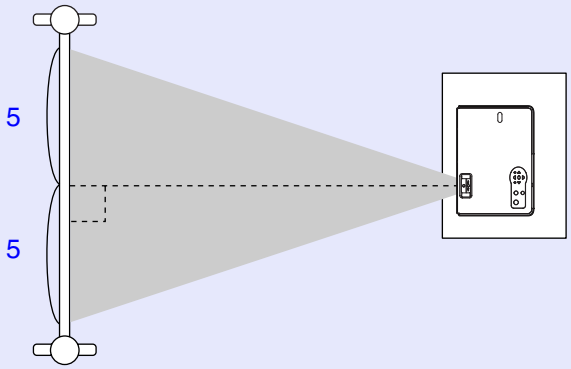
投写角度の調整と自動台形補正

プロジェクターは、できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。

横から見たとき



上から見たとき



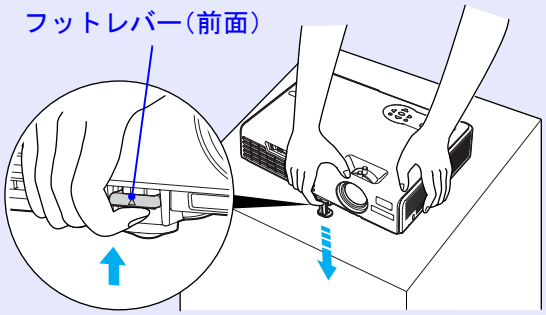
スクリーンに対して直角に設置できない場合は、上方向に本機を傾けて設置できます。フロントフットの伸縮を調節することで、上方向に最大12°までの範囲で投写角度を調整できます。

注意 調整できる範囲以上に傾けて設置しないでください。倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。

操作

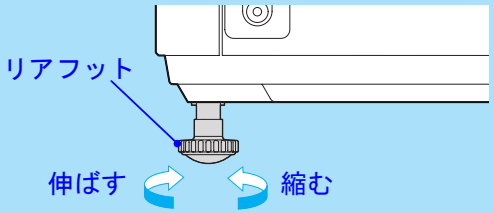
前面のフットレバーを引いたまま、本機前面を持ち上げると、フロントフットが伸びます。
投写したい角度になるまでフロントフットを伸ばし、フットレバーを離します。

フロントフットを収納するには、フットレバーを引いたまま、本機をゆっくり降ろします。

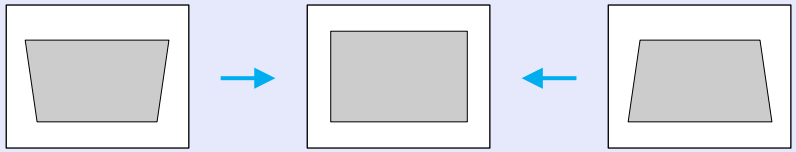


ポイント

本機が水平方向に傾いているときは、左のリアフットの接地部を回して、高さを微調整してください。本機が水平方向に傾いていると、正しく自動台形補正が行われない場合があります。☛ p.42



本機を傾けて投写すると、画面は台形にゆがみます。しかし、本機には画面のゆがみを自動的に補正する「自動台形補正機能」が備わっています。自動台形補正は、電源を入れてある状態で本機を設置して約1秒後に行われます。



台形のゆがみは、上下に約30°※までの傾きであれば補正できます。

※・ズームリングを最も「T」側に設定したときの値です。ズームリングを「W」側に調整するほど、対応できる傾斜角度の値は小さくなります。
・傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。よりよい画質で投写するには、傾斜角度が小さくなるように設置してください。

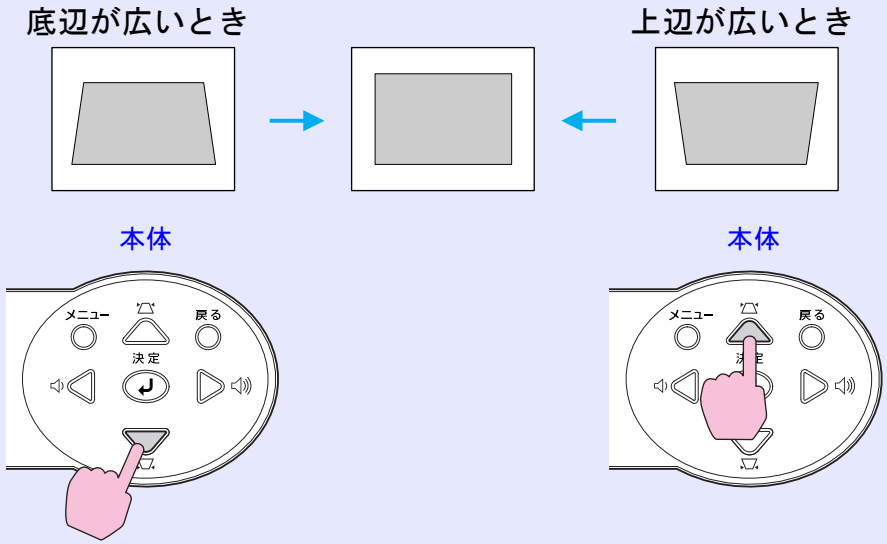
ポイント

- 環境設定メニューの「拡張設定」→「設置モード」が「フロント」以外のときは自動台形補正は行われません。
- 自動台形補正が行われたあと、さらに微調節したい場合は本体の[⏢][⏢]ボタンを押して補正を行うことができます。☛ p.43
- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正で文字のつぶれやにじみが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。☛ p.56,58
- 自動台形補正が不要な場合は、環境設定メニューの「設定」→「自動台形補正」を「オフ」に設定してください。☛ p.62

台形にゆがむ場合の手動補正

本機は、投写時に上下の傾きを検知し、自動的に台形補正を行う「自動台形補正機能」を備えています。自動台形補正の結果に、さらに微調整を行いたい場合は、[⏢][⏢]ボタンを押して調整します。

操作



ポイント

- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正で文字のつぶれやにじみが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。☛ p.56,58
- 台形補正は環境設定メニューでも調整できます。☛ p.62
- 台形補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなったら、台形補正量の限界を超えたことを示しています。本機を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。

画質の調整をしよう

映像の画質を調整します。

コンピュータ映像やRGBビデオ映像の調整

自動調整機能

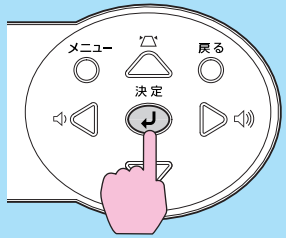
接続されたコンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像の信号を判断し、映像を最適な状態に自動的に調整します。
自動調整で調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期(Sync.)の3項目です。

ポイント

- 環境設定メニューの「映像」→「自動調整」を「オフ」に設定している場合は(初期設定は「オン」)、自動調整機能は働きません。この場合は、コンピュータやRGBビデオの映像を投写中に、リモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[決定]ボタンを押して、調整を行います。

リモコン

本体

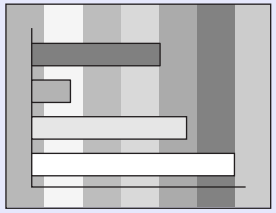


[自動調整]ボタンを押すと、画面がいったん黒色に表示され投写映像に戻ります。投写映像に戻ってもしばらくは調整中です。続けてボタン操作をする場合は、約3秒間待ってから行ってください。

- Eズーム機能や静止機能を実行しているときに[自動調整]ボタンを押すと、実行している機能を解除してから調整します。
- コンピュータや RGB ビデオが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、環境設定メニューで、トラッキングと同期をそれぞれ調整してください。
☛ p.45,46

トラッキングの調整

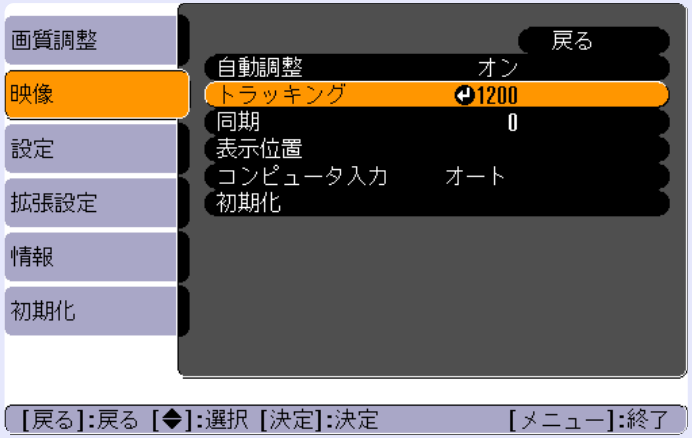
自動調整を行っても、コンピュータやRGBビデオの映像に縦の縞模様が出て調整しきれない場合は、次のように個別にトラッキング▸▸の調整を行います。



操作

1 リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」→「トラッキング」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。☛ p.70



2 リモコンの[◎]を左右に傾けるか、本体の[◁][▷]ボタンを押して、映像の縦の縞模様が消えるようにトラッキングの値を設定します。

ボタンを押すたびに、トラッキングの値が増減します。

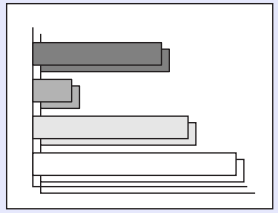
3 設定が終了したら、[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

ポイント

連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障ではありません。

同期の調整

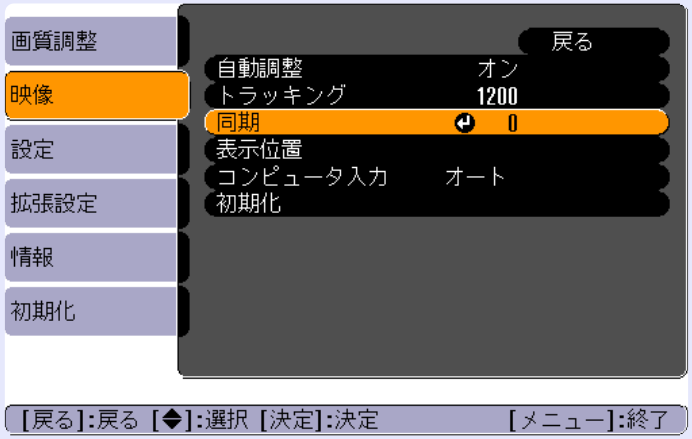
自動調整を行っても、コンピュータやRGBビデオの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整しきれない場合は、次のように個別に同期調整を行います。



操作

1 リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」→「同期」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。☛ p.70



2 リモコンの[◎]を左右に傾けるか、本体の[◁][▷]ボタンを押して、映像のちらつき、ぼやけ、横ノイズが消えるように同期の値を設定します。

ボタンを押すたびに、同期の値が増減します。

3 設定が終了したら、[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

ポイント

- トラッキングを合わせてから同期を調整しないと、完全には調整できません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなりますので、トラッキングのずれを確認してください。
- ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト、シャープネス、台形補正の調整で起こることもあります。

映り具合を選ぶ(カラーモード選択)

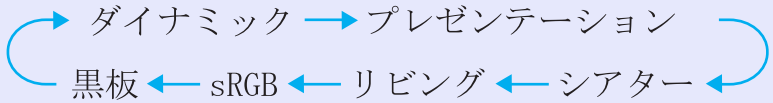
映像の特徴に合わせた次の6種類の設定があらかじめ記録されています。投写映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが異なります。

モード名	使い方
ダイナミック	明るさを重視し、プレゼンテーションモードより鮮やかでメリハリのある映像にします。
プレゼンテーション	明るさを重視し、プレゼンテーションに最適な映像にします。
シアター	自然な色合いで映画に最適です。
リビング	明るさを重視し、明るい部屋でTV等を投写するのに最適な映像にします。
sRGB	色の標準規格であるsRGBに準拠します。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定して使用します。
黒板	黒板(緑)に映像を投写した場合でも、自然な色合いの映像にします。

カラーモードの初期設定は、次のとおりです。
コンピュータ、RGBビデオ映像入力時:「プレゼンテーション」
その他の映像入力時:「ダイナミック」

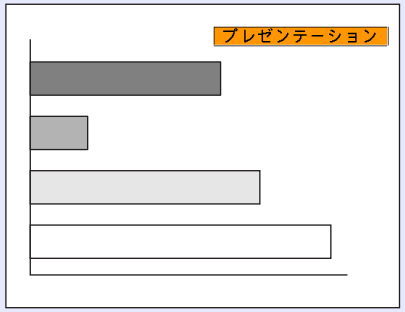
操作

[カラーモード]ボタンを押すたびに次の順でカラーモードが切り替わります。



リモコン

モードを切り替えるたびに、画面上に現在の設定が表示されます。



ポイント

環境設定メニューの「画質調整」→「カラーモード」からも設定できます。☛ p.56,58

音量を調整しよう

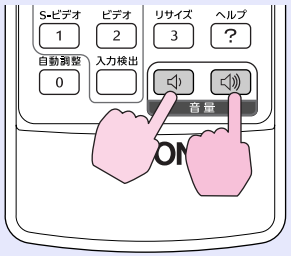
本機の内蔵スピーカの音量を調整します。

操作

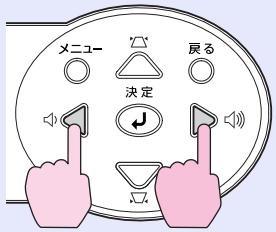
リモコンの[音量]ボタン、または本体の[🔈][🔊]ボタンを押して調整します。

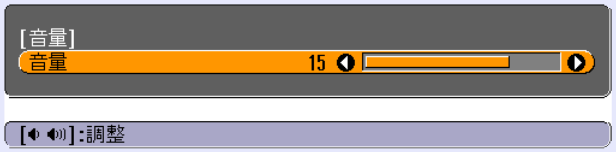
🔊側を押すと音量が上がり、🔈側を押すと下がります。
調整中は音量ゲージが表示されます。

リモコン



本体





ポイント

- 音量調整を行っているときに、画面に表示されているゲージの値が変化しなくなったら、音量調整の限界に達したことを示しています。
- 音量の調整結果は、各入力ソースごとに保存されています。
- 音量は環境設定メニューでも調整できます。☛ p.62

応用編

この章では、投写を効果的にするための機能と環境設定メニューについて説明しています。

投写を効果的にする機能 50
- A/Vミュート機能 50
- 静止機能 51
- ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を映す（アスペクト比の切り替え） 51
- Eズーム機能 52
- ポインタ機能 53
- 操作ボタンロック機能 54

環境設定メニューの機能と操作 55
- 機能一覧 56
  - 画質調整メニュー 56
  - 映像メニュー 60
  - 設定メニュー 62
  - 拡張設定メニュー 64
  - 情報メニュー 68
  - 初期化メニュー 69
- 環境設定メニューの操作 70

投写を効果的にする機能

ここでは、プレゼンテーションなどに有効で便利な各機能について説明しています。

A/Vミュート機能

映像と音声を一時的に消します。
例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内容を表示したくない場合に使用すると便利です。
ただし、動画を消している場合は消えている間も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。

操作

[A/Vミュート]ボタンを押します。
映像と音声が消えます。

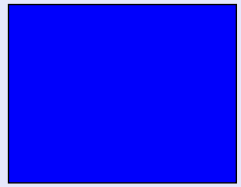
もう一度[A/Vミュート]ボタンを押すと投写を再開します。
[戻る]ボタンを押しても再開できます。

リモコン

映像と音声を一時的に消したときの状態を、環境設定メニューの「拡張設定」→「表示設定」→「背景色」により、次の3種類の中から選択できます。
☛ p.64

黒一色

青一色



初期設定

ユーザーロゴ

ポイント

- ユーザーロゴにはEPSONロゴが登録してあります。ユーザーロゴを変更する場合は、ユーザーロゴの登録が必要です。☛ p.106
- A/Vミュート機能を実行すると、自動的に環境設定メニューの「輝度切替」が「低輝度」に切り替わります。A/Vミュート機能を解除すると、「輝度切替」の設定が戻ります。

静止機能

映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。動画を停止している場合は、停止している間も映像は進んでいますので、停止したときの場面からは再開できません。

操作

[静止]ボタンを押します。
映像が停止します。

解除するには再び[静止]ボタンを押します。
[戻る]ボタンを押しても解除できます。

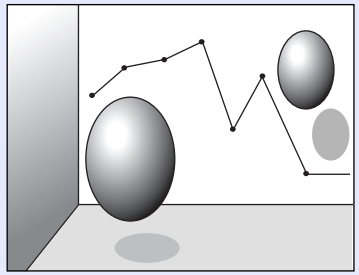
リモコン

ポイント

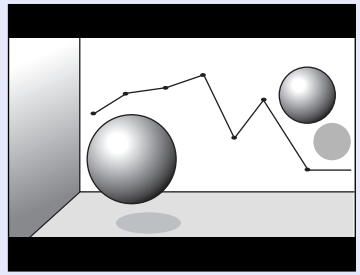
- [静止]ボタンを押すと、環境設定メニュー、ヘルプメニューは消去されます。
- Eズーム実行時も、静止機能で停止できます。

ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を映す（アスペクト比の切り替え）

コンポーネントビデオ、S-ビデオ、コンポジットビデオ投写時は、アスペクト比4:3と16:9を切り替えることができます。
デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写できます。



スクイーズモードの映像を4:3で投写した場合



スクイーズモードの映像を16:9で投写した場合

操作

[リサイズ]ボタンを押すたびに表示を切り替えます。

リモコン

ポイント

環境設定メニューの「映像」→「リサイズ」からも設定できます。

Eズーム機能

グラフや表など見たい部分を拡大/縮小できます。

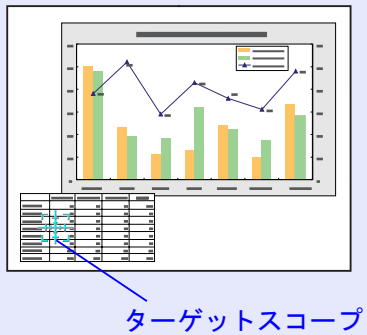
操作

1 [Eズーム⊕]ボタンを押します。

投写中の画面に、ズームを行う中心点を表すカーソル(ターゲットスコープ)が表示されます。

2 拡大/縮小表示したい部分にターゲットスコープを移動させます。

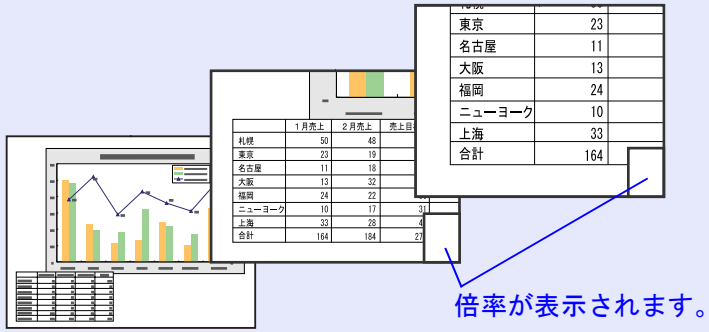
ターゲットスコープの移動は、リモコンの[◎]を傾けて行います。



3 [⊕]ボタンを押すと、ターゲットスコープを中心に映像が拡大されます。[⊖]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。

画面上に倍率が表示されます。

[◎]を傾けることによって、画面のスクロールができます。



解除するには[戻る]ボタンを押します。

ポイント

1～4倍まで、0.125倍刻みに25段階で拡大できます。

ポインタ機能

投写中の映像にポインタアイコンを表示させてリモコンで操作できます。
この機能を使うと、注目させたい部分をアピールすることができます。
ポインタ機能の操作はリモコンを使って行います。

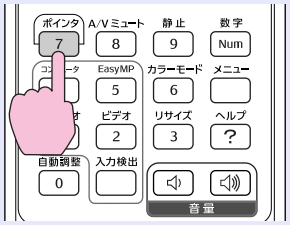
ポイント

環境設定メニューの「設定」→「ポインタ形状」でポインタアイコンの形状を3種類から設定できます。☛ p.62

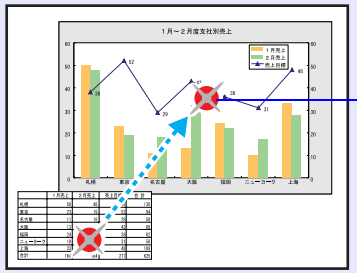
操作

1 [ポインタ]ボタンを押します。
画面中央にポインタアイコンが表示されます。

リモコン



2 [◎]を傾けると、ポインタアイコンを移動できます。
解除するには、[ポインタ]ボタンを押します。
ポインタアイコンが消えます。



操作ボタンロック機能

本体操作パネルのボタンをロックします。
イベントやショーなどで、投写のみ行い、操作はまったくできないようにしたり、学校などで、操作できるボタンを制限したいときに便利です。

操作

1. リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューから「設定」→「操作ボタンロック」を選びます。

2. 「オン」に設定します。
「オン」に設定すると、操作パネルの[電源]ボタンを除く全ボタンが操作できなくなります。

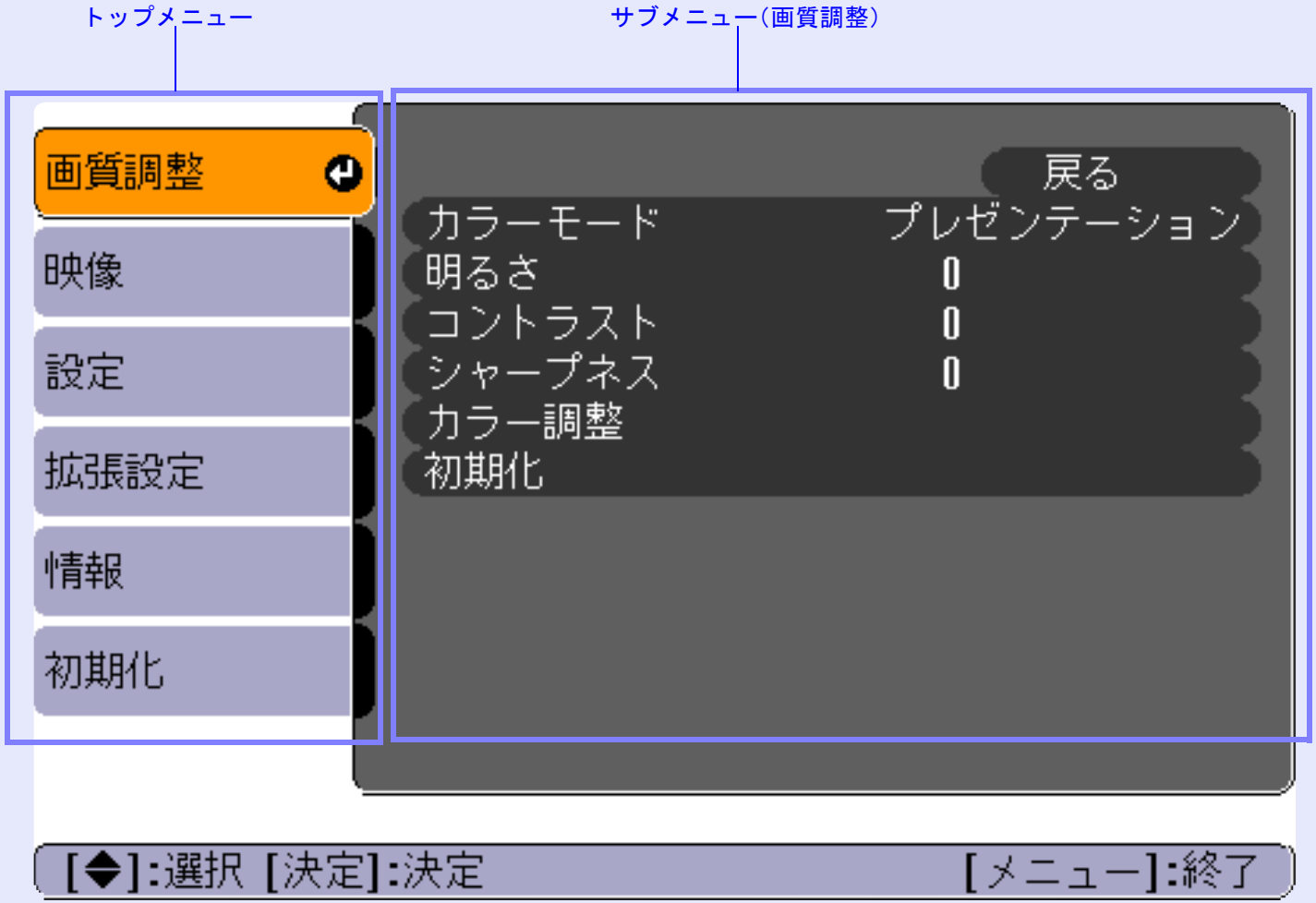
3. 確認のメッセージが表示されるので、「はい」を選びます。
設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。

ポイント

操作パネルボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。
- リモコンを使って、環境設定メニューの「設定」→「操作ボタンロック」を「オフ」に設定します。
- 本体の[決定]ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

環境設定メニューの機能と操作

環境設定メニューでは、各種調整や設定ができます。
メニューは、トップメニューとサブメニュー、サブサブメニューがあり、階層構造になっています。
操作方法の詳細は「環境設定メニューの操作」(☛ p.70)をご覧ください。

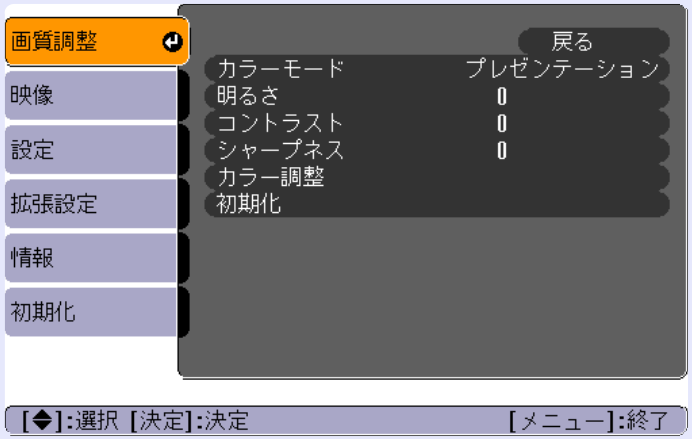


機能一覧

画質調整メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは、すべての項目が調整できません。
- 「画質調整」メニューは投写している入力信号によって表示される項目が異なります。投写している入力信号以外のメニューは調整できません。

コンピュータ/RGBビデオ/
EasyMP（EMP-745/737のみ）

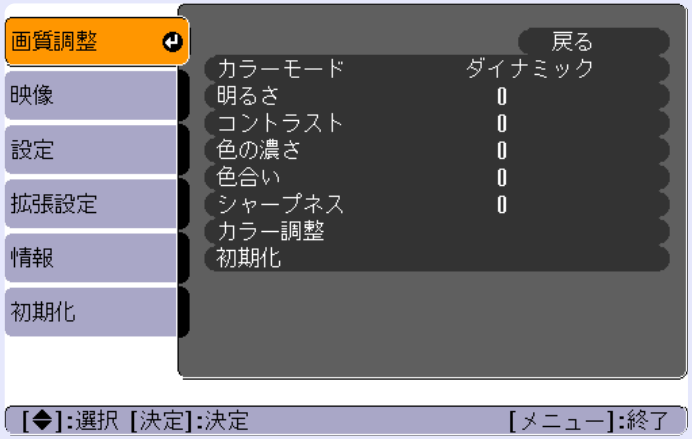


画質調整メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース（コンピュータ、ビデオ機器）ごとに設定を保存できます。6種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 • ダイナミック：明るさを重視し、プレゼンテーションモードより鮮やかでメリハリのある映像にします。 • プレゼンテーション：明るさを重視し、プレゼンテーションに最適な映像にします。 • シアター：自然な色合いで映画に最適です。黒っぽい映像時や白っぽく明るい映像時も階調（色の濃淡）差をはっきりさせ、見やすい映像にします。 • リビング：明るさを重視し、明るい部屋でTV等を投写するのに最適な映像にします。 • sRGB：sRGB規格に準拠した映像にします。sRGBに設定すると「画質調整」→「カラー調整」の絶対色温度が6500Kに固定されます。 • 黒板：黒板（緑）に映像を投写した場合でも、自然な色合いの映像にします。	プレゼンテーション
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値（0）
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。	中心値（0）
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値（0）

サブメニュー	機能	初期設定値
カラー調整	入力ソースごとに、映像の絶対色温度と赤、緑、青の各色の強さを調整します。 **絶対色温度**: 白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。 絶対色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。 絶対色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。 RGB: R(赤)、G(緑)、B(青)の各色の強さを調整します。 (「画質調整」→「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定している場合、本項目は選択できません。)	絶対色温度: 7500K 赤: 中心値(0) 緑: 中心値(0) 青: 中心値(0)
初期化	「画質調整」メニューの調整値を初期値に戻します。 • リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して実行します。 • 「画質調整」や「映像」などすべての設定を初期値に戻すときは「初期化」→「全初期化」を実行してください。☛ p.69	-

コンポーネントビデオ/コンポジットビデオ/S-ビデオ



画質調整メニュー

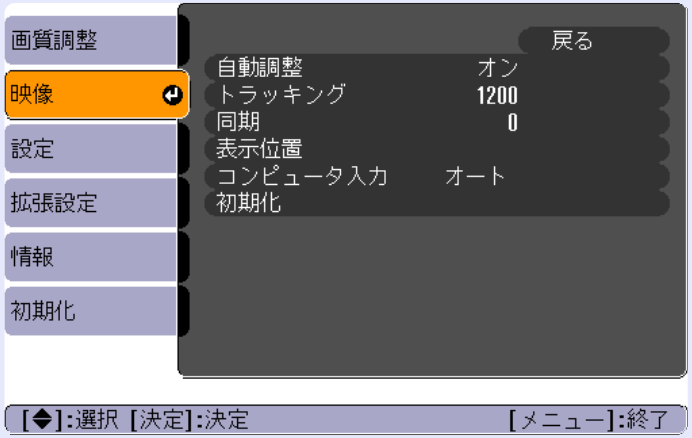
サブメニュー	機能	初期設定値
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 6種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 • ダイナミック:明るさを重視し、プレゼンテーションモードより鮮やかでメリハリのある映像にします。 • プレゼンテーション:明るさを重視し、プレゼンテーションに最適な映像にします。 • シアター:自然な色合いで映画に最適です。黒っぽい映像時や白っぽく明るい映像時も階調(色の濃淡)差をはっきりさせ、見やすい映像にします。 • リビング:明るさを重視し、明るい部屋でTV等を投写するのに最適な映像にします。 • sRGB :sRGB規格に準拠した映像にします。sRGBに設定すると「画質調整」→「カラー調整」の絶対色温度が6500Kに固定されます。 • 黒板 :黒板(緑)に映像を投写した場合でも、自然な色合いの映像にします。	ダイナミック
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値(0)
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。	中心値(0)
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。	中心値(0)
色合い	(コンポーネントビデオとNTSC系の信号入力時のみ調整可能) 映像の色合いを調整します。	中心値(0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値(0)

サブメニュー	機能	初期設定値
カラー調整	入力ソースごとに、映像の絶対色温度と赤、緑、青の各色の強さを調整します。 **絶対色温度**: 白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。 絶対色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。 絶対色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。 RGB: R(赤)、G(緑)、B(青)の各色の強さを調整します。 青色の強さを調整します。 (「画質調整」→「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定している場合、本項目は選択できません。)	絶対色温度: 6500K 赤: 中心値(0) 緑: 中心値(0) 青: 中心値(0)
初期化	「画質調整」メニューの調整値を初期値に戻します。 • リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して実行します。 • 「画質調整」や「映像」などすべての設定を初期値に戻すときは「初期化」→「全初期化」を実行してください。☛ p.69	-

映像メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは、「トラッキング」、「同期」、「表示位置」、「リサイズ」の項目が調整できません。
- 「映像」メニューは投写している入力信号によって表示される項目が異なります。投写している入力信号以外のメニューは調整できません。
- EMP-745/737をお使いの場合、EasyMPを起動中は「映像」メニューの設定は行えません。

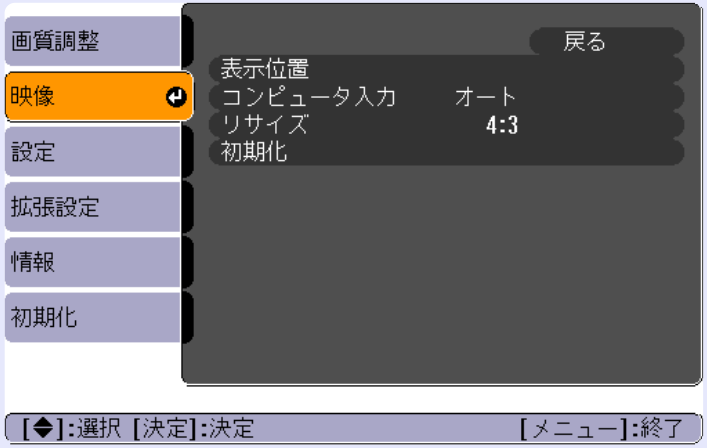
コンピュータ/RGBビデオ



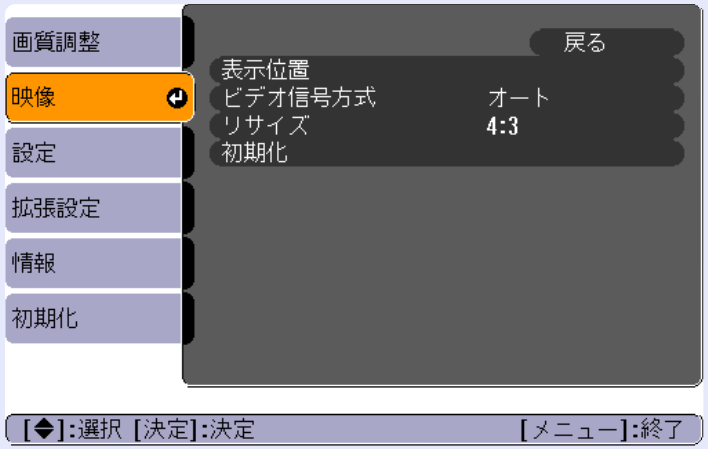
映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
自動調整	入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整する自動調整のオン/オフを設定します。	オン
トラッキング	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	接続信号による
同期	映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 • ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト、シャープネス、台形補正の調整で発生することもあります。 • トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。	接続信号による
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 • リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
コンピュータ入力	[コンピュータ/コンポーネントビデオ] 端子に接続している機器に応じて入力信号を選択します。 「オート」にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を設定します。 「オート」にして色が不自然な場合は、「コンピュータ」を選択してください。	オート
初期化	「映像」メニューのうち、「コンピュータ入力」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 • リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して実行します。 • 「画質調整」や「映像」などすべての設定を初期値に戻すときは「初期化」→「全初期化」を実行してください。☛ p.69	-

コンポーネントビデオ



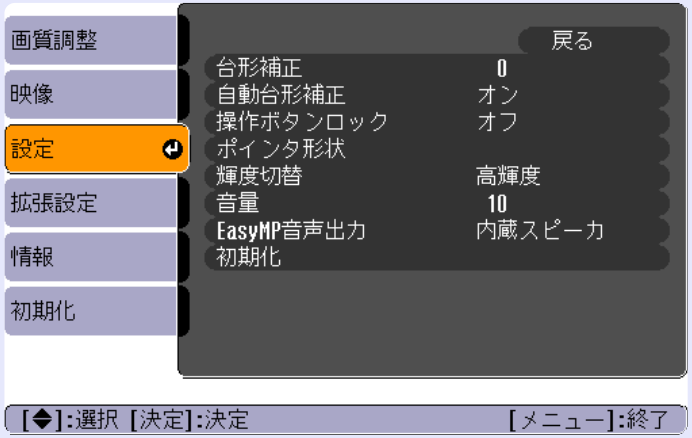
コンポジットビデオ/S-ビデオ



映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 • リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
コンピュータ入力	(コンポーネントビデオ信号入力時のみ調整可能) [コンピュータ/コンポーネントビデオ] 端子に接続している機器に応じて入力信号を選択します。 「オート」にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を設定します。 「オート」にして色が不自然な場合は、「コンポーネントビデオ」を選択してください。	オート
ビデオ信号方式	(コンポジットビデオ/S-ビデオ信号入力時のみ調整可能) ビデオ信号方式を設定します。 • リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して表示されるビデオ信号方式選択メニューから選択します。 • 「オート」にすると自動的にビデオ信号を設定します。	オート
リサイズ	映像のアスペクト比を設定します。	接続信号による
初期化	「映像」メニューのうち、「表示位置」および、「リサイズ」の調整値を初期値に戻します。 • リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して実行します。 • 「画質調整」や「映像」などすべての設定を初期値に戻すときは「初期化」→「全初期化」を実行してください。☛ p.69	-

設定メニュー

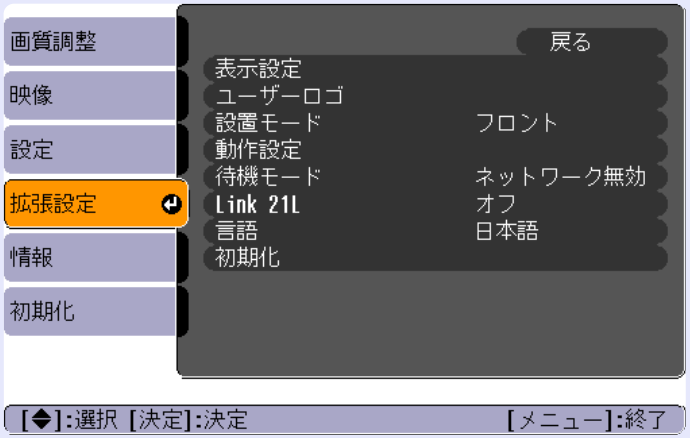


サブメニュー	機能	初期設定値
台形補正	台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。 • 台形補正をすると画面が小さくなります。 • 台形補正で文字のつぶれやにじみが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。	中心値(0)
自動台形補正	本機を上下に傾けたとき、傾きを検知して自動的に台形補正する機能のオン/オフを設定します。 「拡張設定」の「設置モード」が「フロント」に設定されているときに限り機能が働きます。「フロント」以外に設定されているときは、このメニューは選択できません。	オン
操作ボタンロック	オンにすると[電源]ボタン以外の本体操作パネルの操作が無効になります。 • 「操作ボタンロック」が「オン」のときに、本体の[決定]ボタンを約7秒間押し続けると操作ボタンロック機能が解除されます。 • 設定を変更した場合は、環境設定メニューの表示を終了した以降、設定が有効になります。	オフ
ポインタ形状	リモコンの[ポインタ]ボタンを押した時に表示されるポインタアイコンの形状を以下の3種類から選択します。 ポインタ1: ポインタ2: ポインタ3:	ポインタ1
輝度切替	ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。 暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは「低輝度」に設定します。 「低輝度」で使用すると、投写中の消費電力が減り、ランプ寿命が延びます。	高輝度
音量	音量を調節します。	中心値(10)

サブメニュー	機能	初期設定値
EasyMP 音声出力	（EMP-745/737のみ。EasyMPの映像投写時のみ設定が有効になります。） EasyMPの音声出力方法を設定します。 「外部出力」に設定すると、外付けアンプ内蔵スピーカから音声を出力することができます。「内蔵スピーカ」に設定すると、本機内蔵のスピーカから音声を出力できます。☛ p.27 ※外部出力できるのは、Card Playerで再生されたシナリオの音声（.wav）とMPEGファイルの音声のみです。	内蔵 スピーカ
初期化	「設定」メニューの調整値を初期値に戻します。 • リモコンまたは本体の［決定］ボタンを押して実行します。 • 「画質調整」や「映像」などすべての設定を初期値に戻すときは「初期化」→「全初期化」を実行してください。☛ p.69	-

拡張設定メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは、「ユーザーロゴ」の設定はできません。



サブメニュー	機能	初期設定値
表示設定	本機の表示に関する設定を行います。 **メッセージ表示**: 次のメッセージ表示をする(オン)か、しない(オフ)かを設定します。 • 映像信号切り替え時の信号名表示 • カラーモード切り替え時のモード名 • 映像信号が入力されていないとき • 未対応信号が入力されているとき • エアーフィルタ交換などのメッセージ **背景色**: リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押したときや映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を「黒」、「青」、「ロゴ」のいずれかで設定します。 • ユーザーロゴを変更するときには、ユーザーロゴの登録が必要です。☛ p.106 • パスワードプロテクトで「ユーザーロゴ保護」を「オン」に設定している場合は、「ロゴ」から「黒」、「青」に変更する、または「黒」、「青」から「ロゴ」に変更することができません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。☛ p.32 **スタートアップスクリーン**: スタートアップスクリーンの表示の有効・無効の設定を行います。 ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。☛ p.106 パスワードプロテクトで「ユーザーロゴ保護」を「オン」にしている場合は、有効(オン)、無効(オフ)の設定を変更できません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。☛ p.32	メッセージ表示: オン 背景色: 青 スタートアップスクリーン: オン

サブメニュー	機能	初期設定値
ユーザーロゴ	ユーザーロゴを登録します。☛ p.106 • リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して、表示される画面の指示に従って操作します。 • パスワードプロテクトで「ユーザーロゴ保護」を「オン」に設定している場合は登録することができません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。☛ p.32	EPSONロゴ
設置モード	本機の設置状態に合わせます。 • フロント:正面から投写する場合に選択します。 • フロント・天吊り:天吊りして正面から投写する場合に選択します。 • リア　:リアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。 • リア・天吊り:天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する場合に選択します。	フロント

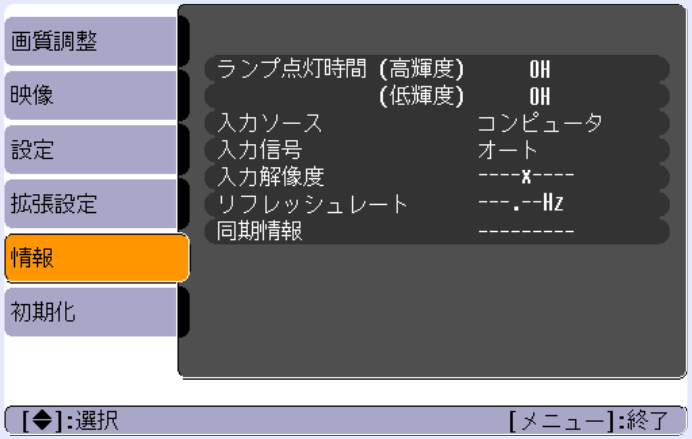
サブメニュー	機能	初期設定値
動作設定	本機の動作に関する設定を行います。 **ダイレクトパワーオン**: 本機の電源ケーブルを接続すると、[電源]ボタンを押さなくても投写を開始します。 ※ダイレクトパワーオンを「オン」に設定しているときに、電源を切る場合は、[電源]ボタンを押しクールダウン▸▸が終了してから電源ケーブルを抜いてください。また、コンセントに電源プラグが差し込まれていると、停電になり復旧した時に本機の電源がオンになるので、注意してください。 **スリープモード**: 信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。 • 「オン」にしておくと、「映像信号が入力されていません。」の表示状態で30分間操作しないと自動的に投写を終了し、クールダウン▸▸後、スリープモード(スタンバイ状態)になります。(電源インジケータはオレンジ色に点灯しています。) • [電源]ボタンを押すと投写を再開します。	ダイレクトパワーオン:オフ スリープモード:オフ
待機モード	(EMP-745/737のみ) 本機がスタンバイ状態のときも、ネットワーク監視•制御機能を働かせる場合は、「ネットワーク有効」に設定します。設定を変更した場合は、一度電源を切って、クールダウン▸▸終了後以降、設定が有効になります。 ※「ネットワーク有効」に設定しているときに、電源プラグを抜いて再びコンセントに差し込むと、電源インジケータがオレンジ色に点滅した後、オレンジ色の点灯になります。	ネットワーク無効

サブメニュー	機能	初期設定値
Link21L	ユーティリティソフトEMP Link21L の使用/不使用を設定します。 設定を変更した場合は、一度電源を切って、クールダウン終了後以降、EMP Link21Lが使用できるようになります。	オフ
言語	メッセージやメニューに表示する言語を設定します。 • リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して選択します。	日本語
初期化	「拡張設定」メニューのうち、「表示設定」および、「動作設定」の調整値を初期値に戻します。 ただし、「背景色」を「ロゴ」にしている場合や「スタートアップスクリーン」を「オフ」にしている場合は、パスワードプロテクトの「ユーザーロゴ保護」を「オン」にしていると初期値に戻りません。☛ p.32 • リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して実行します。 • 「画質調整」や「映像」などすべての設定を初期値に戻すときは「初期化」→「全初期化」を実行してください。☛ p.69	-

情報メニュー

- 「情報」メニューは投写している入力信号の設定状態を表示します。
- 「ランプ点灯時間」は、0～10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。

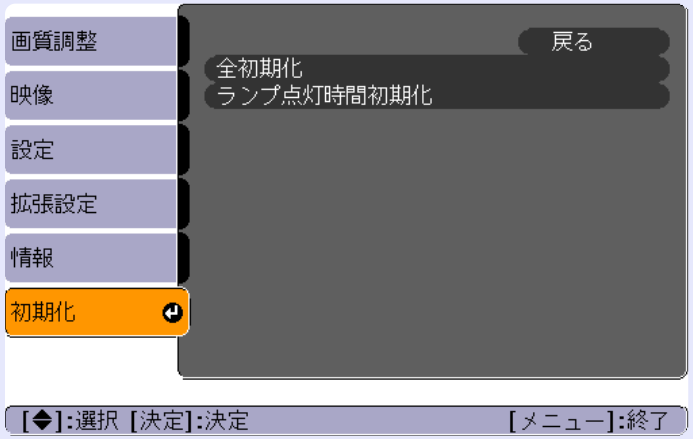
コンピュータ/RGBビデオ/コンポーネントビデオ



コンポジットビデオ/S-ビデオ

サブメニュー	機能	初期設定値
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を「高輝度」、「低輝度」それぞれで表示します。 • ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色(赤)で表示されます。	0H
入力ソース	現在投写中の入力ソースを表示します。	
入力信号	入力信号の設定を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオ、EasyMPの場合は表示されません。)	
入力解像度	入力解像度を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオ、EasyMPの場合は表示されません。)	-
ビデオ信号方式	ビデオの信号方式を表示します。 (コンピュータ、RGBビデオ、コンポーネントビデオ、EasyMPの場合は表示されません。)	-
リフレッシュレート	リフレッシュレートを表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオ、EasyMPの場合は表示されません。)	-
同期情報	映像信号の情報を表示します。 エプソンインフォメーションセンターに問い合わせをしたときに、この表示内容が必要になる場合があります。 (コンポジットビデオ、S-ビデオ、EasyMPの場合は表示されません。)	-

初期化メニュー



サブメニュー	機能	初期設定値
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 • リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押して実行します。 • 「画質調整」や「映像」などメニューごとの設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 • 「コンピュータ入力」、「ビデオ信号方式」、「ユーザーロゴ」、「ランプ点灯時間」、「言語」は初期値に戻りません。ただし、「背景色」を「ロゴ」に設定している場合や「スタートアップスクリーン」を「オフ」にしている場合は、パスワードプロテクトの「ユーザーロゴ保護」を「オン」にしていると初期値に戻りません。☛ p.32	-
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	-

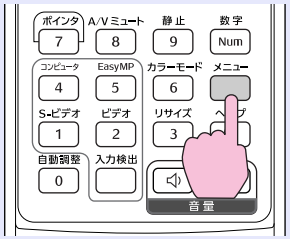
環境設定メニューの操作

環境設定メニューはリモコンと本体のどちらからでも操作できます。

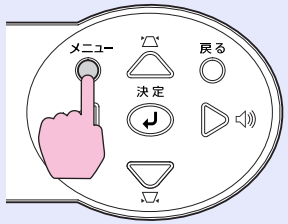
操作

1 [メニュー]ボタンを押します。
環境設定メニューが表示されます。

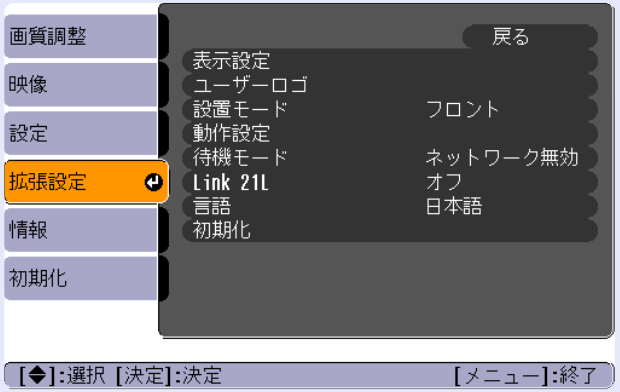
リモコン



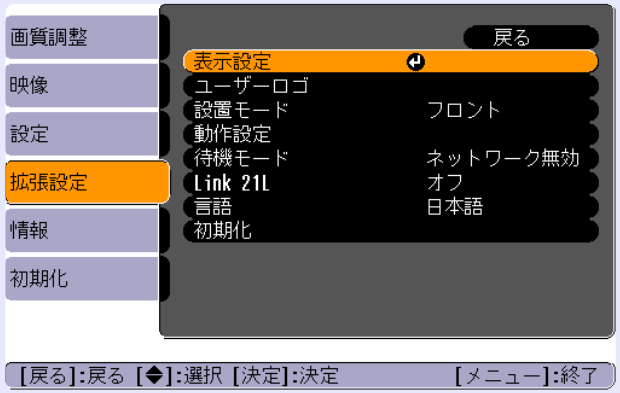
本体



2 項目を選択します。
リモコンの[◎]を上下に傾ける、または本体の[△][▽]ボタンを押して、設定する項目に移動します。



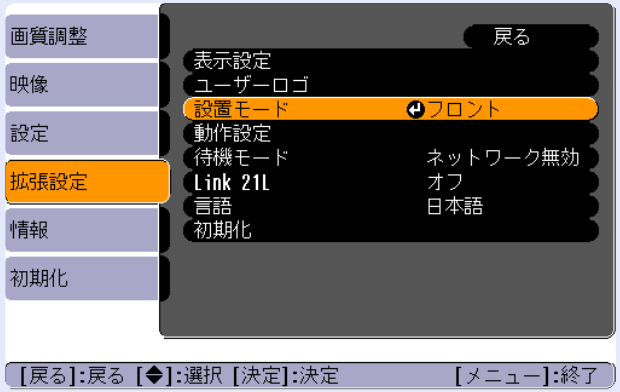
3 項目を決定します。
[決定]ボタンを押して項目を決定します。



4 サブ項目を選択します。

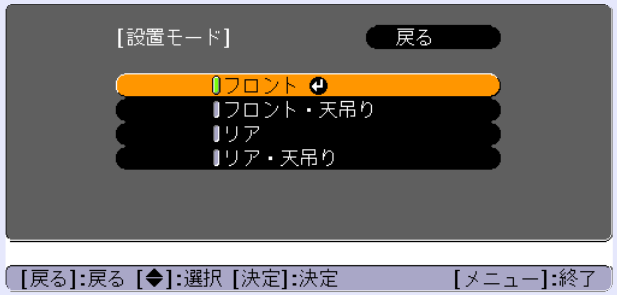
リモコンの[◎]を上下に傾ける、または本体の[△][▽]ボタンを押して、設定するサブ項目に移動し、[決定]ボタンを押します。

「画質調整」メニューや「映像」メニュー、「情報」メニューは、投写している入力ソースによって表示される項目が異なります。



5 設定を変更します。

例1



①リモコンの[◎]ボタンを傾ける、または本体の[△][▽]ボタンを押して設定を変更します。
●:現在の設定値
●:現在選択中の項目
②⏎が表示されている項目で[決定]ボタンを押すとその項目の選択画面に移行します。
選択した後、[決定]ボタンを押して確定すると●が緑色に変わります。

例2

リモコンの[◎]ボタンを左右に傾ける、または本体の[◁][▷]ボタンを押して、調整値を変更します。
[決定]ボタンを押して調整値を確定します。

6 環境設定メニューを終了します。
[メニュー]ボタンを押します。

ポイント

各設定項目の機能については「機能一覧」をご覧ください。☛ p.56

困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

ヘルプの見方 74
故障かなと思ったら 76
- インジケータの見方 76
  - 電源インジケータ 赤色点灯時 76
  - ランプまたは温度インジケータ オレンジ色点滅時 77
  - 電源インジケータ 緑・オレンジ色点灯/点滅時 78
- インジケータを見てもわからないとき 79
  - 映像に関するトラブル 81
  - 投写開始時のトラブル 86
  - その他のトラブル 87
  - ネットワークを使ったプロジェクターの監視・制御に関するトラブル（EMP-745/737のみ） 88

ヘルプの見方

トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答える形式で階層を進んでいきます。

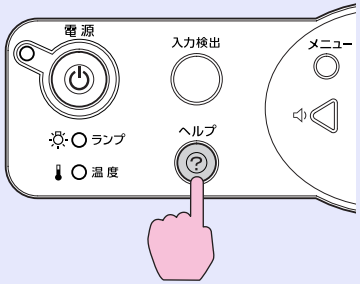
操作

1 [ヘルプ]ボタンを押します。

ヘルプメニューが表示されます。

リモコン

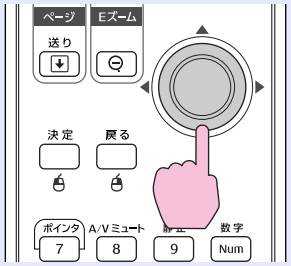
本体



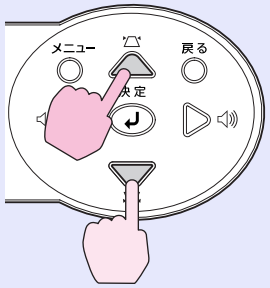
2 項目を選択します。

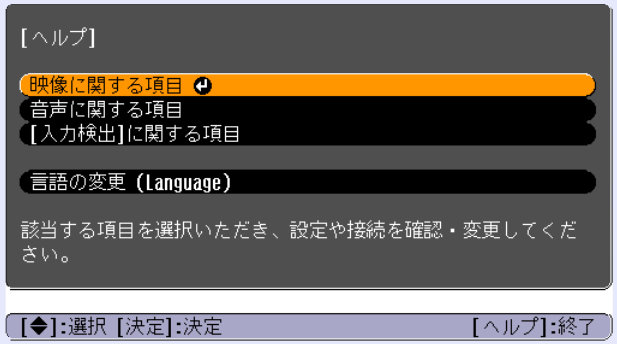
リモコンの[◎]を上下に傾ける、または本体の[△][▽]ボタンを押して項目を選択します。

リモコン



本体

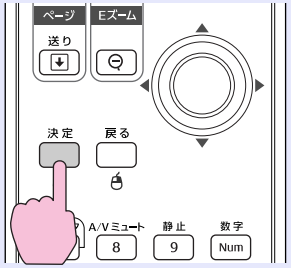




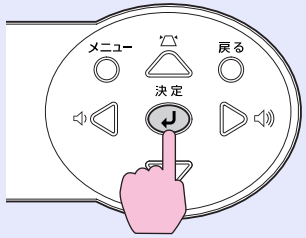
3 項目を決定します。

[決定]ボタンを押して項目を決定します。

リモコン

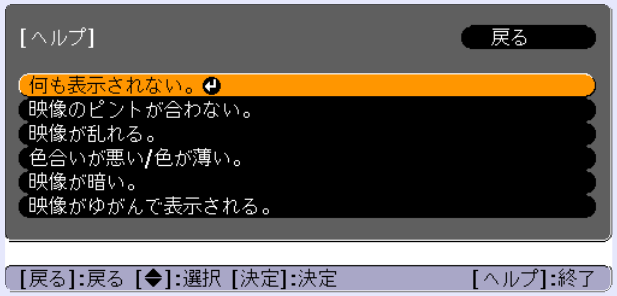


本体



4 手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。

[ヘルプ]ボタンを押すと、ヘルプメニューは解除されます。



ポイント

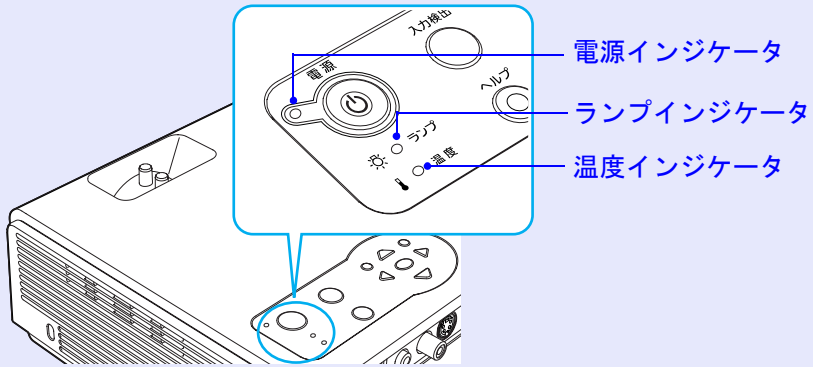
ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」(☛ p.76)をご覧ください。

故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧になり下記の「インジケータの見方」で本機の状態をご確認ください。
インジケータをご覧になってもわからないときは、「インジケータを見てもわからないとき」を参照してください。☛ p.79

インジケータの見方

本機には、次の3種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。



インジケータの状態とその対処方法については、次表を参照してください。
インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。

電源インジケータ 赤色点灯時 異常

●：点灯　☼：点滅　○：消灯

状態	原　因	処置または状態
⏻ ● 赤 ☼ ☼ 赤 🌡 ☼ 赤	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。☛ p.122
⏻ ● 赤 ☼ ○ 🌡 ☼ 赤	ファン異常 センサ異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。☛ p.122

●：点灯　☼：点滅　○：消灯

状態	原　因	処置または状態
⏻ ● 赤 ☼ ○ 🌡 ● 赤	内部高温異常 （オーバーヒート）	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態で待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認します。確認後、[電源]ボタンを押して、電源を入れ直します。 • エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ☛ p.15 • エアーフィルタが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。☛ p.100,105 それでも繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。☛ p.122
⏻ ● 赤 ☼ ☼ 赤 🌡 ○	ランプ異常 ランプ点灯失敗	ランプを取り出し、ランプが割れていないか確認します。☛ p.102 割れていなければ再セットし、電源を入れます。それでも直らないときは、新しいランプと交換してください。 以上の処置を行っても直らないときはご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。☛ p.122
		ランプが割れている場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。（ランプを交換しないと映像を投写することはできません。）☛ p.122
		ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプおよびランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、ランプが点灯しません。

ランプまたは温度インジケータ オレンジ色点滅時　警告

●：点灯　☼：点滅　○：消灯

状態	原　因	処置または状態
⏻ ☼ 赤 ☼ ○ 🌡 ☼ オレンジ	高速冷却中	（異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止させます。） • エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ☛ p.15 • エアーフィルタが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。☛ p.100,105
⏻ ● ☼ ☼ オレンジ 🌡 ○	ランプ交換勧告	新しいランプに交換してください。☛ p.102 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。電源インジケータは、そのときのプロジェクターの状態により異なります。

電源インジケータ 緑・オレンジ色点灯/点滅時 正常

●：点灯　☀：点滅　○：消灯

状態	原　因	処置または状態
⏻ ● オレンジ ☀ ○ 🌡 ○	スタンバイ状態	[電源]ボタンを押すと投写を開始します。 電源を切って終了する場合は、この状態でコンセントから電源プラグを抜いてください。
⏻ ☀ 緑 ☀ ○ 🌡 ○	ウォームアップ中	ウォームアップの時間は約40秒です。ウォームアップ終了後、緑色の点灯に変わります。
⏻ ● 緑 ☀ ○ 🌡 ○	投写中	
⏻ ☀ オレンジ ☀ ○ 🌡 ○	クールダウン中	そのまましばらくお待ちください。 • クールダウンの時間は約20秒間です。 • クールダウン中は、[電源]ボタンを押しても無効となります。クールダウンが終了し、終了確認音が鳴って、オレンジ色の点灯に変わってから、もう一度操作してください。

ポイント

- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

インジケータを見てもわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

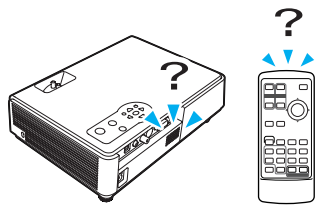
- **映像が表示されない** ☛ p.81
  投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になる
  など...
- **[入力検出]ボタンを押してもビデオ機器の映像に切り替わらない** ☛ p.81
- **自動的に投写が消える** ☛ p.82
- **「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される** ☛ p.82
- **「映像信号が入力されていません。」と表示される** ☛ p.82
- **ぼやける、ピントが合わない** ☛ p.83
- **ノイズが入る、乱れる** ☛ p.83
  ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...
- **映像が切れる(大きい)、小さい** ☛ p.84
  映像の一部分しか投写されないなど...
- **色合いが違う** ☛ p.85
  全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど...
  (コンピュータのモニタや液晶画面とは色の再現性が異なるため、プロジェクターでの投写映像とモニタでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- **暗い** ☛ p.86

投写開始時のトラブル

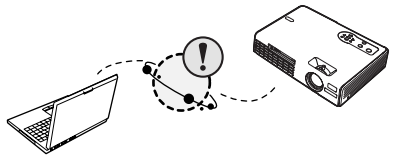
- **電源が入らない** ☛ p.86

その他のトラブル

- **音が出ない・小さすぎる** ☛ p.87
- **リモコンで操作できない** ☛ p.87
- **本体操作パネルで操作できない** ☛ p.87
- **メッセージやメニューが日本語で表示されない** ☛ p.88
- **電源を切ってもファンが止まらない(EMP-745/737のみ)** ☛ p.88



ネットワークとEasyMPに関するトラブル　EMP-745/737のみ



- プロジェクターに異常が起きてもメールが送られてこない ☛ p.88
- EMP Monitorでプロジェクターを制御・監視できない ☛ p.89
- エラーメッセージが表示される（EMP Monitor実行時のエラーメッセージ） ☛ p.98
- ネットワーク接続時、映像が投写されたままになって他のコンピュータから接続できない ☛ p.90
- EMP NS Connectionを起動してもプロジェクターが見つからない ☛ p.90
- アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続できない ☛ p.92
- アドホックモードで接続できない ☛ p.92
- Network Screenで映像が表示されない、表示が遅い ☛ p.92
- Network Screen使用時にPowerPointのスライドショーが動作しない ☛ p.93
- Network Screen使用時にKeynoteのスライドショーが再生できない ☛ p.93
- Network Screenを使用できない ☛ p.93
- Network ScreenでOfficeアプリケーション使用時に画面が更新されない ☛ p.94
- EMP SlideMaker2でファイル指定ができない ☛ p.94
- エラーメッセージが表示される ☛ p.94～p.98

映像に関するトラブル

■ 映像が表示されない

確認	対処法
[電源]ボタンを押しましたか？	[電源]ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。 本機に電源ケーブルを正しく接続してください。☛ p.35 または、電気が供給されるようにブレーカなどを確認してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛ p.50
「メッセージ表示」を「オフ」にしていませんか？	環境設定メニューの「メッセージ表示」を「オフ」に設定しているときは、「オン」に設定して、メッセージを表示させてください。メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してください。 ☛「拡張設定」→「表示設定」→「メッセージ表示」p.64
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。☛「初期化」→「全初期化」p.69
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ コンピュータ投写時のみ	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛「映像」→「ビデオ信号方式」p.61

■ [入力検出]ボタンを押してもビデオ機器の映像に切り替わらない

確認	対処法
ビデオ機器の映像信号が出力されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	ビデオ機器の[再生]や[プレイ]ボタンを押します。 または接続しているビデオ機器に合わせて、リモコンの[コンピュータ]、[S-ビデオ]、[ビデオ]ボタンを押して、投写する映像を切り替えてください。

■ 自動的に投写が消える

確認	対処法
「スリープモード」を「オン」にしていませんか？	環境設定メニューの「スリープモード」を「オン」に設定した場合、映像信号が入らない状態で約30分間操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このとき電源インジケータはオレンジ色に点灯しています。[電源]ボタンを押して電源を入れます。「スリープモード」を働かせないときは設定を「オフ」にしてください。 ☛「拡張設定」→「動作設定」→「スリープモード」 p.66

■「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p.61
映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？ コンピュータ投写時のみ	コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。☛ 対応解像度一覧 p.116

■「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.19～p.25
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコンの[コンピュータ]、[S-ビデオ]、[ビデオ]、[EasyMP](EMP-745/737のみ)またはリモコンか本体の[入力検出]ボタンを押して映像を切り替えます。☛ p.37
接続されたコンピュータやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。☛ p.36

確認	対処法
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号がコンピュータの液晶モニタや付属モニタにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニタや付属モニタに映像が出せないモデルもあります。☛ コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニタへ出力のしかた」など 本機やコンピュータの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn](ファンクションキー)が使えないことがあります。本機およびコンピュータの電源を入れ直してください。☛ p.36,38

■ ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	本体のフォーカスリングを回してピントを合わせます。☛ p.40
レンズカバーが付いたままではありませんか？	レンズカバーを外します。☛ p.35
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲は100cm～1210cmです。この範囲で設置してください。☛ p.15
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。☛ p.43
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

■ ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛「映像」→「ビデオ信号方式」p.61
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.19～p.25
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを使用して確認してください。

確認	対処法
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。☛ 対応解像度一覧 p.116 ☛ コンピュータの『取扱説明書』など
「同期・トラッキング」は正しく調整されていますか？ コンピュータ、RGBビデオ投写時のみ	リモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューの「同期」、「トラッキング」で調整することもできます。☛ p.45,46

■ 映像が切れる（大きい）、小さい

確認	対処法
「リサイズ」の設定は正しいですか？	リモコンの[リサイズ]ボタンを押してください。☛ p.51
Eズーム機能で拡大されたままになっていませんか？	リモコンの[戻る]ボタンを押してEズーム機能を解除します。☛ p.52
「表示位置」は正しく調整されていますか？	コンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像投写時は、リモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[決定]ボタンを押して、自動調整を行います。 自動調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューの「表示位置」で調整することもできます。 コンピュータのアナログRGB映像やRGBビデオ映像以外の信号を投写時は、環境設定メニューの「表示位置」で調整します。 ☛「映像」→「表示位置」☛ p.60,61
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ コンピュータ投写時のみ	接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。 ☛ コンピュータのビデオドライバの『取扱説明書』
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 ☛ 対応解像度一覧 p.116 ☛ コンピュータの『取扱説明書』など

■ 色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	コンピュータやRGBビデオを[コンピュータ/コンポーネントビデオ]端子に接続して、環境設定メニューの「コンピュータ入力」で「コンポーネントビデオ」に設定していると、映像が赤紫色がかって表示されます。 コンポーネントビデオ機器を[コンピュータ/コンポーネントビデオ]端子に接続して、環境設定メニューの「コンピュータ入力」で「コンピュータ」に設定していると映像が緑色がかって表示されます。 接続機器の信号に合った信号方式を設定してください。 ☛「映像」→「コンピュータ入力」p.60,61
	コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛「映像」→「ビデオ信号方式」p.61
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」を調整してください。 ☛「画質調整」→「明るさ」p.56,58
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.19～p.25
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。 ☛「画質調整」→「コントラスト」p.56,58
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの「カラー調整」を調整してください。 ☛「画質調整」→「カラー調整」p.57,59
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	環境設定メニューの「色の濃さ」、「色合い」を調整してください。 ☛「画質調整」→「色の濃さ」、「色合い」p.58

■ 暗い

確認	対処法
映像の明るさや輝度は正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」や「輝度切替」を設定してください。 ☛「画質調整」→「明るさ」 p.56,58 ☛「設定」→「輝度切替」 p.62
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。 ☛「画質調整」→「コントラスト」 p.56,58
ランプの寿命ではありませんか？	ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。☛ p.102

投写開始時のトラブル

■ 電源が入らない

確認	対処法
[電源]ボタンを押しましたか？	[電源]ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。 本機に電源ケーブルを正しく接続してください。☛ p.35 または、電気が供給されるようにブレーカなどを確認してください。
電源ケーブルを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	電源ケーブルが接触不良を起こしているか、電源ケーブルが故障している可能性があります。電源ケーブルを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。☛ p.122

その他のトラブル

■ 音が出ない･小さすぎる

確認	対処法
音声入力は正しく接続されていますか？	[音声]端子にケーブルが正しく接続されているか確認してください。☛ p.26
「外部出力」の設定になっていませんか？（EMP-745/737のみ）	EMP-745/737をお使いの場合、環境設定メニューの「EasyMP音声出力」の設定が「外部出力」になっていると、本機内蔵のスピーカから音声が出力されません。設定を「内蔵スピーカ」に変更してください。☛「設定」→「EasyMP音声出力」p.63
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。☛ p.48
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛ p.50

■ リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 操作可能範囲は、左右約30°、上下約15°です。☛ p.13
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約6mです。☛ p.13
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。☛ p.11

■ 本体操作パネルで操作できない

確認	対処法
「操作ボタンロック」を「オン」に設定していませんか？	環境設定メニューの「操作ボタンロック」を「オン」に設定していると、本体操作パネルの[電源]ボタン以外のボタンはすべて無効になります。リモコンで操作するか、または設定を「オフ」に変更してください。☛ p.54

■ メッセージやメニューが日本語で表示されない

確認	対処法
「言語」の設定は正しいですか？	リモコンまたは本体の[ヘルプ]ボタンを押して、ヘルプメニューの一番下の項目を選択して言語の設定を変更してください。☛ p.74

■ 電源を切ってもファンが止まらない（EMP-745/737のみ）

確認	対処法
環境設定メニューの「待機モード」で「ネットワーク有効」に設定していませんか？	「ネットワーク有効」になっている場合はクールダウンが終了してもファンは回り続けます。 ☛「拡張設定」→「待機モード」p.66

ネットワークを使ったプロジェクターの監視・制御に関するトラブル（EMP-745/737のみ）

■ プロジェクターに異常が起きてもメールが送られてこない

確認	対処法
無線または有線LANカードがセットされていますか？	プロジェクターのカードスロットに無線または有線LANカードが確実にセットされているか確認します。 ☛「カードのセットと取り出し」p.16
ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？ 有線LAN接続の場合	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認します。接続されていなかったり間違って接続されている場合は、接続し直します。
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	プロジェクターのネットワークの設定を確認してください。 ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LANモードで接続する」
「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定します。☛「拡張設定」→「待機モード」p.66

確認	対処法
致命的な異常が発生し、プロジェクターが瞬時に起動停止状態になっていませんか。	瞬時に起動停止した場合はメール送信できません。 プロジェクターを確認しても異常状態が復帰しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.122
プロジェクターに電源が供給されていますか？	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

■ EMP Monitorでプロジェクターを制御・監視できない

確認	対処法
無線または有線LANカードがセットされていますか？	プロジェクターのカードスロットに無線または有線LANカードが確実にセットされているか確認します。 ☛「カードのセットと取り出し」p.16
ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？ 有線LAN接続の場合	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認します。接続されていなかったり間違って接続されている場合は、接続し直します。
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	プロジェクターのネットワークの設定を確認してください。 ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LANモードで接続する」
コンピュータにEMP Monitorが正しくインストールされていますか？	EMP Monitorをアンインストールしてから、再度インストールしてください。 ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「EasyMP Softwareをアンインストールしたいときは」、「EasyMP Softwareのインストール」
制御・監視したいすべてのプロジェクターがプロジェクターリストに登録されていますか？	プロジェクターリストに登録してください。☛『EMP Monitor操作ガイド』
「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもEMP Monitorを使うためには、環境設定メニューの「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定します。☛「拡張設定」→「待機モード」p.66
プロジェクターに電源が供給されていますか？	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

■ Network Screenで、映像が投写されたままになって他のコンピュータから接続できない

確認	対処法
プレゼンテーションした人がネットワーク接続を切断せずに会議室から出てしまっていませんか？	Network Screenでは、コンピュータとプロジェクターが接続中に別のコンピュータから接続しようとすると、先に接続していたコンピュータとの接続を切断し、後から接続の操作をしたコンピュータと接続できます。 したがって、プロジェクターキーワードがプロジェクターに設定されていない場合や、プロジェクターキーワードを知っている場合は、接続操作をすれば現在の接続が切断され、プロジェクターと接続できます。 プロジェクターキーワードがプロジェクターに設定されていて、プロジェクターキーワードを知らない場合は、プロジェクター側から接続を切断して再接続します。プロジェクター側から接続を切断するには、リモコンの[戻る]ボタンを押し、表示された終了メニューで「終了する」を選択してリモコンの[決定]ボタンを押します。切断されたら、目的のコンピュータから接続します。 ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「ネットワーク接続を切断する」

■ EMP NS Connectionを起動してもプロジェクターが見つからない

確認	対処法
無線または有線LANカードがセットされていますか？	プロジェクターのカードスロットに無線または有線LANカードが確実にセットされているか確認します。 ☛「カードのセットと取り出し」p.16
ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？ 有線LAN接続の場合	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認します。接続されていなかったり間違って接続されている場合は、接続し直します。
プロジェクターにセットした無線LANカードのアクセスランプが緑色で点灯していますか？	アクセスランプが消えている場合は、無線LANカードをいったんカードスロットから抜いて、セットし直します。☛「カードのセットと取り出し」p.16
プロジェクター側がEasyMPの環境設定画面になっていませんか？	EasyMPの環境設定画面表示中はネットワーク接続が無効になります。環境設定を終了して、EasyMP待機画面に戻してください。
コンピュータ側のLANカードや内蔵のLAN機能が使用できる状態になっていますか？	「コントロールパネル」－「システム」のデバイスマネージャなどでLANが有効になっているか確認してください。

確認	対処法
コンピュータ側の無線LAN設定がアドホックモード▶▶になっていますか？ 無線LANの簡単接続モードの場合	コンピュータ側で無線LANの設定をアドホックモードにしてください。 ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「コンピュータの無線LANを設定する」 無線LANカードメーカによっては、通信設定ユーティリティ（クライアントマネージャ等）を使ってアドホックモードに設定します。 「アドホックモード」のことが「無線LANパソコン間通信（WiFi）」「WiFiアドホック」「802.11アドホック」「802.11モード接続」「Peer to Peer」と表現されることがあります。
有線LANのDHCP▶▶機能がONになっていませんか？ 無線LAN接続の場合	EasyMPの環境設定画面で有線LANのDHCP設定をOFFにしてください。 ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LANモードで接続する」
EMP NS Connectionで、使用するネットワークアダプタを正しく選択しましたか？	お使いのコンピュータが複数のLAN環境を持っている場合、EMP NS Connectionで使用するネットワークアダプタを正しく選択していないと接続できません。EMP NS Connectionを起動し、「拡張機能」－「LAN切替」（Windows）、「拡張機能」－「ネットワーク設定」（Macintosh）で使用するネットワークアダプタを選択してください。
無線LAN接続の場合、コンピュータの省電力設定で無線LANが使用不可の設定になっていませんか？	無線LANを使用可能にしてください。
コンピュータ側の無線LANの電波が微弱な設定になっていませんか？	電波強度は、できるだけ最大でお使いください。
お使いの無線LANは802.11gまたは802.11bに準拠していますか？	802.11g、または802.11b以外の規格（802.11、802.11aなど）には対応していません。
コンピュータ側のWEP▶▶暗号化設定がONになっていませんか？	簡単接続モード（アドホックモード▶▶）のときは、WEPがOFFでなければ接続できません。WEP暗号化設定をOFFにしてください。☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「簡単接続モード（無線LAN）で接続する」

■ アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続できない

確認	対処法
ESSID▶▶の設定が異なっていませんか？	ESSID自動検索を有効にするか、コンピュータやアクセスポイントとプロジェクターを同じESSIDに設定してください。☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LANモードで接続する」
同一のWEP▶▶キーを設定していますか？	「セキュリティ」でWEPを選択した場合は、アクセスポイントやコンピュータとプロジェクターを同じWEPキーに設定してください。☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LANモードで接続する」
アクセスポイント側でMACアドレス▶▶制限、ポート制限などの接続拒否機能を正しく設定していますか？	アクセスポイント側でプロジェクターを接続許可に設定してください。
アクセスポイントとプロジェクターのIPアドレス▶▶、サブネットマスク▶▶、ゲートウェイ▶▶アドレスが正しく設定されていますか？	DHCP▶▶を使用しない場合は各設定を合わせてください。☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LANモードで接続する」
アクセスポイントとプロジェクターのサブネットが異なっていませんか？	EMP NS Connectionの「IP指定接続を使用する」を選択し、IP指定接続モードで接続してください。☛『EasyMP 活用ガイド』「接続したいプロジェクターが表示されないときは」

■ 簡単接続モード（アドホックモード▶▶）で接続できない

確認	対処法
バッファロー社製アクセスポイントが近くで動作していませんか？	同じESSID▶▶に設定されているバッファロー社製アクセスポイントが近くで動作しているとアドホック接続ができなくなります。アクセスポイントの電源を切るか、アクセスポイントとは異なるESSIDを設定してください。

■ Network Screenで映像が表示されない、表示が遅い

確認	対処法
Media Playerで動画を再生したり、スクリーンセーバのプレビューを実行しようとしませんでしたか？	コンピュータによっては、Media Playerによる動画再生画面が表示されなかったり、スクリーンセーバのプレビューが正常に表示されないことがあります。
無線LANのアクセスポイントモードまたは有線LANで接続していませんか？	アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードでNetwork Screenを使用する場合は、簡単接続モードに比べて表示速度が低下します。

確認	対処法
WEP暗号化を有効にしたり、複数台のプロジェクターに接続していませんか？	WEP暗号化有効の場合や、複数台接続を行ったときは、表示速度が低下します。
無線LANのアクセスポイントモードまたは有線LANで、DHCPを有効にしていませんか？	アクセスポイントモードまたは有線LAN接続でDHCP有効に設定しているときに、接続可能なDHCPサーバが見つからないと、EasyMPの待機状態になるのに時間がかかります。
動画再生中にEMP NS Connectionを起動したり、解像度や色数を変更しませんでしたか？ Macintoshの場合	動画再生するときは、EMP NS Connectionを起動してから再生操作をしてください。動画再生中にEMP NS Connectionを起動したり、表示画面の解像度や色数を変更した場合は、動画再生ウィンドウを移動する、または最小化し元に戻す等の操作を行ってください。

■ Network Screen使用時にPowerPointのスライドショーが動作しない

確認	対処法
PowerPointを起動中に、EMP NS Connectionを起動しませんでしたか？ Windowsの場合	Network Screenで接続する際は、事前にPowerPointを終了してください。起動したまま接続するとスライドショーが動作しなくなることがあります。

■ Network Screen使用時にKeynoteのスライドショーが再生できない

確認	対処法
Mac OS X 10.2.xを使用していませんか？ Macintoshの場合	Mac OS X 10.2.xは仕様上の制限により、画面が正しく投写されません。Keynoteをお使いになる場合は、Mac OS X 10.3.x以上を使用してください。

■ Network Screenを使用できない

確認	対処法
パーソナルファイアウォールを設定していませんか？ Windowsの場合	NS Protect以外のパーソナルファイアウォールが設定されている場合は、Network Screenを使用できないことがあります。

■ Network ScreenでOfficeアプリケーション使用時に画面が更新されない

確認	対処法
マウスを絶えず動かし続けていませんか？	マウスカーソルの移動を止めると画面が更新されます。画面がなかなか更新されない場合は、マウスカーソルの動きを止めてください。

■ EMP SlideMaker2でファイル指定ができない

確認	対処法
使おうとしているPowerPointファイル(.ppt)は、PowerPoint 95/97の形式ではありませんか？	PowerPoint 95/97で作成したファイルやPowerPoint 95/97形式で保存してあるファイルはEMP SlideMaker2で編集できません。一度、PowerPoint 2000/2002/2003で保存し直してから利用してください。☛『EasyMP 活用ガイド』「シナリオに組み込めるファイル」
PowerPointファイル(.ppt)をシナリオに貼り付けることができなかったりサムネイルに表示できない場合、Microsoft OfficeのJPEGコンバータがインストールされていますか？	JPEGコンバータをインストールしてください。JPEGコンバータのインストールについては、Microsoft Officeの取扱説明書をご覧ください。

■ エラーメッセージが表示される

EMP NS Connection実行時のエラーメッセージ

確認	対処法
プロジェクターとの接続に失敗しました。	再度、接続の操作をします。それでも接続できない場合は、コンピュータ側のネットワーク設定とプロジェクター側のEasyMPのネットワーク設定を確認してください。 EasyMPのネットワーク設定について ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』
ネットワークの自動設定を行っています。	コンピュータがDHCP▸▸を使用する設定になっている場合、IPアドレス▸▸を設定するまでに時間がかかっている可能性があります。メッセージが表示されてから約70秒たってもIPアドレスが決定されない場合は、エラーメッセージが表示されます。その場合は、EMP NS Connectionを一旦終了し、再びEMP NS Connectionを起動してみてください。
プロジェクターの検出に失敗しました。 接続可能なプロジェクターが存在しないか、プロジェクターの電源が入っていません。	以下の操作を行ってください。 • プロジェクターの電源を入れ、プロジェクターの準備ができてから「再検索」ボタンをクリックしてください。 • プロジェクターのEasyMPの環境設定を確認してください。 • コンピュータのセキュリティソフトの設定を確認して、ポートが制限されている場合は、ポートの設定を解除してください。

確認	対処法
キーワードが一致しません。プロジェクターに表示された、正しいキーワードを入力してください。	EasyMP待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そのプロジェクターキーワードを入力してください。
接続したいプロジェクターをリストから選択して下さい。	接続したいプロジェクター名にチェックマークを付けてから、「接続」ボタンをクリックしてください。 接続方法について ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』
選択されたプロジェクターは使用中です。接続処理を続行しますか？	別のコンピュータが接続しているプロジェクターに接続しようとしました。 「はい」ボタンをクリックすると、プロジェクターと接続します。このとき、接続していた別のコンピュータとプロジェクターの接続は切断されます。 「いいえ」ボタンをクリックすると、プロジェクターと接続しません。 別のコンピュータとプロジェクターの接続は保持されます。
EMP NS Connection の初期化に失敗しました。	EMP NS Connection をいったんアンインストールして、その後もう一度EMP NS Connection をインストールしてください。 ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「EasyMP Software をアンインストールしたいときは」、「EasyMP Software のインストール」
プロジェクターとの通信エラーが発生しました。プロジェクターへの再接続を実施します。よろしいですか？	コンピュータとプロジェクターの間で通信エラーが発生し、接続が切断されました。 「はい」ボタンをクリックすると、再接続を行います。それでも接続できない場合は、コンピュータ側のネットワーク設定とプロジェクター側のEasyMP のネットワーク設定を確認してください。 ネットワーク設定について ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』 「いいえ」ボタンをクリックすると、切断された状態のままメッセージ画面を閉じます。
キーワードが間違っていたため接続できないプロジェクターがあります。	プロジェクターキーワードが設定されているプロジェクターへの接続時に、間違ったプロジェクターキーワードを入力しました。 プロジェクターキーワードは、プロジェクターの接続待機画面に表示されていますので確認してください。いったん接続を切断してから、再接続して接続時に表示されるキーワード入力画面で、そのプロジェクターキーワードを入力します。 ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続する」

確認	対処法
ネットワークアダプタの情報取得に失敗しました。ネットワークの設定を確認し再度起動してください。	次の点を確認します。 • コンピュータにネットワークアダプタが装着されていますか。 • コンピュータに、使用するネットワークアダプタのドライバがインストールされていますか。 確認後、コンピュータを再起動して、もう一度接続の操作を行います。 それでも接続できない場合は、次を確認してください。 コンピュータ側のネットワーク設定とプロジェクター側のEasyMPのネットワーク設定を確認してください。 ネットワーク設定について ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』
SXGAを超える解像度をサポートしていないプロジェクターがあります。パソコンの解像度を下げて再接続してください。	接続先のプロジェクターの中にELP-735があります。コンピュータの画面の解像度を、SXGA（1280×1024）以下に変更してください。
応答しないプロジェクターが存在します。	複数のプロジェクターに同時に接続しようとしましたが、そのうち1台または複数台のプロジェクターに接続できませんでした。接続できたプロジェクターはそのまま使用できます。 接続できなかったプロジェクターに接続したい場合は、いったん接続を切断してからもう一度接続してください。それでも接続できない場合は、コンピュータ側のネットワーク設定とプロジェクター側のEasyMPのネットワーク設定を確認してください。 ネットワーク設定について ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』
プロジェクターに表示されたキーワードを入力してください。	EasyMP待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そのプロジェクターキーワードを入力してください。
指定したIPアドレスのプロジェクターは見つかりませんでした。	接続したいプロジェクターのEasyMPの環境設定で、有線LANまたはアクセスポイントモード（無線LAN）を使う設定になっているか確認します。無線LANの設定画面で「簡単接続モード」が選択されている場合は、アクセスポイントモードに設定を変更します。 次に、EasyMPの環境設定の「有線LAN」－「基本設定」、または「無線LAN」－「基本設定」で「IPアドレス」を確認し、その「IPアドレス」をIP指定接続モード接続時に指定してください。☛『EasyMP 活用ガイド』「接続したいプロジェクターが表示されないときは」 それでも接続できない場合は、コンピュータ側のネットワーク設定と、プロジェクター側のEasyMPのネットワーク設定を確認してください。 ネットワーク設定について ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LANモードで接続する」

確認	対処法
パソコンの画面の領域が、XGA(1024x768pixel) より大きい場合、画像転送のパフォーマンスが低下します。接続処理を続行しますか？ Windowsの場合	プロジェクターに接続するコンピュータの画面の 解像度がXGA（1024×768）を超えています。 「はい」をクリックすると、プロジェクターと接続します。ただし、投写画面の表示速度が遅くなります。投写画面の表示速度が遅くなることを避けたい場合は、「いいえ」をクリックして、コンピュータの画面の解像度をXGA（1024×768）以下に変更してください。
パソコンの画面の色が24ビット以上の場合、画像転送のパフォーマンスが低下します。NS Connection はパフォーマンスの低下を軽減するために16ビットに変換して接続します。接続処理を続行しますか？ Windowsの場合	プロジェクターに接続するコンピュータの画面の色が、24ビット以上に設定されています。 「はい」をクリックすると、プロジェクターと接続します。ただし、投写画面は16ビットカラーになります。

上記以外のエラーメッセージが表示された場合は、EMP NS Connectionのヘルプをご覧ください。

EMP SlideMaker2実行時のエラーメッセージ

確認	対処法
.SIT は既に登録されています。 （ はシナリオファイル名）	すでに「オートランシナリオファイルリスト」に追加されているシナリオファイルを、もう一度追加することはできません。☛『EasyMP 活用ガイド』「シナリオの転送」
ディスクの空き容量が不足しています。	シナリオ転送先ドライブの空き容量が不足しており、シナリオを転送できません。不要なファイルを削除するなどして、シナリオファイルを転送できるように転送先ドライブの空き容量を確保してください。
** には無効なパスが含まれています。 （** はシナリオファイル名を含むパス名）	開こうとしたファイルのパスが見つかりませんでした。次の原因が考えられます。 ・最後にEMP SlideMaker2で保存した以降に、シナリオファイルを他のフォルダに移動した。 ・最後にEMP SlideMaker2で保存した以降に、シナリオファイルがあるフォルダ名を変更した。 ・開こうとしたシナリオファイルが削除されている。 「ファイル」－「開く」を選択して目的のシナリオファイルを開くか、Windows のファイル検索機能などを使って検索してください。

確認	対処法
** へのアクセス中にディスクがいっぱいになりました。 (** はシナリオファイル名を含むパス名)	作業用フォルダがあるドライブの空き容量が不足しており、シナリオファイルを保存できませんでした。不要なファイルを削除するなどして、シナリオファイルを保存できるように作業用フォルダがあるドライブの空き容量を確保してください。
指定されたドキュメントはオープンできません。	シナリオに追加しようとしたPowerPoint ファイルが壊れているか、正しくないため使用できません。他のPowerPoint ファイルを使用してください。
違う名前か、違うディレクトリを指定してください	同名のファイルや作業用フォルダがすでに存在しています。シナリオ名または作業用フォルダ名を変更して、保存してください。

EMP Monitor実行時のエラーメッセージ

確認	対処法
パスワードが正しくありません。	まちがったパスワードを入力しました。正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、プロジェクターのEasyMPの環境設定の「有線LAN」－「基本設定」、または「無線LAN」－「基本設定」で「WEB コントロール用パスワード」を確認してください。
入力されたIPアドレスのプロジェクターに接続できません。	接続したいプロジェクターのEasyMPの環境設定で、有線LANまたはアクセスポイントモード(無線LAN)を使う設定になっているか確認します。「無線LAN」－「基本設定」で「簡単接続モード」が選択されている場合は、「アクセスポイントモード」に設定を変更します。 次に、EasyMPの環境設定の「有線LAN」－「基本設定」、または「無線LAN」－「基本設定」で「IPアドレス」を確認し、その「IPアドレス」をIP指定接続モード接続時に指定してください。☛『EMP Monitor 操作ガイド』「IPアドレスを使った登録(マニュアル登録)」 それでも接続できない場合は、コンピュータ側のネットワーク設定と、プロジェクター側のEasyMPのネットワーク設定を確認してください。 ネットワーク設定について ☛『EasyMP ネットワーク設定ガイド』「アクセスポイントモードまたは有線LANモードで接続する」

付　録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくための補足的な知識について説明しています。

お手入れの方法 100
- 各部の掃除 100
  - 本体の掃除 100
  - レンズの掃除 100
  - エアーフィルタ•吸気口の掃除 100
- 消耗品の交換 101
  - ランプの交換時期 101
  - ランプの交換方法 102
  - ランプ点灯時間の初期化 104
  - エアーフィルタの交換方法 105

ユーザーロゴの登録 106

オプション・消耗品一覧 109
  - オプション品 109
  - 消耗品 109

用語解説 110

ESC/VP21コマンド一覧 114
- コマンドリスト 114
- USB接続 114
- USB通信の準備 115

対応解像度一覧 116
  - コンピュータ/RGBビデオ 116
  - コンポーネントビデオ 116
  - コンポジットビデオ/S-ビデオ 116

仕様一覧 117

外形寸法図 120

お問い合わせ先 122

お手入れの方法

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

注意 掃除を行う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意 ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

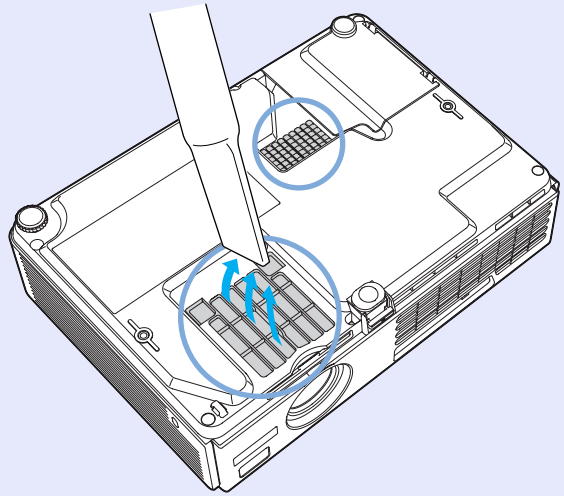
レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。

注意 レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアーフィルタ•吸気口の掃除

エアーフィルタや吸気口にホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。
約3ヶ月に一度は掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。



ポイント

エアーフィルタが破れたり、掃除を行ってもメッセージが表示される場合は交換時期です。新しいエアーフィルタに交換してください。☛「エアーフィルタの交換方法」p.105

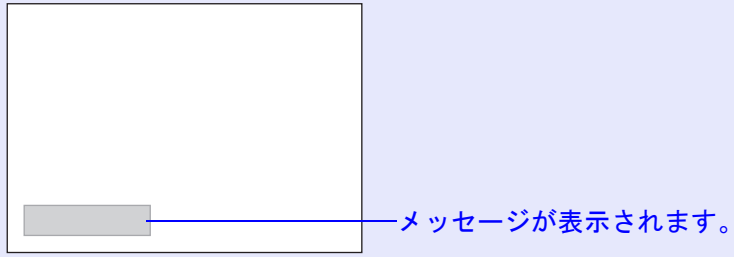
消耗品の交換

ここでは、ランプとエアーフィルタの交換方法について説明します。

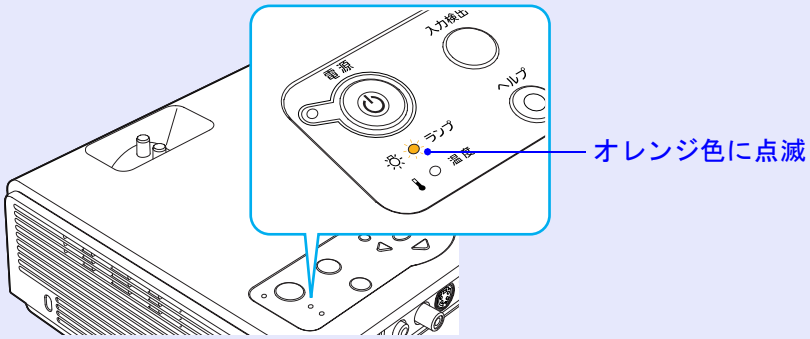
ランプの交換時期

次の場合は、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき



- ランプインジケータがオレンジ色に点滅したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

ポイント

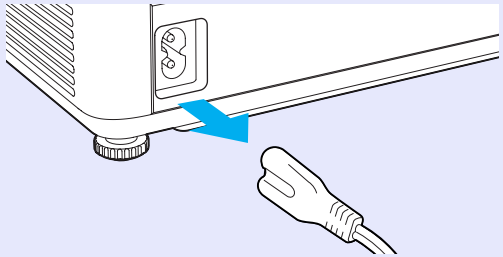
- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。
  ・高輝度で使い続けた場合：約1900時間
  ・低輝度で使い続けた場合：約2900時間
  ☛「輝度切替」p.62
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンOAサプライ株式会社フリーダイヤル(0120)251-528でお買い求めください。

ランプの交換方法

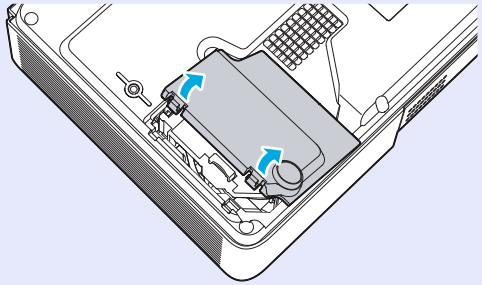
注意
- ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。
  本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーの真下に立たずに、横から作業してください。ランプカバーはそっと取り外してください。
- ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。
  ランプが十分冷えるには、クールダウン後、約1時間必要です。

操作

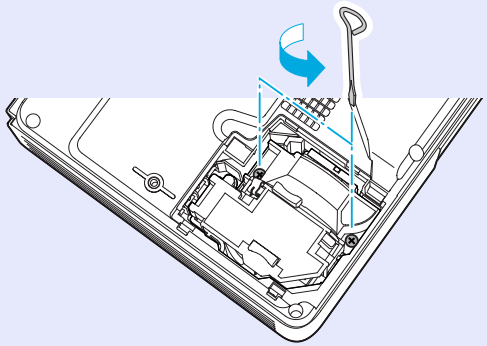
1 本機の電源を切り、クールダウンが終了して「ピッピッ」と終了確認音が鳴ってから、電源ケーブルを外します。
クールダウンの時間は、約20秒です。



2 ランプが十分冷えてから、本体底面のランプカバーを外します。
ランプが十分冷えるには、クールダウン後約1時間必要です。
2ヵ所のフック部分を押さえたまま、引き起こしてから取り外します。

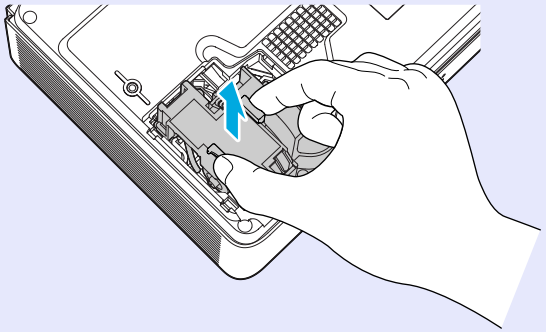


3 ランプ固定ねじ2本をゆるめます。
ランプを本体に固定しているランプ固定ねじ2本を、交換用ランプに同梱のドライバ、または＋のドライバでゆるめます。



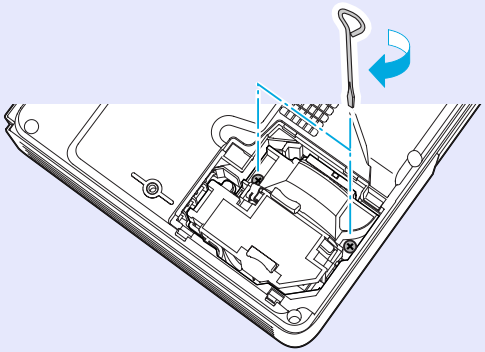
4 古いランプを取り外します。

下図のように、ランプをつまんで引き上げます。
ランプが割れている場合は、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。
☛ p.122



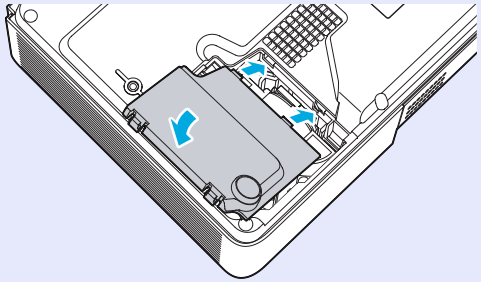
5 新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きにして押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。



6 ランプカバーを取り付けます。

カバーの2ヵ所のツメを本体に差し込み、反対側をカチッと音がするまで押し込みます。



ポイント

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域や会社の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ランプ点灯時間の初期化

本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要があります。

ポイント

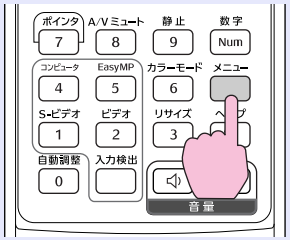
ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

操作

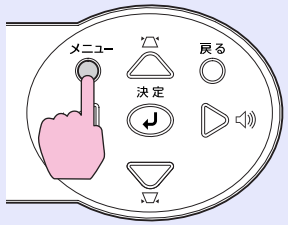
1 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れ、[メニュー]ボタンを押します。

環境設定メニューが表示されます。

リモコン



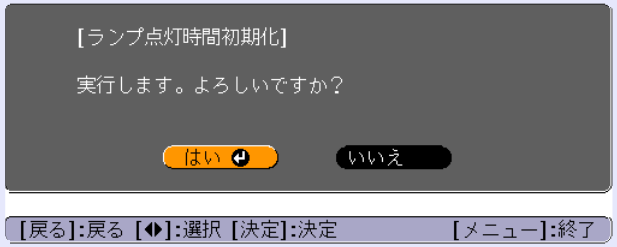
本体



2 「初期化」→「ランプ点灯時間初期化」の項目を選択し、[決定]ボタンを押します。

3 「はい」を選択して、[決定]ボタンを押します。

ランプ点灯時間が初期化されます。

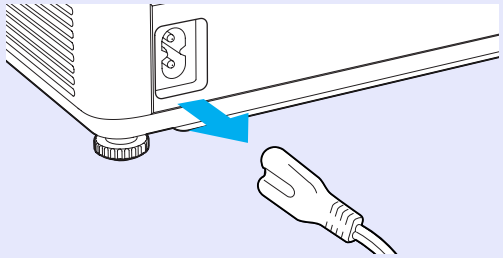


エアーフィルタの交換方法

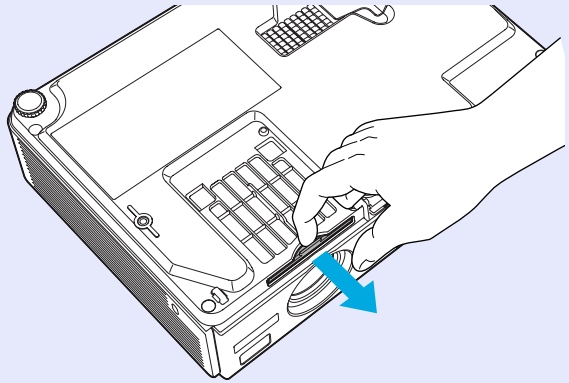
エアーフィルタが破れたり、掃除を行ってもメッセージが表示される場合は交換時期です。
本機を天吊り設置している状態でもエアーフィルタの交換ができます。

操作

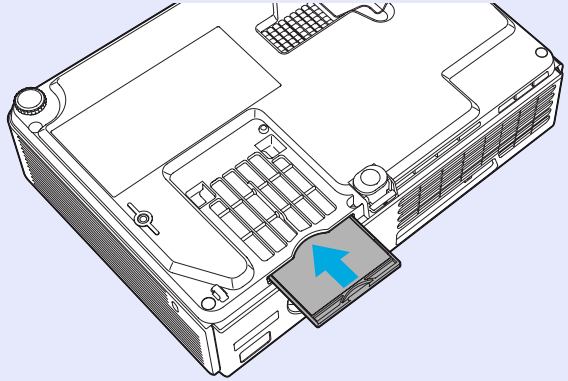
1 本機の電源を切り、クールダウンが終了して「ピッピッ」と終了確認音が鳴ってから、電源ケーブルを外します。
クールダウンの時間は、約20秒間です。



2 エアーフィルタを取り外します。
エアーフィルタのくぼみに指をかけて、外側にまっすぐスライドさせます。



3 新しいエアーフィルタを取り付けます。
外側からエアーフィルタをスライドさせて差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。



ポイント

使用済みのエアーフィルタは、地域や会社の廃棄ルールに従って廃棄してください。
枠部分の材質：ポリカーボネート、ABS樹脂
フィルタ部分の材質：ポリウレタンフォーム

ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

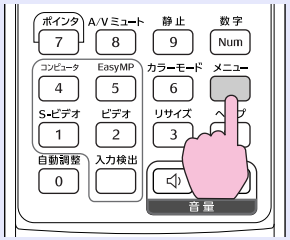
ポイント

ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは消去されます。

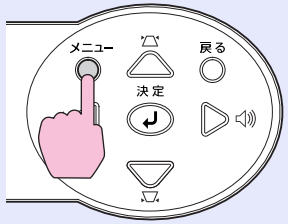
操作

1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、[メニュー]ボタンを押します。

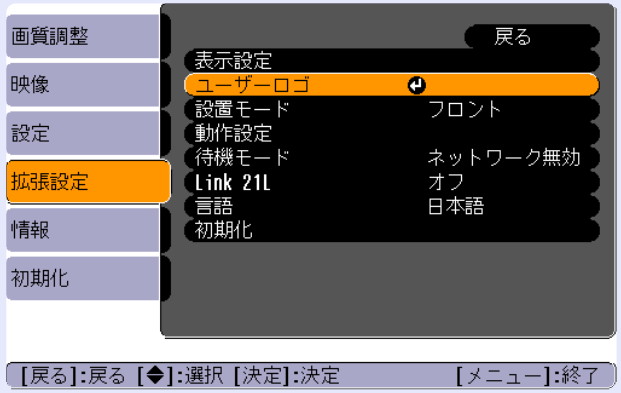
リモコン



本体



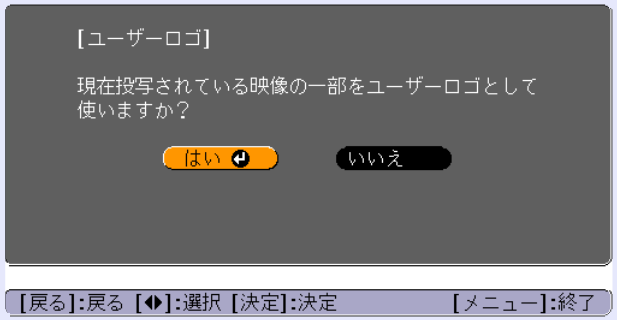
2 「拡張設定」→「ユーザーロゴ」を選択し、[決定]ボタンを押します。



ポイント

- 「パスワードプロテクト」で「ユーザーロゴ保護」を「オン」に設定している場合はメッセージが表示され、登録することができません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。
☛ p.32
- 台形補正やEズームを行っている場合、「ユーザーロゴ」を選択すると、台形補正やEズームは解除されます。

3 サブメニューで「はい」を選択し、[決定]ボタンを押します。

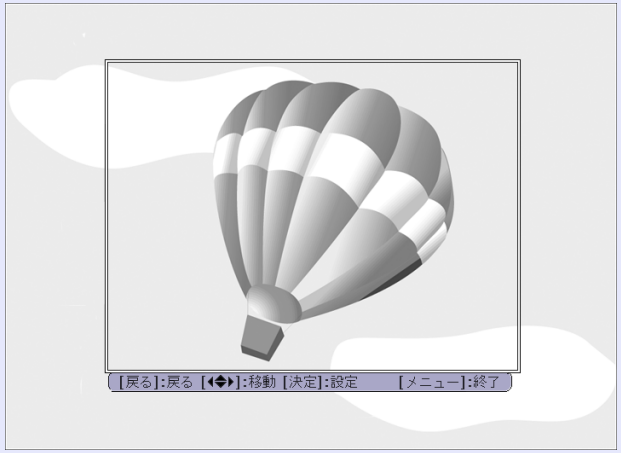


ポイント

リモコンまたは本体の[決定]ボタンを押すと、映像信号の解像度のまま表示されるため、本機のパネル画素数以外の解像度の映像を投写している場合とビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変わります。

4 登録する映像と選択枠が表示されるので、使う位置を選択します。

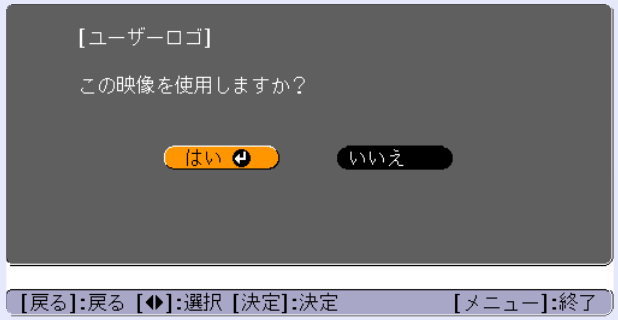
リモコンの[◎]を傾ける、または本体の[△][▽][◁][▷]ボタンを押して、ユーザーロゴとして使いたい部分を選択したのち、[決定]ボタンを押します。



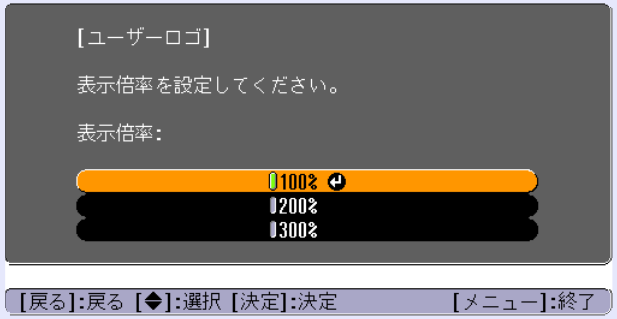
ポイント

登録できるサイズは480×360ドットです。

5 使用確認画面で「はい」を選択し、[決定]ボタンを押します。

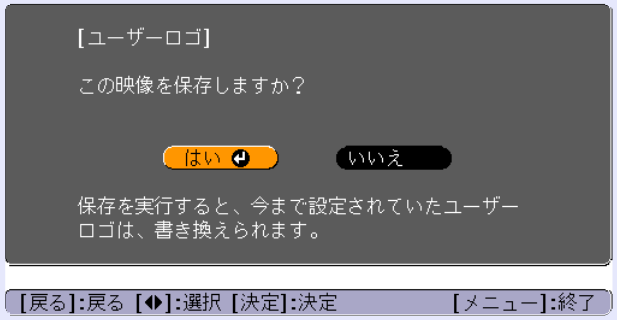


6 表示倍率設定画面で倍率を選択し、[決定]ボタンを押します。



7 保存確認画面で「はい」を選択し、[決定]ボタンを押します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



ポイント

- 保存にはしばらく時間がかかります(約15秒)。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

オプション・消耗品一覧

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2004年6月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

ソフトキャリングケース　ELPKS16 ハンドキャリングするときに使います。 ノートタイプのコンピュータが収納できます。
60型スクリーン　ELPSC07 80型スクリーン　ELPSC08 100型スクリーン　ELPSC10 携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4:3)
携帯スクリーン(50型)　ELPSC06 持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比4:3)
コンピュータケーブル　ELPKC02 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m) 製品同梱のコンピュータケーブルと同等品です。
コンピュータケーブル　ELPKC09 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m) コンピュータケーブル　ELPKC10 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m) 製品同梱のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。
D端子ケーブル　ELPKC22 (ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m) BSデジタル放送チューナと接続するときに使います。
コンポーネントビデオケーブル　ELPKC19 (ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m) コンポーネントビデオケーブル　ELPKC27 (ミニD-Sub 15pin/RCAメス×3用 0.35m) コンポーネントビデオを投写するときに使います。
マルチメディアビューワー　ELPDC05 書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。
天井プレート※ ELPFC03 パイプ370 (370mm シルバー)※　ELPFP04 パイプ570 (570mm シルバー)※　ELPFP05 パイプ770 (770mm シルバー)※　ELPFP06 高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。
天吊り金具※　ELPMB18 本機を天井に取り付けるときに使います。

※天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。☛ p.122

消耗品

交換用ランプ　ELPLP32 使用済みランプと交換します。
エアーフィルタセット　ELPAF08 (2枚入り) 使用済みエアーフィルタと交換します。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

5BNC	アナログのビデオ信号を入力するコネクタです。
CCX	Cisco Compatible Extensionsの略で、シスコシステムズ社の無線LANセキュリティ技術です。CCXでは、RADIUSサーバを使って認証を行います。CCXには認証方式がいくつかありますが、本機では「LEAP」を使用します。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
DPOF	Digital Print Order Formatの略で、デジタルカメラで撮影した写真をプリントするための情報（プリントしたい写真とその枚数の指定など）を、メモリカードなどの記録媒体に記録するフォーマットです。
EMP Link21L	本機をコンピュータと接続して、コンピュータから本機の制御を行うユーティリティソフトです。ご提供方法やソフトの詳細についてはホームページ「I Love EPSON 」をご覧ください。
ESSID	ESSとはExtended Service Set（拡張サービスセット）の略です。ESSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。ESSIDが一致している機器どうしで無線通信できます。 Macintoshでは、“コンピュータとコンピュータ”ネットワークで表示されるネットワーク名にESSIDを使用します。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 • 垂直解像度750p、1125i以上（pはプログレッシブ走査、iはインタレース走査） • 画面のアスペクト比は16:9 • ドルビーデジタル音声の受信、再生（あるいは出力）
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを認識するための数字のことです。
LEAP	CCXの認証方式のひとつです。電子証明書は使わず、ユーザー名とパスワードで認証を行います。
MACアドレス	MACとはMedia Access Controlの略です。MACアドレスはネットワークカードごとの固有のID番号です。すべてのネットワークカードは1枚ずつ固有の番号が割り当てられており、これをもとにカード間のデータの送受信が行われます。
RADIUSサーバ	「RADIUS」はRemote Authentication Dialin User Serviceの略で、無線LANをはじめとする、様々なネットワークサービスでの認証に利用されるプロトコルです。RADIUSサーバはRADIUSを使用した認証サーバで、ユーザー名やパスワードなどの情報を持ち、無線LANアクセスポイントへのアクセスに対する認証を集中的に行います。RADIUSサーバを利用すると、無線LANアクセスポイントが複数ある場合でも、各アクセスポイントに個別にユーザー情報を登録する必要がなく、アクセスポイントやユーザーを集中管理することができます。
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y（輝度信号）C（色信号）の2つの独立した信号からできている映像をいいます。

SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocol の略で、TCP/IP ネットワークにおいて、ルータ、コンピュータ、端末など、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。
SVGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのものを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。
TKIP	Temporal Key Integrity Protocolの略で、WPAで使用される暗号化方式です。一定間隔で自動的に暗号キーを更新し、暗号を解読されにくくします。
USB	Universal Serial Busの略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
UXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,600ドット×縦1,200ドットのものを呼びます。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのものを呼びます。
WEP	Wired Equivalent Privacyの略で、通信中のデータを暗号化するセキュリティ方法です。 WEPで暗号キーを登録しておくと同じ暗号キーが登録されている機器どうしでないとデータの通信が行なえなくなります。
WPA	Wi-Fi Protected Accessの略で、WEPの弱点を補強しセキュリティ強度を向上させた暗号化規格です。暗号化方式にTKIPを使います。
XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのものを呼びます。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16:9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4:3です。
アドホックモード	無線LANの接続方式の1つで、アクセスポイントを介さずに無線LANクライアント同士で通信する方式です。
インタレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。
クールダウン	投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。[電源]ボタンを押し電源を切ると自動的に行われます。クールダウン中は電源プラグを抜かないでください。クールダウンが正しく行われなくなるため、ランプや本機内部に高熱がこもったままとなり、ランプの寿命が短くなったり本機の故障の原因となります。
ゲートウェイ	サブネットマスクによって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバ(ルータ)のことです。

コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y（輝度信号）Pb、Pr（色差信号）の3つの独立した信号からできている映像をいいます。
コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号（NTSC、PAL、SECAM）です。 カラーバー信号の中の伝送用信号Y（輝度信号）とクロマ（色）信号を重ねて1つの信号にしています。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク（サブネット）のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
スクイーズモード	16:9の横長ワイド映像を水平方向に圧縮して、4:3の映像としてビデオソフトに収録する方法です。 本機のスクイーズモードを使って投写すると、元の16:9のワイド映像に戻ります。
絶対色温度	光を発する物体の温度をいいます。絶対色温度が高いと青みがかった色合いになり、絶対色温度が低いと赤みがかった色合いになります。
同期（Sync.）	コンピュータやRGBビデオから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相（山のずれ）を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。 KENSINGTON社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。 七陽商事株式会社　情報機器事業部 〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-55-7（ナナヨービル） Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367
トラッキング	コンピュータやRGBビデオから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数（山の数）を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピュータのIPアドレスのことです。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは2つのスピーカを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカ、リア2chスピーカ、サブウーファを追加した6ch（5.1ch）方式となっています。

認証サーバ	ユーザー認証を集中的に行なうためのサーバです。認証サーバを使うと、ユーザー情報の管理とユーザー認証作業を一元化することがでます。また、認証サーバは高度な認証方式を備えていることが多いため、セキュリティ対策にも有効です。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。
リサイズ表示	本機のパネルサイズの画素数より多い、あるいは少ない解像度のコンピュータからの映像も表示サイズいっぱいになるように投写する機能です。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で設定します。

コマンドリスト

プロジェクターに電源ONのコマンドを送信すると、電源がONになり、プロジェクターがウォームアップ状態になります。電源ONの状態になったときにコロン‘:’(3Ah)を返信します。
プロジェクターはコマンドを実行後、‘:’を返信し、次のコマンドを受け付けます。
異常終了の場合は、エラーメッセージを出力した後に‘:’を返信します。

項　目		コマンド
電源のオン/オフ	オン	PWR ON
	オフ	PWR OFF
信号切り替え	コンピュータ(オート)	SOURCE 1F
	コンピュータ	SOURCE 11
	コンポーネントビデオ	SOURCE 14
	ビデオ	SOURCE 41
	S-ビデオ	SOURCE 42
A/Vミュート機能のオン/オフ	オン	MUTE ON
	オフ	MUTE OFF
A/Vミュート機能の切り替え	黒	MSEL 00
	青	MSEL 01
	ユーザーロゴ	MSEL 02

※各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

USB接続

- コネクタ形状:USB(Bタイプ)

※[USB TypeA]端子(EMP-745/737のみ)は、USBハブとしては使えません。

USB通信の準備

USB接続による通信で本機をESC/VP21コマンドで制御するには、事前に次の準備が必要です。

操作

1. エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」からお使いのコンピュータに「USB通信ドライバ(USB-COM Driver)」をダウンロードします。
URLは下記のとおりです。
http://www.i-love-epson.co.jp/products/download/elp/menu.htm

2. お使いのコンピュータにそのUSB通信ドライバをインストールします。
ダウンロード画面の注意事項をお読みください。

3. 本機の環境設定メニューで「拡張設定」→「Link21L」を「オン」に設定します。

4. 本機の電源を切ります。

5. クールダウンが終了し、「ピッピッ」と終了確認音が鳴った後、本機の電源を入れます。
本機の電源を入れ直した以降、USB接続による通信が可能になります。

注意 クールダウンが終了し、「ピッピッ」と終了確認音が鳴る前に電源ケーブルを抜いた場合は、Link21Lの変更は行われません。

対応解像度一覧

コンピュータ/RGBビデオ

信号	リフレッシュレート（Hz）	解像度（ドット）	リサイズ表示時使用画素数（ドット）
VGA	60	640×480	1024×768
VGAEGA		640×350	1024×560
VESA	60/72/75/85,iMac※	640×480	1024×768
SVGA	56/60/72/75/85,iMac※	800×600	1024×768
XGA	60/70/75/85,iMac※	1024×768	1024×768
SXGA	70/75/85	1152×864	1024×768
SXGA	60/75/85	1280×960	1024×768
SXGA	60/75/85	1280×1024	960×768
UXGA	60	1600×1200	1024×768
MAC13”		640×480	1024×768
MAC16”		832×624	1024×768
MAC19”		1024×768	1024×768
MAC19”	60	1024×768	1024×768
MAC21”		1152×870	1016×768
SDTV（625i）	50	720×576	1024×768
SDTV（525i）	60	720×480	1024×768
SDTV（525p）	60	720×480	1024×768
HDTV（750p）	60	1280×720	1024×576

※ VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。
ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート（Hz）	使用画素数（ドット）	
		アスペクト比4:3	アスペクト比16:9
SDTV（525i）（D1）	60	1024×768	1024×576
SDTV（625i）	50	1024×768	1024×576
SDTV（525p）（D2）	60	1024×768	1024×576
HDTV（750p）16:9（D4）	60	1024×768	1024×576
HDTV（1125i）16:9（D3）	60	1024×768	1024×576

コンポジットビデオ/S-ビデオ

信号	リフレッシュレート（Hz）	使用画素数（ドット）	
		アスペクト比4:3	アスペクト比16:9
TV（NTSC）	60	1024×768	1024×576
TV（PAL,SECAM）	50	1024×768	1024×576

仕様一覧

商品名	EMP-745	EMP-737	EMP-740	EMP-732
外形寸法	幅276×高さ70×奥行き193mm(フット含まず)			
パネルサイズ	0.7型			
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス			
画素数	XGA 786,432 個(横 1024 ×縦 768 ドット)× 3			
フォーカス調整	手動			
ズーム調整	手動(約1:1.2)			
ランプ(光源)	UHEランプ　定格170W　型番:ELPLP32			
音声最大出力	1Wモノラル			
スピーカ	1個			
電源	100-240V±10%、50/60Hz AC			
消費電力	定格消費電力240W (100V時) スタンバイ時ネットワーク無効:4W (100V時) ネットワーク有効:35W (100V時)		定格消費電力 240W (100V 時) スタンバイ時 4W (100V 時)	
使用温度範囲	＋5℃～＋35℃(結露しないこと)			
保存温度範囲	－10℃～＋60℃(結露しないこと)			
質量	約1.8kg		約1.7kg	
接続端子				
コンピュータ/ コンポーネントビデオ端子	1系統　ミニD-Sub 15pin(メス)青色			
音声端子	1系統　ステレオミニピンジャック			
S-ビデオ端子	1系統　ミニDIN 4pin			
ビデオ端子	1系統　RCAピンジャック			
USB端子※1	2系統　USBコネクタ(A、Bタイプ)		1系統　USBコネクタ(Bタイプ)	
カードスロット※2	PCMCIA Type II スロット×1		－	

※1 USB端子は、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

※2 カードスロットで使用できるメモリカード

- コンパクトフラッシュカード(装着時にPCカードアダプタ使用)
- ATAフラッシュカード
- メモリスティック(装着時にPCカードアダプタ使用)
- スマートメディア(装着時にPCカードアダプタ使用)
- SD/MMCカード(装着時にPCカードアダプタ使用)

本機にはPixelworks DNX™のICが搭載されています。

Safety

USA
UL60950 Third Edition

Canada
CSA C22.2 No.60950

European Community
The Low Voltage Directive (73/23/EEC)
IEC60950 3rd Edition

EMC

USA
FCC Part15B Class B (DoC)

Canada
ICES-003 Class B

European Community
The EMC Directive (89/336/EEC)
EN55022, 1998 Class B
EN55024, 1998
IEC/EN61000-3-2, IEC/EN61000-3-3

Australia/New Zealand
AS/NZS CISPR 22:2002 Class B

DECLARATION of CONFORMITY
According to 47CFR, Part 2 and 15
Class B Personal Computers and Peripherals; and/or
CPU Boards and Power Supplies used with Class B
Personal Computers

We	:EPSON AMERICA, INC.
Located at	:3840 Kilroy Airport Way MS: 3-13 Long Beach, CA 90806
Tel	:562-290-5254

Declare under sole responsibility that the product identified herein, complies with 47CFR Part 2 and 15 of the FCC rules as a Class B digital device. Each product marketed, is identical to the representative unit tested and found to be compliant with the standards. Records maintained continue to reflect the equipment being produced can be expected to be within the variation accepted, due to quantity production and testing on a statistical basis as required by 47CFR 2.909. Operation is subject to the following two conditions : (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Trade Name	:EPSON
Type of Product	:Projector
Model	:EMP-745/740/737/732

FCC Compliance Statement
For United States Users

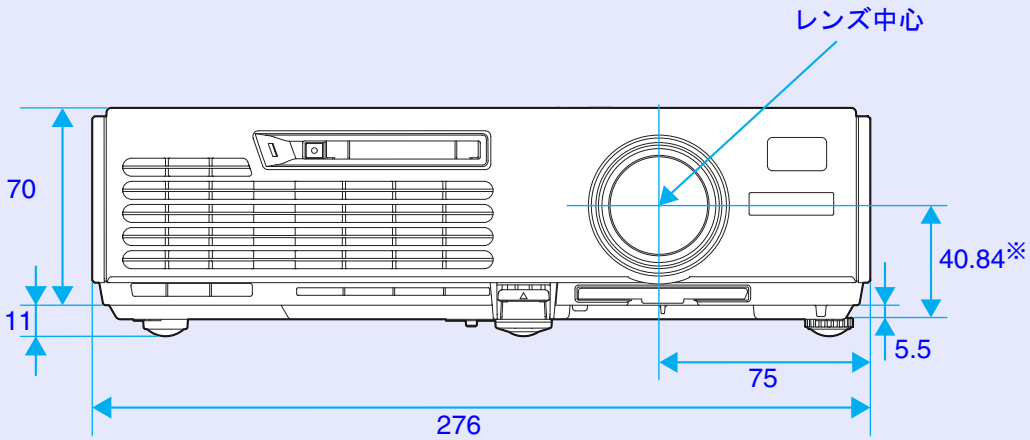
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio and television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

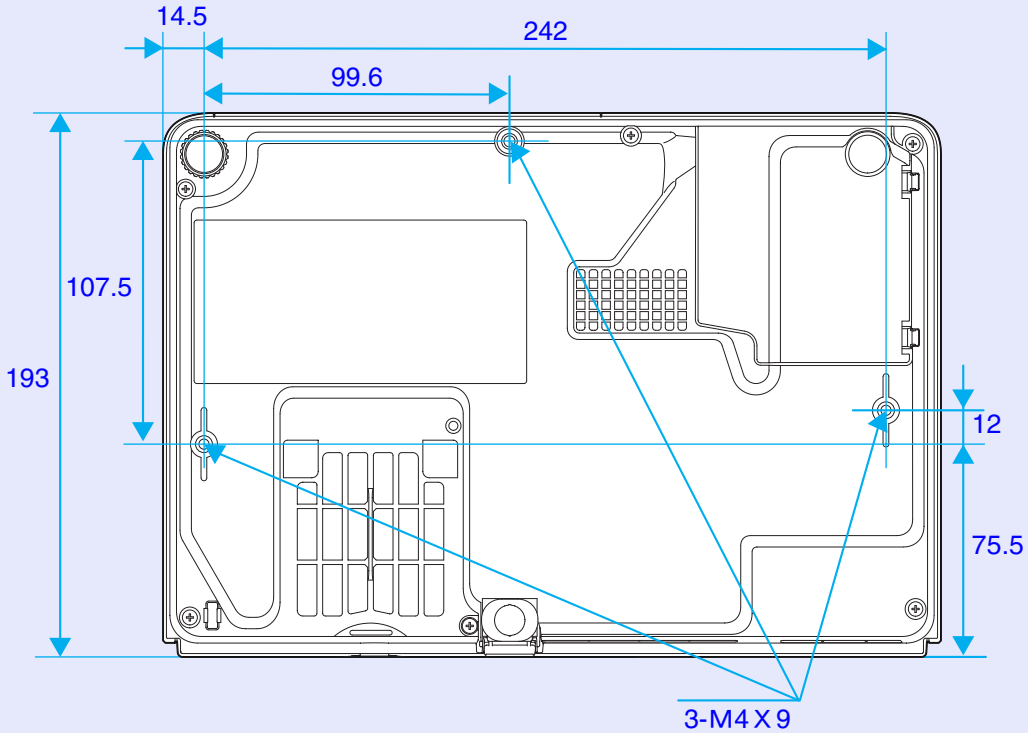
WARNING

The connection of a non-shielded equipment interface cable to this equipment will invalidate the FCC Certification or Declaration of this device and may cause interference levels which exceed the limits established by the FCC for this equipment. It is the responsibility of the user to obtain and use a shielded equipment interface cable with this device. If this equipment has more than one interface connector, do not leave cables connected to unused interfaces. Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

外形寸法図



※レンズ中心から天吊固定部までの寸法



単位：mm

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

IBM 、DOS/V は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。
Macintosh、Mac、iMac は、Apple Computer Inc. の登録商標です。
Windows、Windows NT は米国マイクロソフト社の登録商標です。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
Cisco Systems は米国その他の国におけるシスコシステムズ株式会社の登録商標です。
Pixelworks、DNX は Pixelworks 社の商標です。
EasyMP はセイコーエプソン株式会社の商標です。
Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.
Portions Copyright©2003 Instant802 Networks Inc. All rights reserved.
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。

©セイコーエプソン株式会社　2004

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネットFAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

ナビダイヤル 0570ー004141 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので 、（042）582-6888までお電話ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。
ドアtoドアサービス受付電話 ナビダイヤル 0570ー090ー090 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
ナビダイヤル 0570ー004110 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00（祝日・弊社指定休日を除く）
＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、（0263）54-5800までお電話ください。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.i-love-epson.co.jp/square/
エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.i-love-epson.co.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入
お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社（ホームページアドレス http://www.epson-supply.co.jp/ またはフリーダイヤル0120ー251528）でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

10404002